

Zebra® ZT400 Series™

ユーザー・ガイド



© 2013 ZIH Corp. このマニュアルおよびマニュアル内で説明されているプリンタ内のソフトウェアおよびファームウェアの著作権は、ZIH Corp. および Zebra のライセンス許諾者が所有しています。このマニュアルまたはプリンタのソフトウェアおよびファームウェアを不正に複製すると、1年以内の禁固刑または10,000ドル以下の罰金が課せられることがあります (17U.S.C.506)。著作権に違反した場合、民事責任に問われる場合があります。

この製品には、ZPL[®]、ZPL II[®]、および ZebraLink[™] の各プログラム、Element Energy Equalizer[®] 回路、E³[®]、および Monotype Imaging フォントが使用されています。Software © ZIH Corp. All rights reserved worldwide.

Zebra、Zebra ヘッド・グラフィック、Link-OS、ZPL、および ZPL II は、ZIH Corp. の商標であり、世界の多数の法的管轄区域で登録されています。All rights reserved.

Bluetooth[®] は、Bluetooth SIG の登録商標です。

その他すべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に属します。商標の詳細については、製品 CD に記録されている「Trademarks (商標)」情報を参照してください。

所有権の宣言 このマニュアルには、Zebra Technologies Corporation およびその子会社（「Zebra Technologies」）が専有する情報が含まれています。このマニュアルは、本書に記載の機器を操作および保守する当事者への情報手提供とその当事者の限定使用のみを目的としています。このような専有情報を、Zebra Technologies の書面による許可なしに、その他の目的のために使用したり、複製を行ったり、または他者に開示することは禁じられています。

製品の改善 製品の継続的な改善は、Zebra Technologies のポリシーです。すべての仕様や設計は、通知なしに変更される場合があります。

責任の放棄 Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りが含まれていないよう、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies では、誤りが発見された場合にそれを修正し、その誤りから生じる責任を放棄する権利を有しています。

責任の制限 いかなる場合においても、Zebra Technologies または付属の製品（ハードウェアおよびソフトウェアを含む）の作成、製造、または配布に関わるその他の関係者は、本製品の使用、使用した結果、または使用できなかった結果により生じるすべての損害（業務利益の損失、業務の中断、または業務情報の損失を含む派生的損害を含むがそれに限定されない）に対し、Zebra Technologies がそのような損害の発生する可能性を通告されていた場合でも、一切責任を負いません。管轄区域によっては、付随的または派生的損害の除外または制限を認めていない場合があります。そのため、上記の制限または除外がお客様に適用されないことがあります。





適合性の宣言

Zebra プリンタ :

ZT410™ および ZT420™

(製造元

Zebra Technologies Corporation

475 Half Day Road, Suite 500

Lincolnshire, Illinois 60069 U.S.A.) は、

FCC 法規の所定の技術基準に準拠していることを宣言いたします。

家庭用、事務所、商業用、および工業用

ただし、本宣言にあたっては、次を条件とします。(1) この機器に対して
未承認の変更を加えないこと。

(2) 所定の手順に従って適切に保守および操作を行うこと。

準拠情報

FCC 準拠声明

このデバイスは、FCC 規則の Part 15 に準拠し、以下の 2 つの条件を前提として動作します。

1. 当該デバイスは、有害な干渉を引き起こしてはならず、かつ、
2. 当該デバイスは、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければならない。



注・この装置は、FCC 規則の Part 15 に基づくクラス B デジタルデバイスの限度制限を遵守していることが、テストにより判明しています。これらの制限は、居住地域のインストールで発生する有害な干渉を適切に防ぐことを目的としています。この装置は無線周波エネルギーを発生し、使用し、放射します。取扱説明書に従ってインストールや使用がなされない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こすことがあります。ただし、干渉が特定の設置で発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビ受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器をオン / オフしてみるとわかります）、ユーザは次の方法で障害の解消を試みることをお勧めいたします。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変えます。
- 機器と受信機の距離を開けます。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- ディーラー、または経験の豊富な無線 / テレビ技師に相談し、援助を求めます。

FCC 規定の電磁波暴露限度 (RFID エンコーダ搭載のプリンタ)

この機器は、規制外環境向けに規定されている FCC 放射線被曝限度に準拠しています。取り付けや操作を行う場合、ラジエータは人から 20 cm 以上離してください。

この送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に取り付けたり、併用しないでください。

カナダの DOC 準拠に関する声明

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. (このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。)

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

目次

適合性の宣言	3
準拠情報	4
本書について	9
対象読者	10
本書の構成	10
1・はじめに	11
プリンタ・オプション	12
プリンタのコンポーネント	13
コントロール・パネル	14
ニア・フィールド・コミュニケーション (NFC)	15
用紙のタイプ	16
リボンの概要	18
リボンを使用するケース	18
リボンのコーティング面	18
2・プリンタのセットアップと操作	21
プリンタの操作	22
プリンタの梱包からの取り出しおよび点検	22
プリンタの保管	22
プリンタの発送	22
プリンタの設置場所の選択	23
通信インターフェイスの選択	24
データ・ケーブル	26
プリンタの電源接続	27
電源コード仕様	28
印字モードの選択	30

用紙の装着	34
切り取りモード用最終手順	40
剥離モードの最終手順 (ライナー巻き取り付き / なし)	42
巻き取りモード用最終手順	51
カッター・モード用最終手順	57
リボンの装着	60
3・プリンタの設定と調整	65
プリンタ設定の調整	66
印字設定	67
キャリブレーション・ツールと診断ツール	71
ネットワーク設定	77
RFID 設定	80
言語設定	83
センサー設定	86
ポート設定	87
Bluetooth 設定	89
ユーザー・メニュー	90
ディスプレイ画面のナビゲート	90
設定メニュー	94
ツール・メニュー	97
ネットワーク・メニュー	102
RFID メニュー	108
言語メニュー	112
センサー・メニュー	114
ポート・メニュー	116
BLUETOOTH メニュー	118
リボンと用紙センサーのキャリブレーション	120
印字ヘッド圧力の調整	125
使用済みリボンの取り外し	129
4・定期的なメンテナンス	131
クリーニングのスケジュールと手順	132
外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング	133
印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング	134
剥離アSEMBリのクリーニング	138
カッター・モジュールのクリーニング	142
プリンタ・コンポーネントの交換	146
交換部品の注文	146
プリンタ・コンポーネントのリサイクル	146
潤滑油	146

5・トラブルシューティング	147
インジケータ・ライトの意味	148
印刷の問題	150
リボンの問題	153
RFID の問題	154
エラー・メッセージ	157
通信の問題	161
その他の問題	162
プリンタ 診断	164
パワーオン・セルフ・テスト	164
CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト	165
PAUSE (一時停止) セルフ・テスト	166
FEED (フィード) セルフ・テスト	167
FEED (フィード) + PAUSE (一時停止) セルフ・テスト	170
CANCEL (キャンセル) + PAUSE (一時停止) セルフ・テスト	170
通信診断テスト	171
センサー・プロフィール	172
6・仕様	175
一般仕様	176
印刷仕様	177
用紙仕様	178
リボン仕様	179
用語集	181
索引	185



メモ・ _____

本書について

このセクションでは、連絡先、文書の構造と構成、およびその他の参考文献について説明します。

目次

対象読者.....	10
本書の構成.....	10

対象読者

このユーザー・ガイドは、プリンタの定期的なメンテナンス、アップグレード、または問題のトラブルシューティングを必要とする読者を対象としています。

本書の構成

ユーザー・ガイドは、以下のように構成されています。

セクション	説明
11 ページの <i>はじめに</i>	このセクションでは、プリンタとプリンタのコンポーネントについて概説します。
21 ページの <i>プリンタのセットアップと操作</i>	このセクションでは、プリンタの初期設定と操作について技術者に役立つ情報を提供します。
65 ページの <i>プリンタの設定と調整</i>	このセクションでは、プリンタの設定と調整について説明します。
131 ページの <i>定期的なメンテナンス</i>	このセクションでは、定期的なクリーニングおよびメンテナンスの手順について説明します。
147 ページの <i>トラブルシューティング</i>	このセクションでは、トラブルシューティングを必要とするエラーについて説明します。各種診断テストも含まれています。
175 ページの <i>仕様</i>	このセクションでは、一般的なプリンタ仕様、印刷仕様、リボン仕様、および用紙仕様をリストします。
181 ページの <i>用語集</i>	用語集には一般的な用語のリストが掲載されています。

はじめに

このセクションでは、プリンタとプリンタのコンポーネントについて概説します。

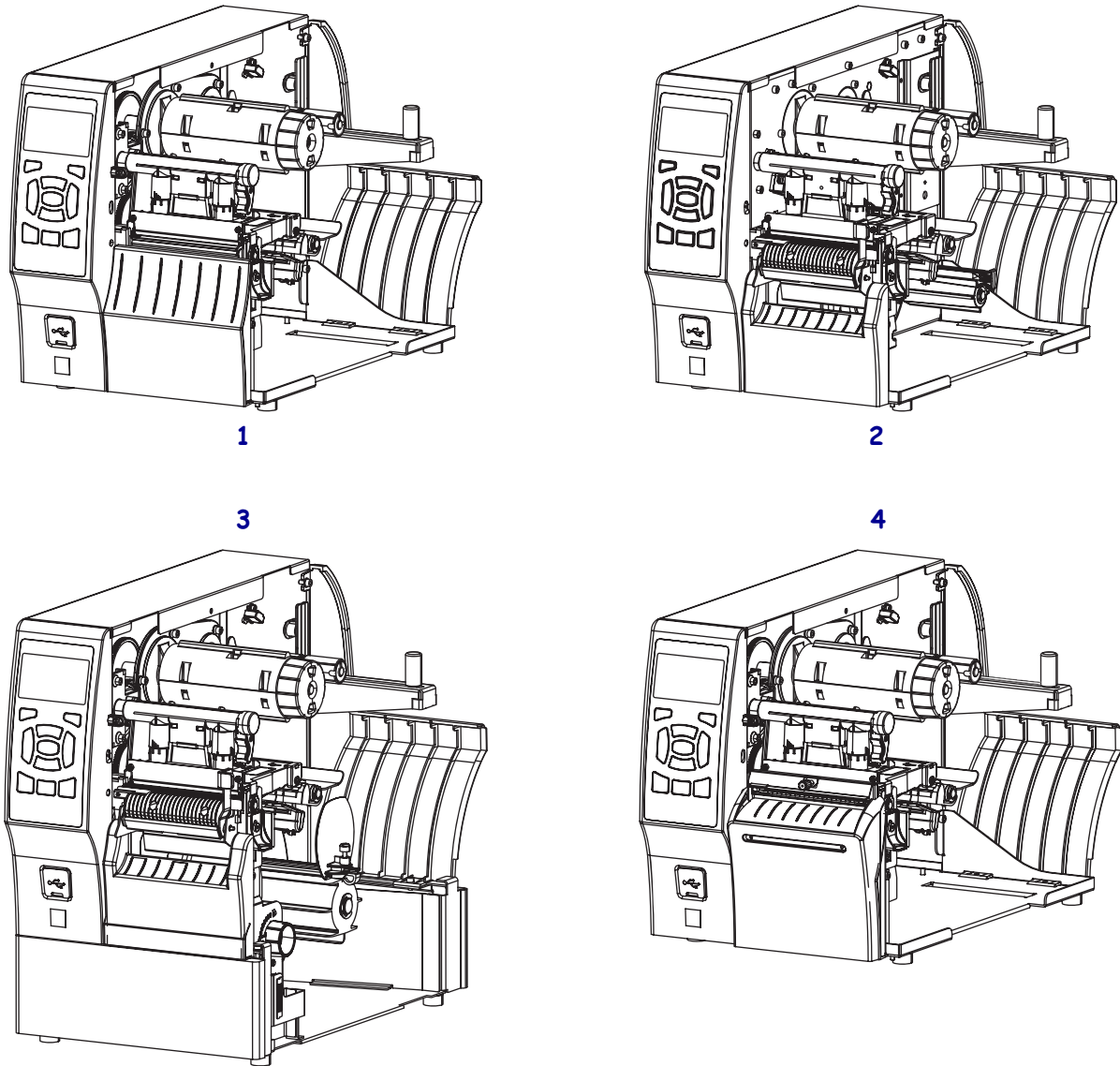
目次

プリンタのコンポーネント	13
コントロール・パネル	14
用紙のタイプ	16
リボンの概要	18
リボンを使用するケース	18
リボンのコーティング面	18

プリンタ・オプション

使用可能なプリンタ・オプションは、[図 1](#)に記載されています。プリンタ・オプションで使用できる印刷モードについては、[30 ページの印字モードの選択](#)を参照してください。

図 1・プリンタ・オプション



1	切り取り (標準)
2	ライナー巻き取り付き剥離オプション
3	巻き取りオプション
4	カッター・オプション

プリンタのコンポーネント

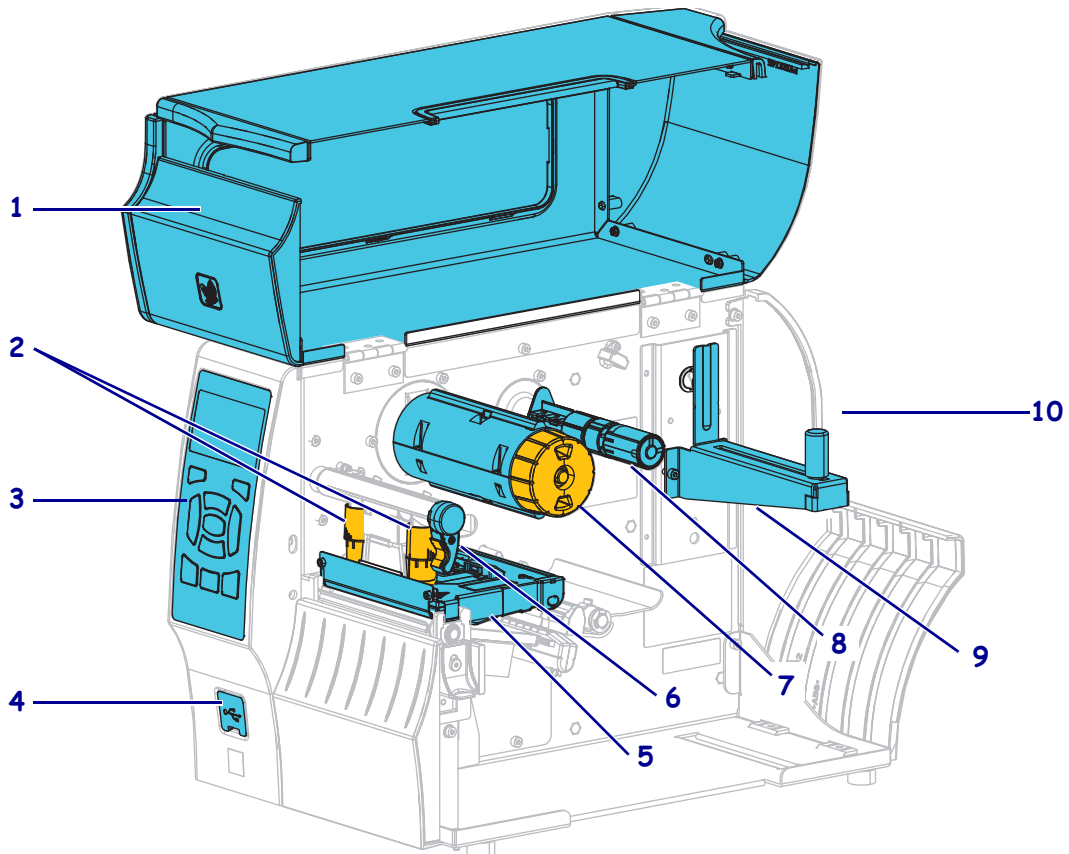


注・プリンタ内のコンポーネントは、色分けされています。

- 操作上、手で触る必要のある箇所は、**金色**になっており、本書の図解でも**金色**でハイライトされています。
- リボン・システムに関連するコンポーネントには**黒色**のプラスチック、用紙に関連するコンポーネントには**灰色**のプラスチックが使用されています。本書の図解ではそれらのコンポーネントは、必要に応じて**明るい青色**でハイライトされています。

図2に、標準プリンタの用紙コンパートメント内にあるコンポーネントを示します。プリンタ・モデルとインストール済みオプションによって、プリンタの外観は多少異なる場合があります。ラベルの付いているコンポーネントは、本書の手順で言及されています。

図2・プリンタ・コンポーネント



1	用紙アクセス用ドア
2	印字ヘッド圧力調整トグル
3	コントロール・パネル
4	USB ホスト・ポート
5	印字ヘッド・アセンブリ

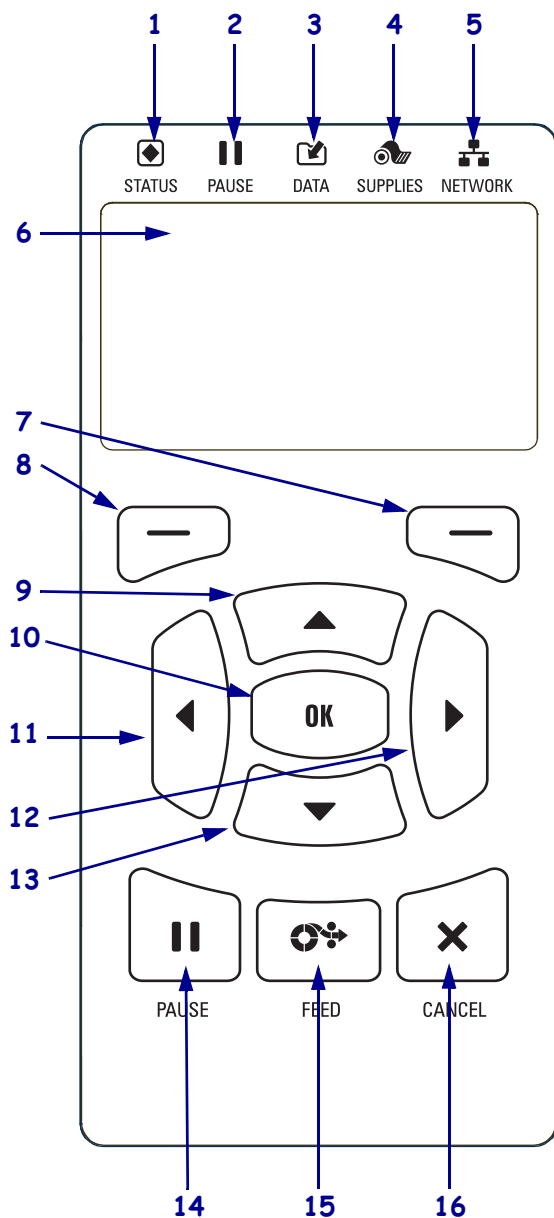
6	印字ヘッド・オープン・レバー
7	リボン巻き取りスピンドル*
8	リボン・サプライ・スピンドル*
9	用紙サプライ・ハンガー
10	用紙サプライ・ガイド

* このコンポーネントは、熱転写オプションがインストールされているプリンタにのみ存在します。

コントロール・パネル

コントロールパネルにはプリンタの現在の状態が示されるため、このパネルで基本的なプリンタ動作を制御できます。

図 3・コントロール・パネル

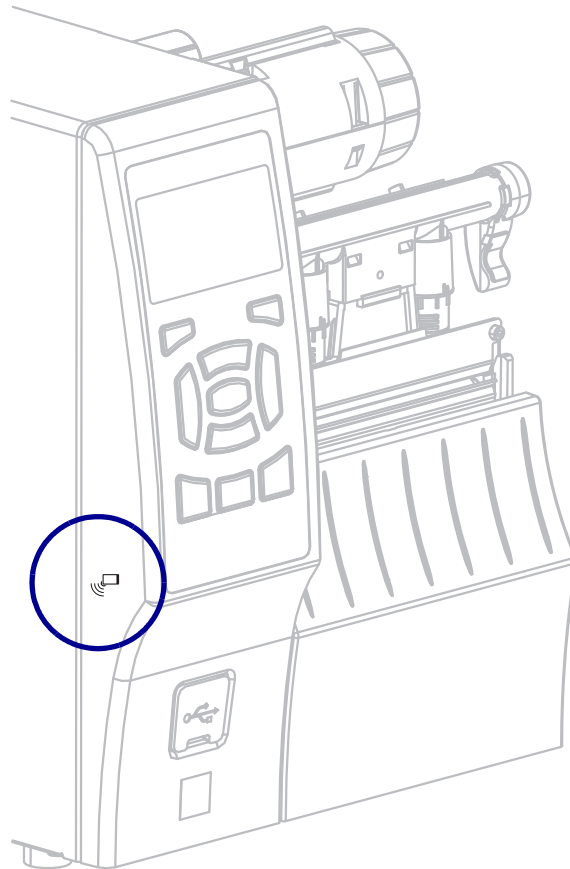


1	◆ STATUS (ステータス) ランプ	これらのインジケータ・ランプは、プリンタの現在の状態を表示します。詳細については、148 ページの表 1 を参照してください。
2	PAUSE (一時停止) ランプ	
3	☑ DATA (データ) ランプ	
4	🔍 SUPPLIES (消耗品) ライト	
5	🌐 NETWORK (ネットワーク) ランプ	
6	ディスプレイにはプリンタの現在の状態が表示され、ユーザーがメニュー・システムをナビゲートできます。	
7	右選択ボタン	ボタンを押すと、そのボタンの真上のディスプレイ内に表示されたコマンドが実行されます。
8	左選択ボタン	
9	上方向ボタンを押すと、パラメータの値が変わります。通常は、値を増やしたり、選択肢をスクロールするのに使用します。	
10	OK ボタンで、ディスプレイの表示内容を選択または確定します。	
11	左方向ボタン (メニュー・システムでのみ有効)。左へナビゲートします。	
12	右方向ボタン (メニュー・システムでのみ有効)。右へナビゲートします。	
13	下方向ボタン。パラメータ値を変更します。通常は、値を減らしたり、選択肢をスクロールするのに使用します。	
14	PAUSE (一時停止) ボタンを押すと、プリンタの動作が開始または停止します。	
15	FEED (フィード) ボタンは、押すたびにプリンタによって空白のラベルが 1 つフィードされます。	
16	CANCEL (キャンセル) ボタンは、プリンタが一時停止になるとラベル・フォーマットをキャンセルします。 <ul style="list-style-type: none"> 1 回押すと、次のラベル・フォーマットがキャンセルされます。 2 秒間押したままにすると、すべてのラベル・フォーマットがキャンセルされます。 	

ニア・フィールド・コミュニケーション (NFC)

Zebra Print Touch™ 機能を使用すると、Android™ ベースの NFC 対応スマートフォンまたはタブレットを Zebra Print Touch ロゴ (図 4) にタッチして、その機器をプリンタにペアリングできます。ペアリングされた機器ではアプリケーションが起動し、ご使用の Zebra プリンタ固有の選択肢メニューを表示します。

図 4 • Print Touch ロゴの位置



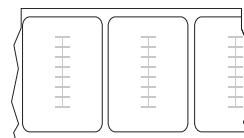
用紙のタイプ



重要・Zebra では、高品質の印刷を継続できるように、Zebra ブランドの純正品の使用を強くお勧めしています。プリンタの印刷能力を向上させ、印刷ヘッドの寿命を長持ちさせるために特別に設計された、広範囲の紙製、ポリプロピレン製、ポリエステル製、およびビニール製の用紙が用意されています。サプライ品の購入については、<http://www.zebra.com/howtobuy> をご覧ください。

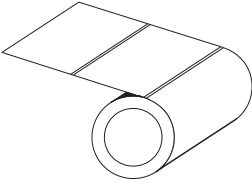
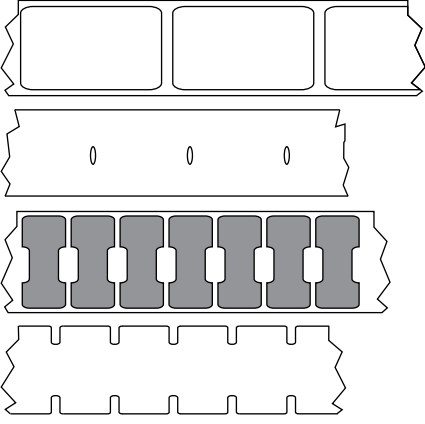
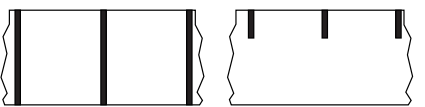
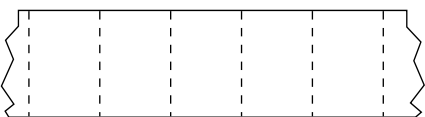
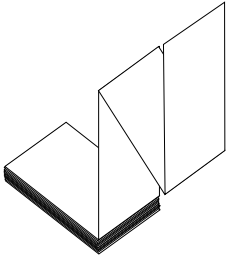
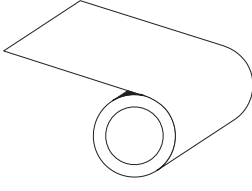
プリンタではさまざまなタイプの用紙を使用できます。

- **標準の用紙** - 大半の標準用紙では、裏面粘着式で個々のラベルまたは一連のラベルをライナーに貼り付けられます。標準の用紙は、ロール状または折り畳まれた用紙です (表 1)。
- **タグ・ストック** - タグは通常、厚手用紙で作られています。タグ・ストックには粘着剤やライナーは付いていません。通常、タグ間にミシン目が入っています。タグ・ストックは、ロール状の用紙または扇状に折り畳まれた用紙です (表 1)。
- **無線自動識別 (RFID) 「スマート」用紙** - RFID 用紙は、RFID リーダー/エンコーダ搭載のプリンタで使用できます。RFID ラベルは、非 RFID ラベルと同じ材料と接着剤を使用しています。ラベルごとに、ラベルとライナーの間に、チップとアンテナで構成された RFID トランスポンダー (「インレイ」とも呼ばれる) が埋め込まれています。トランスポンダーの形状は、メーカーによって異なり、ラベルの上から透けて見えます。すべての「スマート」ラベルに読み取り可能なメモリが備わっており、その多くがエンコード可能なメモリです。



重要・ラベル内のトランスポンダーの配置は、トランスポンダーのタイプおよびプリンタのモデルにより異なります。プリンタに適した「スマート」用紙を使用していることを確認してください。詳細については、『RFID プログラミング・ガイド 3』を参照してください。マニュアルのコピーは、プリンタに付属の CD に収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。トランスポンダーの配置の詳細については、<http://www.zebra.com/transponders> を参照してください。

表 1・ロール用紙と折り畳み用紙

用紙タイプ	外観	説明
<p>単票ロール用紙</p>		<p>ロール用紙は芯に巻かれており、芯の直径は 25 ～ 76 mm (1 ～ 3 インチ) です。個々のラベルやタグは、次の 1 つまたは複数の方法で区切られています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 透過式用紙には、ラベルを区切るギャップ、穴、または切れ込みがあります。  <ul style="list-style-type: none"> 黒マーク用紙には、用紙裏面にあらかじめ黒マークが印刷され、ラベルの分離位置を示しています。  <ul style="list-style-type: none"> ミシン目が入った用紙には、ミシン目があり、ラベルやタグを簡単に切り離せます。黒マークなど、ラベルやタグの分離位置を示すマークなども付いていることがあります。 
<p>単票折り畳み用紙</p>		<p>折り畳み用紙は、蛇腹に折られた用紙です。折り畳み用紙は、単票ロール用紙と同様、ラベル分離位置があります。ラベルの分離位置は折り目または折り目付近になります。</p>
<p>連続ロール用紙</p>		<p>ロール用紙は芯に巻かれており、芯の直径は 25 ～ 76 mm (1 ～ 3 インチ) です。</p> <p>連続ロール用紙には、ラベル分離位置を示すギャップ、穴、切れ込み、黒マークはありません。このため、イメージをラベル上の任意の場所に印刷できます。個々のラベルの切り離しに、カッターを使用することがあります。</p>

リボンの概要

リボンとは、熱転写処理の際に用紙に転写されるワックス、レジンまたはワックス・レジンで片面がコーティングされた薄いフィルムのことです。リボンを使用する必要があるかどうか、および使用するリボンの幅はどのくらいかは、用紙によって決まります。

リボンを使用する場合、使用する用紙の幅より広いリボンを使用する必要があります。リボンの幅が用紙の幅よりも狭いと、印刷ヘッドの領域が保護されず、印刷ヘッドの寿命を縮めるおそれがあります。

リボンを使用するケース

熱転写用紙に印刷する場合はリボンが必要です。一方、感熱用紙ではリボンは不要です。特定の用紙についてリボンを使用する必要があるかどうかを判別するには、用紙のスクラッチ・テストを実行します。

用紙スクラッチ・テストを行うには、以下の手順に従います。

1. 用紙の印刷面を指の爪でさっとこすります。
2. 用紙に黒いスジが現れましたか？

黒いスジの状態	用紙のタイプ
用紙に現れない	熱転写用紙です。リボンが必要です。
用紙に現れる	感熱用紙です。リボンは不要です。

リボンのコーティング面

リボンはコーティング面を内側、または外側にして巻かれています (図 5)。このプリンタでは、コーティング面を外側にして巻かれているリボンしか使用できません。特定のリボンでコーティング面が内側か外側か明確でない場合は、粘着性テストまたはリボンのスクラッチ・テストを行い、コーティング側を確認してください。

図 5・コーティング面が外側のリボンとコーティング面が内側のリボン





粘着性テスト

ラベルを使用できる場合、粘着性のテストを実行して、リボンのコーティング面を判別します。この方法は、すでに装着されているリボンに対して非常に有効です。

粘着性テストは、以下の手順に従います。

1. ラベルをライナーから剥がします。
2. ラベルの粘着面の端をリボンの外側の表面に押し付けます。
3. ラベルをリボンから剥がします。
4. 結果を観察します。リボンのインクが少しでもラベルに付いていますか？



リボンからのインクの状態	結果
ラベルにインクが付いた	リボンの外側がコーティングされています。このプリンタで使用できます。 
ラベルにインクが付かなかった	リボンの内側がコーティングされています。このプリンタでは使用できません。 これを確認するには、リボン・ロールの外側の表面で同じテストを行います。 

リボンのスクラッチ・テスト

ラベルを使用できない場合、リボンのスクラッチ・テストを実行します。

リボンのスクラッチ・テストは、以下の手順に従います。

1. リボンをロールから少し引き出します。
2. リボンの引き出した部分を、リボンの外側が用紙と接するように用紙に置きます。
3. リボンの引き出した部分の内側を指の爪でこすります。
4. リボンを用紙から外します。
5. 結果を観察します。用紙にリボンの跡が付きましたか？

リボンの跡	結果
用紙にリボンの跡が付いている	リボンの外側がコーティングされています。このプリンタで使用できます。 
用紙にリボンの跡が付いていない	リボンの内側がコーティングされています。このプリンタでは使用できません。 これを確認するには、リボン・ロールの外側の表面で同じテストを行います。 



メモ・ _____

プリンタのセットアップと操作

このセクションでは、プリンタの初期設定と操作について技術者に役立つ情報を提供します。

目次

プリンタの操作	22
プリンタの梱包からの取り出しおよび点検	22
プリンタの保管	22
プリンタの発送	22
プリンタの設置場所の選択	23
通信インターフェイスの選択	24
データ・ケーブル	26
プリンタの電源接続	27
電源コード仕様	28
印字モードの選択	30
リボンの装着	60
用紙の装着	34

プリンタの操作

このセクションでは、プリンタを扱う方法について説明します。

プリンタの梱包からの取り出しおよび点検

プリンタを受け取ったら、ただちに梱包を解き、輸送中の損傷がないか点検してください。

- 梱包材はすべて保管しておきます。
- すべての外装表面を調べ、損傷がないことを確認します。
- 用紙アクセス用ドアを上げ、用紙セット部のコンポーネントに損傷がないかどうか点検します。

点検を行って、輸送中に発生した損傷が見つかった場合：

- ただちに運送会社に通知し、損害報告を提出します。
- 運送会社の点検に備えて、梱包材料はすべて保管しておきます。
- 最寄りの正規 Zebra 販売代理店にお知らせください。



重要 • Zebra Technologies では、機器の配送中に発生した損傷に対しては責任を負わず、この損傷の修理を保証いたしません。

プリンタの保管

プリンタをすぐに使用しない場合は、元の梱包材料を使用してプリンタを梱包し直してください。プリンタは次の条件下で保管します。

- 温度 : -40 ~ 60°C (-40 ~ 140°F)
- 相対湿度 : 5 ~ 85% (非結露)

プリンタの発送

プリンタを発送する場合は、以下の手順に従ってください。

- プリンタをオフ (O) にして、すべてのケーブルを取り外します。
- プリンタ 内部からすべての用紙、リボン、または固定されていない物を取り外します。
- 印字ヘッドを閉じます。
- プリンタは、輸送中の損傷を避けるために、元の段ボール箱またはその他の適切な段ボール箱に、注意して梱包してください。元の梱包材料がないか、破損してしまった場合は、Zebra から発送用段ボール箱を購入できます。

プリンタの設置場所の選択

以下の条件を満たすプリンタの設置場所を選択します。

- **設置面**：プリンタの設置面はプリンタを保持するのに十分な広さと強度があるしっかりした平らな面であること。
- **スペース**：プリンタを設置する場所は、十分な換気が可能で、プリンタのコンポーネントやコネクタを容易に取り扱えるだけのスペースがあること。また、適切に換気と冷却が行われるように、プリンタの各面には空間を設けてください。



注意・プリンタの背後や下に詰め物やクッション材を置かないでください。空気が流れが遮断され、プリンタの過熱を引き起こすおそれがあります。

- **電源**：プリンタは、コードの抜き差しが容易に行える場所にある電源コンセントの近くであること。
- **データ通信インターフェイス**：プリンタは、WLAN 無線が届く範囲内か (該当する場合)、その他のコネクタでデータ・ソース (通常はコンピュータ) にアクセスできる範囲内にあること。最大ケーブル長と設定の詳細については、[25 ページの表 2](#) を参照してください。
- **動作条件**：ご使用のプリンタは、倉庫や生産現場を含め、幅広い環境および電気条件で動作するように設計されています。[表 1](#) に、プリンタ動作時の温度および相対湿度の要件を示します。

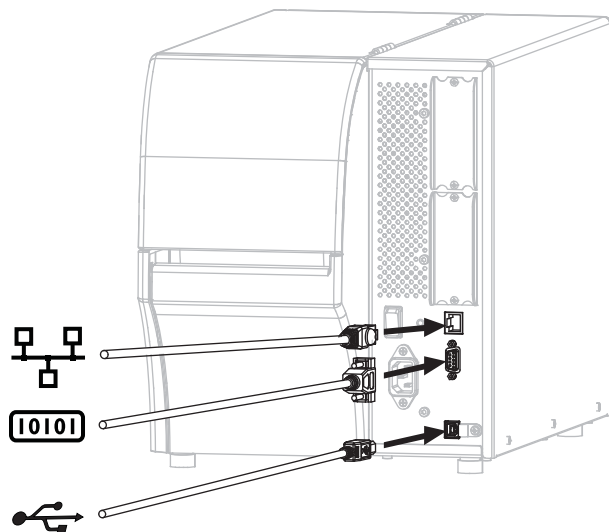
表 1・動作時の温度および湿度




モード	温度	相対湿度
熱転写	5 ~ 40°C (40 ~ 104°F)	20 ~ 85% (結露なし)
ダイレクト・サーマル	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)	

通信インターフェイスの選択

1つ以上の使用可能な接続を使ってプリンタをコンピュータに接続します。図 1 に標準的な接続を示します。ZebraNet 有線またはワイヤレス・プリント・サーバ・オプション、またはパラレル・ポートがご使用のプリンタにある場合もあります。

図 1・通信インターフェイス



	内蔵有線イーサネット・プリント・サーバ
	シリアル・ポート
	USB ポート

25 ページの表 2 に、プリンタをコンピュータに接続するときに使用できる通信インターフェイスについての基本情報を示します。使用可能な通信インターフェイスを使用して、ラベル・フォーマットをプリンタに送信できます。プリンタとコンピュータ (またはローカル・エリア・ネットワーク (LAN)) の両方でサポートされているインターフェイスを選択してください。

注意・データ通信ケーブルを接続する前に、プリンタの電源がオフ (O) になっていることを確認してください。電源オン (I) の状態でデータ通信ケーブルを接続すると、プリンタを損傷するおそれがあります。

表 2・通信インターフェイス


インターフェイス	標準またはオプション	説明
Bluetooth®	標準	<p>制限および要件 多くのモバイル・デバイスは、プリンタから半径 10 フィート以内ならプリンタと通信できます。</p> <p>接続と設定 Bluetooth インターフェイスを使用するようにプリンタを設定する手順については、『<i>Zebra Bluetooth User Guide</i>』を参照してください。このマニュアルのコピーは、http://www.zebra.com/manuals から入手できます。</p>
RS-232 シリアル	標準	<p>制限および要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大ケーブル長 = 15.24 m (50 フィート) • ホスト・コンピュータに合わせて、プリンタのパラメータの変更が必要になる場合があります。 • 標準のモデム・ケーブルを使用する場合、ヌル・モデム・アダプタを使用してプリンタに接続する必要があります。 <p>接続と設定 ホスト・コンピュータに合わせて、ボーレート、データ・ビット数およびストップ・ビット数、パリティ、および XON/XOFF または DTR のコントロールを設定する必要があります。</p>
USB	標準	<p>制限および要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大ケーブル長 = 5 m (16.4 フィート) • ホスト・コンピュータに合わせて、プリンタのパラメータを変更する必要はありません。 <p>接続と設定 これ以外の設定は不要です。</p>
有線イーサネット・プリント・サーバ	標準	<p>制限および要件</p> <ul style="list-style-type: none"> • LAN 上の任意のコンピュータからプリンタに印刷できます。 • プリンタの Web ページからプリンタと通信できます。 • プリンタは LAN を使用するように構成する必要があります。 • プリンタ上のこのポートは、パラレル接続またはワイヤレス・プリント・サーバ (インストールされている場合) が占有します。 <p>注意・プリンタの有線イーサネット・プリント・サーバ・コネクタには USB ケーブルを接続しないように注意してください。接続するとイーサネット・コネクタが破損します。</p> <p>接続と設定 設定手順については、『<i>ZebraNet 有線プリント・サーバおよびワイヤレス・プリント・サーバ・ユーザー・ガイド</i>』を参照してください。このマニュアルのコピーは、http://www.zebra.com/manuals から入手できます。</p> <p> 注・このポートには、誤って USB コネクタを差し込まないように、工場出荷時にプラグが取り付けられています。この接続を使用するには、このプラグを取り外す必要があります。</p>

表 2・通信インターフェイス (続き)

インターフェイス	標準またはオプション	説明
8 ビット・パラレル・データ・インターフェイス	オプション	<p>制限および要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大ケーブル長 = 3 m (10 フィート) 最大ケーブル長 = 1.83 m (6 フィート) ホスト・コンピュータに合わせて、プリンタのパラメータを変更する必要はありません。 プリンタ上のこのポートは、有線またはワイヤレス・プリント・サーバ (インストールされている場合) が占有します。 <p>接続と設定 これ以外の設定は不要です。</p>
ワイヤレス・プリント・サーバ	オプション	<p>制限および要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイヤレス・ローカル・エリア・ネットワーク (WLAN) 上の任意のコンピュータからプリンタに印刷できます。 プリンタの Web ページからプリンタと通信できます。 プリンタは WLAN を使用するように構成する必要があります。 プリンタ上のこのポートは、パラレル接続または有線プリント・サーバ (インストールされている場合) が占有します。 <p>設定 設定手順については、『ZebraNet 有線プリント・サーバおよびワイヤレス・プリント・サーバ・ユーザー・ガイド』を参照してください。このマニュアルのコピーは、http://www.zebra.com/manuals から入手できます。</p>

データ・ケーブル

用途に適したデータ・ケーブルがそれぞれ必要です。

イーサネット・ケーブルはシールドが不要ですが、他のデータ・ケーブルはすべて、完全にシールドされ、金属または金属で被覆されたコネクタ・シェルを備えている必要があります。シールドされていないデータ・ケーブルを使用すると、放射妨害波が増大し、規定の制限を超える恐れがあります。

ケーブルの電気ノイズのピックアップを最小限にするには：

- データ・ケーブルをできるだけ短くする。
- データ・ケーブルと電源コードを一緒にきつく束ねない。
- データ・ケーブルを電源ワイヤのコンジットに結び付けない。

プリンタの電源接続

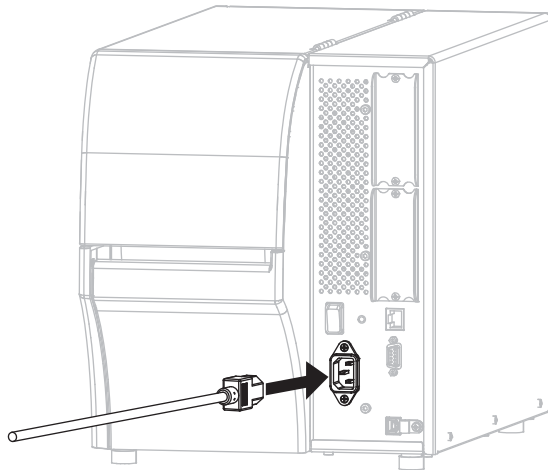
AC 電源コードの一端には、プリンタ背面の AC 電源コネクタに差し込む 3 ピンのメス・コネクタが付いている必要があります。プリンタに電源ケーブルが付属していない場合は、28 ページの [電源コード仕様](#) を参照してください。



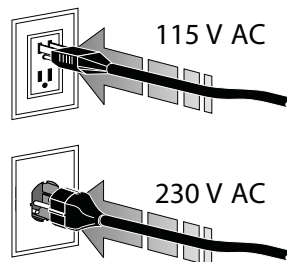
注意・人体と機器の安全を確保するため、設置する地域や国での使用を認可されている 3 芯の電源コードを必ず使用してください。このコードは、IEC 320 メス・コネクタを使用し、その地域に適した 3 芯のアース付きプラグ構成であることが必要です。

プリンタを電源に接続するには、以下の手順を実行します。

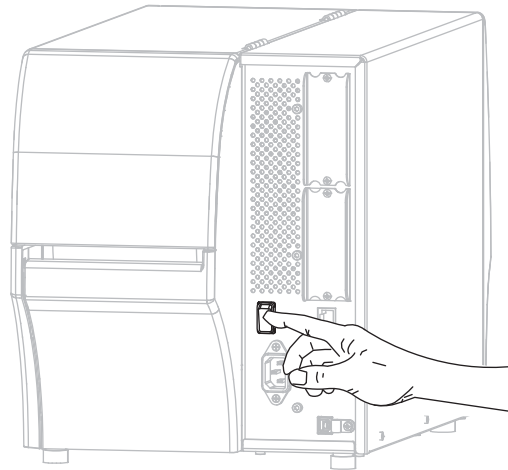
1. A/C 電源コードのメス側をプリンタ背面の A/C 電源コネクタに接続します。



2. A/C 電源コードのオス側を適切な電源コンセントに差し込みます。



3. プリンタをオン (I) にします。



プリンタが起動し、セルフ・テストが実行されます。プリンタはコントロール・パネル上のインジケータ・ランプからその状態をレポートします (ランプの色と組み合わせの意味については、148 ページの表 1 を参照してください)。

電源コード仕様

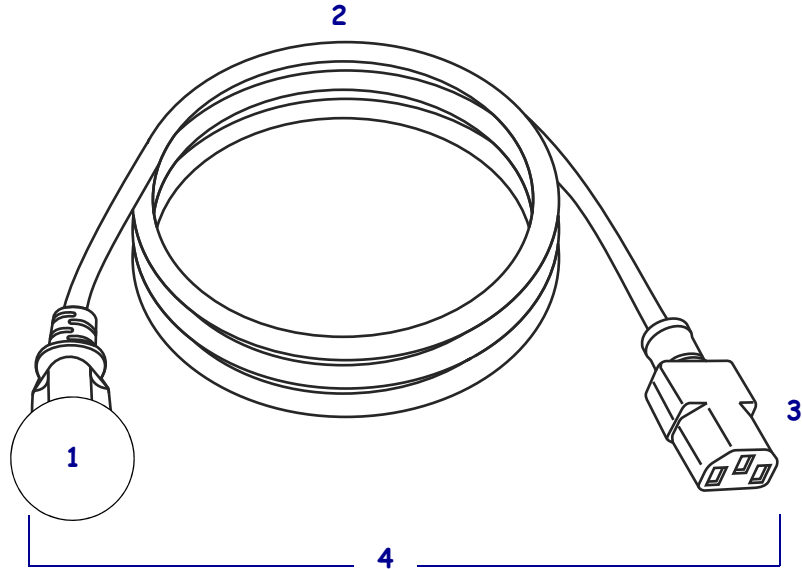


注意・人体と機器の安全を確保するため、設置する地域や国での使用を認可されている 3 芯の電源コードを必ず使用してください。このコードは、IEC 320 メス・コネクタを使用し、その地域に適した 3 芯のアース付きプラグ構成であることが必要です。

注文内容に応じて、プリンタに電源コードが付属する場合と付属しない場合があります。電源コードが付属していない場合や付属のコードがご使用の要件に適していない場合には、[図 2](#) と以下のガイドラインを参照してください。

- コードの全長が 3 m (9.8 フィート) 未満であること。
- コードの定格が 10 A、250 V 以上であること。
- 安全を確保し、電磁気の干渉を低減するために、シャーシにグラウンド (アース) が接続されていること。

図 2・電源コード仕様



1	使用する国に適した AC 電源プラグ。図 3 に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも 1 つのマークが刻印されている必要があります。
2	使用する国で認定されているケーブル (3 芯 HAR ケーブルなど)
3	IEC 320 コネクタ。図 3 に示す国際安全規格の認定マークのうち、少なくとも 1 つのマークが刻印されている必要があります。
4	長さ 3 m (9.8 フィート) 以下。定格 10 アンペア、AC 250 V。

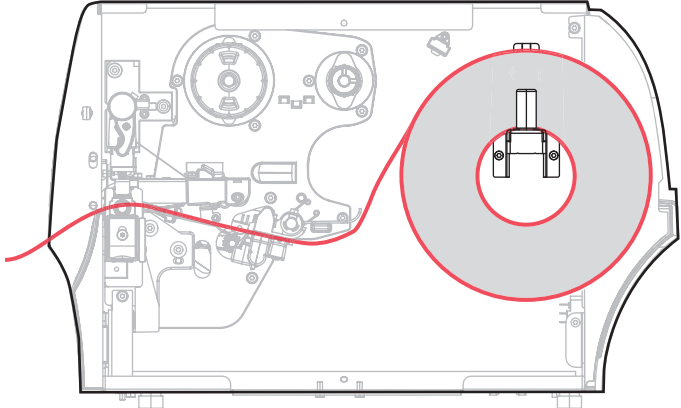
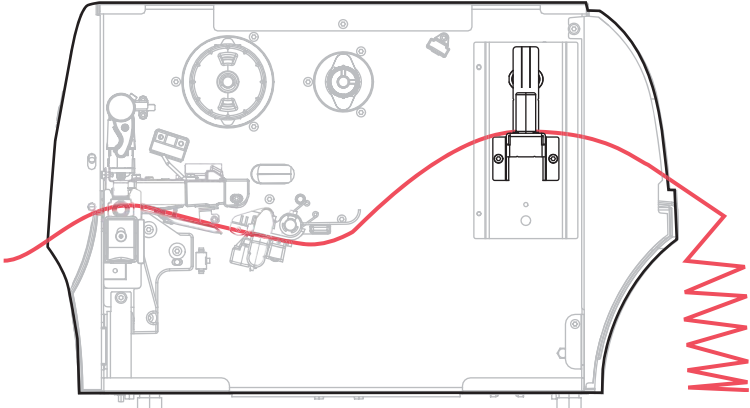
図 3・国際安全規格の認証マーク



印字モードの選択

使用する用紙および選択可能なプリンタ・オプションに適合した印字モードを使用してください(表 3)。ロール用紙と折り畳み用紙の用紙経路は同じです。

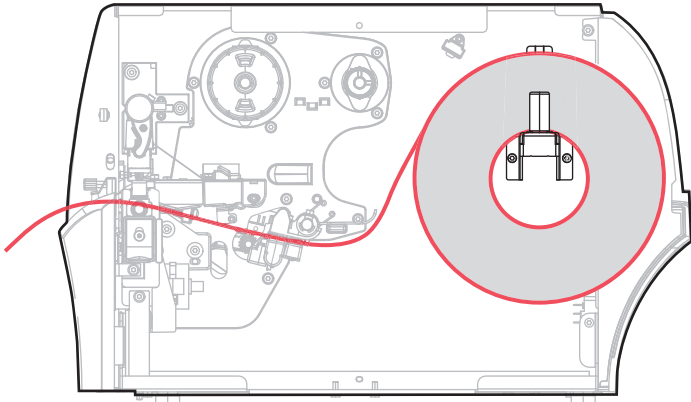
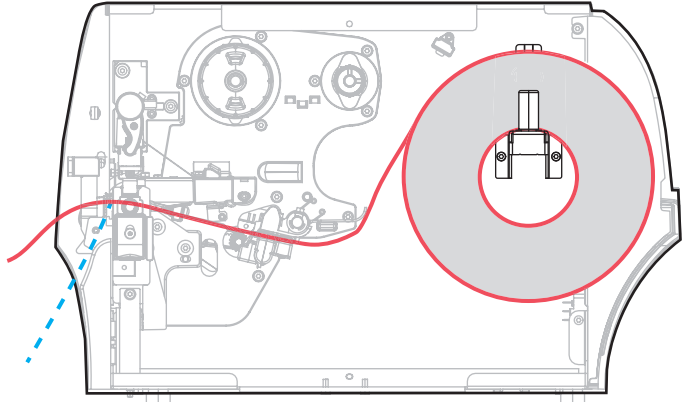
表 3・印字モードとプリンタ・オプション

印字モード	使用するケース/ 必要なプリンタ・オプション	プリンタの動作
切り取り (デフォルト 設定)	ほとんどのアプリケーションで使用されます。このモードは、任意のプリンタ・オプションおよびほとんどの用紙タイプで使用できます。	プリンタは、指定されたラベル・フォーマットで印刷します。プリンタのオペレータは、印刷後、印刷されたラベルを切り取ることができます。
<p style="text-align: center;">切り取りモードでのロール用紙</p>  <p style="text-align: center;">切り取りモードでの折り畳み用紙 (背面のアクセス・スロットからのフィード)</p> 		

赤の実線

青の点線

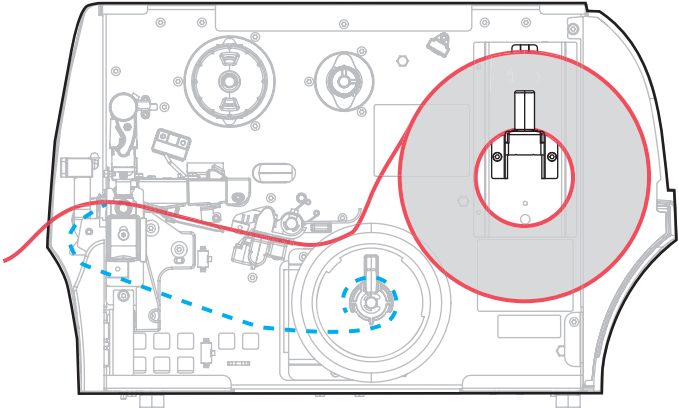
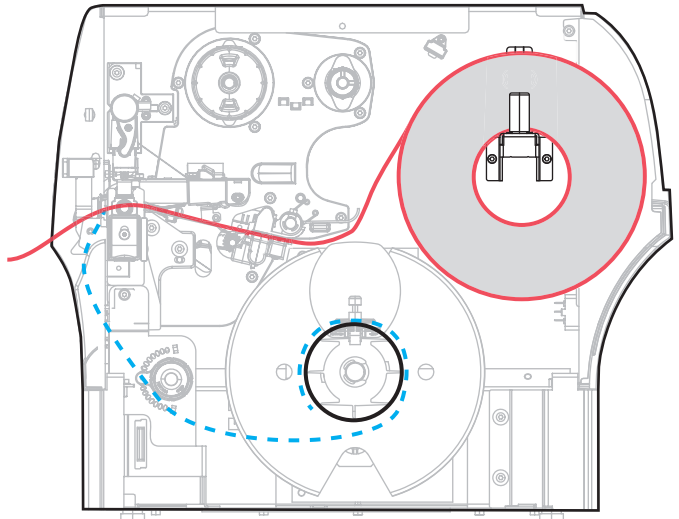
表 3・印字モードとプリンタ・オプション

印字モード	使用するケース/ 必要なプリンタ・オプション	プリンタの動作
カッター	プリンタにカッター・オプションがあり、ラベルを切り離す場合に使用します。	プリンタは、ラベルを印刷してから、ラベルをカットします。
カッター・モード 		
剥離	プリンタに、剥離オプション、ライナー巻き取りオプション、または巻き取りオプションがある場合に使用します。	プリンタは、印刷中にライナーからラベルを剥離し、ラベルが取り除かれるまで一時停止します。ライナーはプリンタの前面から排出されます。
剥離モード 		

赤の実線

青の点線

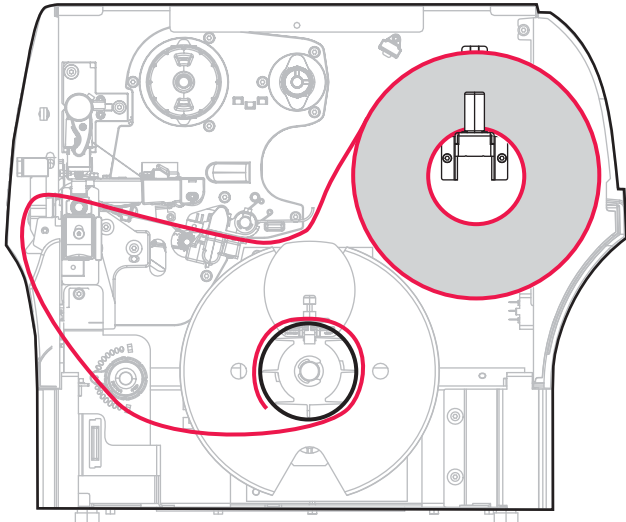
表 3・印字モードとプリンタ・オプション

印字モード	使用するケース/ 必要なプリンタ・オプション	プリンタの動作
剥離 (ライナー巻き取り付き)	プリンタに、ライナー巻き取りオプションまたは巻き取りオプションがある場合に使用します。	プリンタは、印刷中にライナーからラベルを剥離し、ラベルが取り除かれるまで一時停止します。ライナーは、ライナー巻き取りスピンドルまたは巻き取りスピンドルに巻き付きます。
<p style="text-align: center;">ライナー巻き取りオプション</p>  <p style="text-align: center;">巻き取りオプション</p> 		

赤の実線

青の点線

表 3・印字モードとプリンタ・オプション

印字モード	使用するケース/ 必要なプリンタ・オプション	プリンタの動作
巻き取り	プリンタに巻き取りオプションがある場合に使用します。	プリンタは、ライナーからラベルを剥離しないで、ラベルとライナーを巻き取りスピンドルに巻き付けます。
巻き取りモード 		

赤の実線

青の点線

用紙の装着

いずれの印字モードであっても、ロール用紙または折り畳み用紙の装着については、このセクションの説明に従ってください。

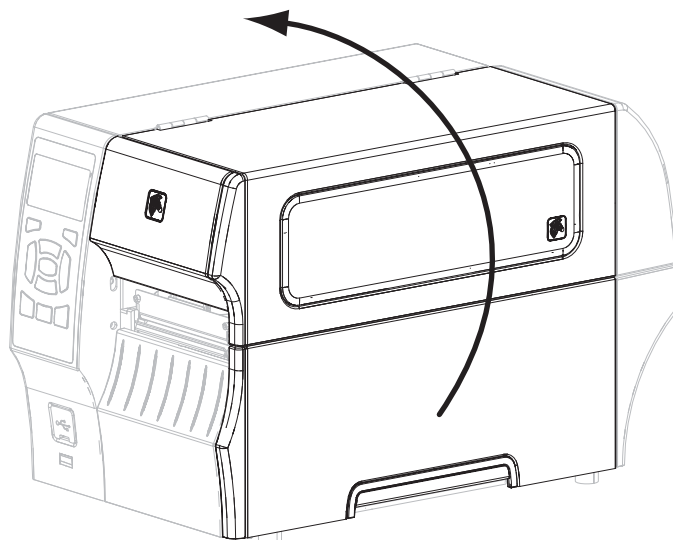
注意・印字ヘッドが開いている近くで作業をする場合、指輪、腕時計、ネックレス、ID バッジなど、印字ヘッドに触れそうな金属製のものは、すべて外してください。印字ヘッドが開いている近くで作業をする際、プリンタの電源は必ずしも切る必要はありませんが、Zebra では、万一に備えて電源をオフにすることを推奨します。電源を切ると、ラベル・フォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。



注・以降のプリンタの図では、用紙装着の関連コンポーネントが見やすいように、リボン・システムを示していないものがあります。

用紙をセットするには、次の手順を実行します。

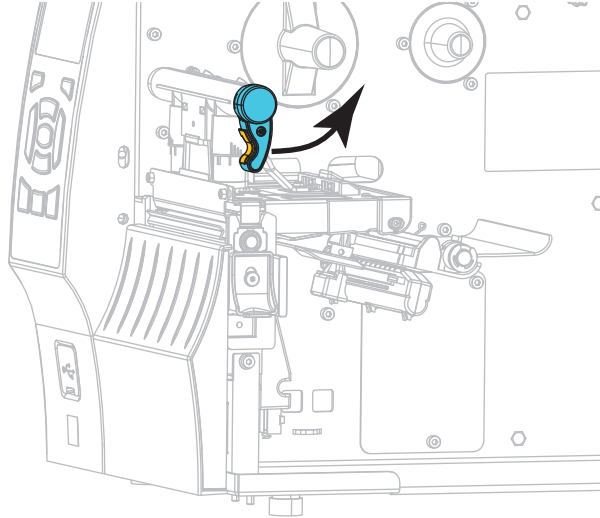
1. 用紙アクセス用ドアを開きます。





2. **注意**・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。

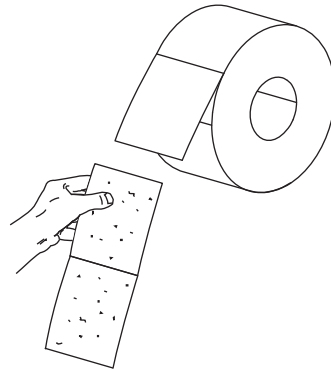
印字ヘッド・オープン・レバーを回して、印字ヘッド・アセンブリを開けます。



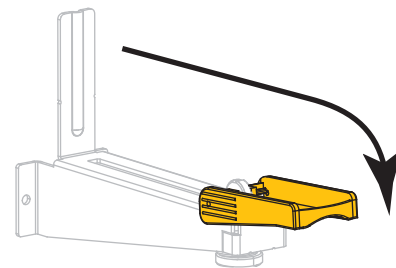
3. プリンタに用紙を挿入します。ロール用紙または折り畳み用紙のそれぞれの手順を適切に実行します。



- 3-a. 汚れたタグやラベル、接着剤やテープで固定されたタグやラベルをすべて取り除いて廃棄します。

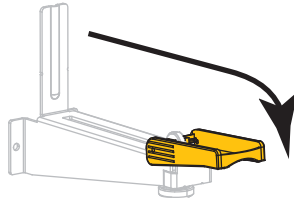


用紙サプライ・ガイドを引き出して押し下げます。

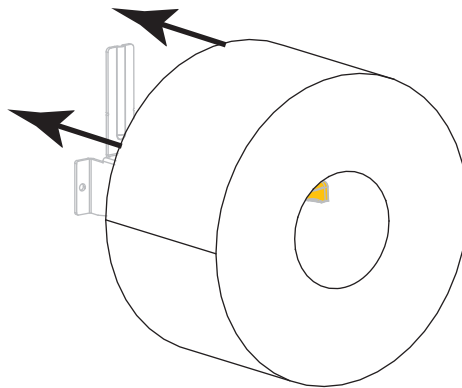


 **ロール用紙 (続き)**

3-b. 用紙サプライ・ガイドを引き出して押し下げます。



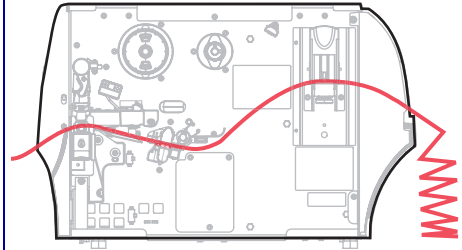
3-c. 用紙のロールを用紙サプライ・ハンガーに装着します。ロールをできるだけ奥まで押し込みます。



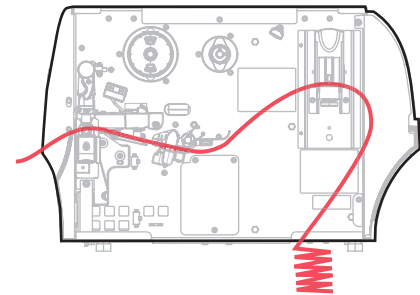
 **折り畳み用紙 (続き)**

用紙をアクセス・スロットの後部または底部からフィードします。

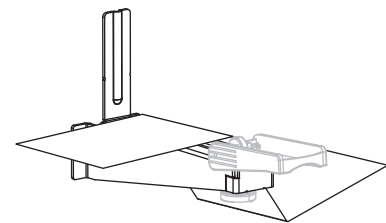
後部フィード

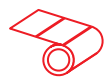


底部フィード



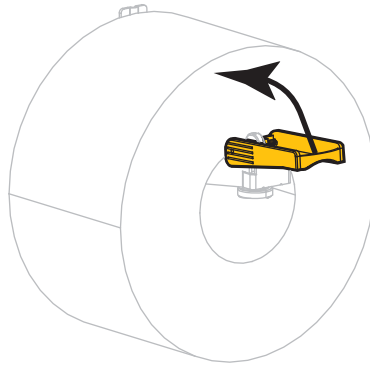
用紙を用紙サプライ・ハンガーに掛けます。





ロール用紙 (続き)

- 3-d. 用紙サプライ・ガイドを跳ね上げ、ロールの端に触れるまでスライドさせます。

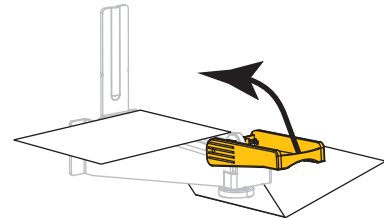


- 3-e. 手順 4 に進みます。



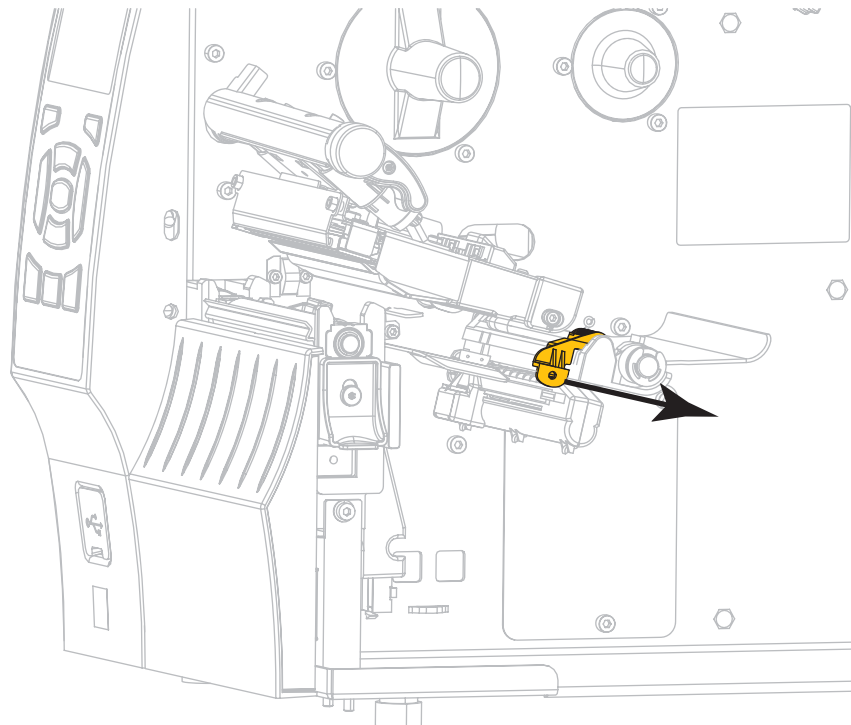
折り畳み用紙 (続き)

- 用紙サプライ・ガイドを跳ね上げ、用紙の端に触れるまでスライドさせます。



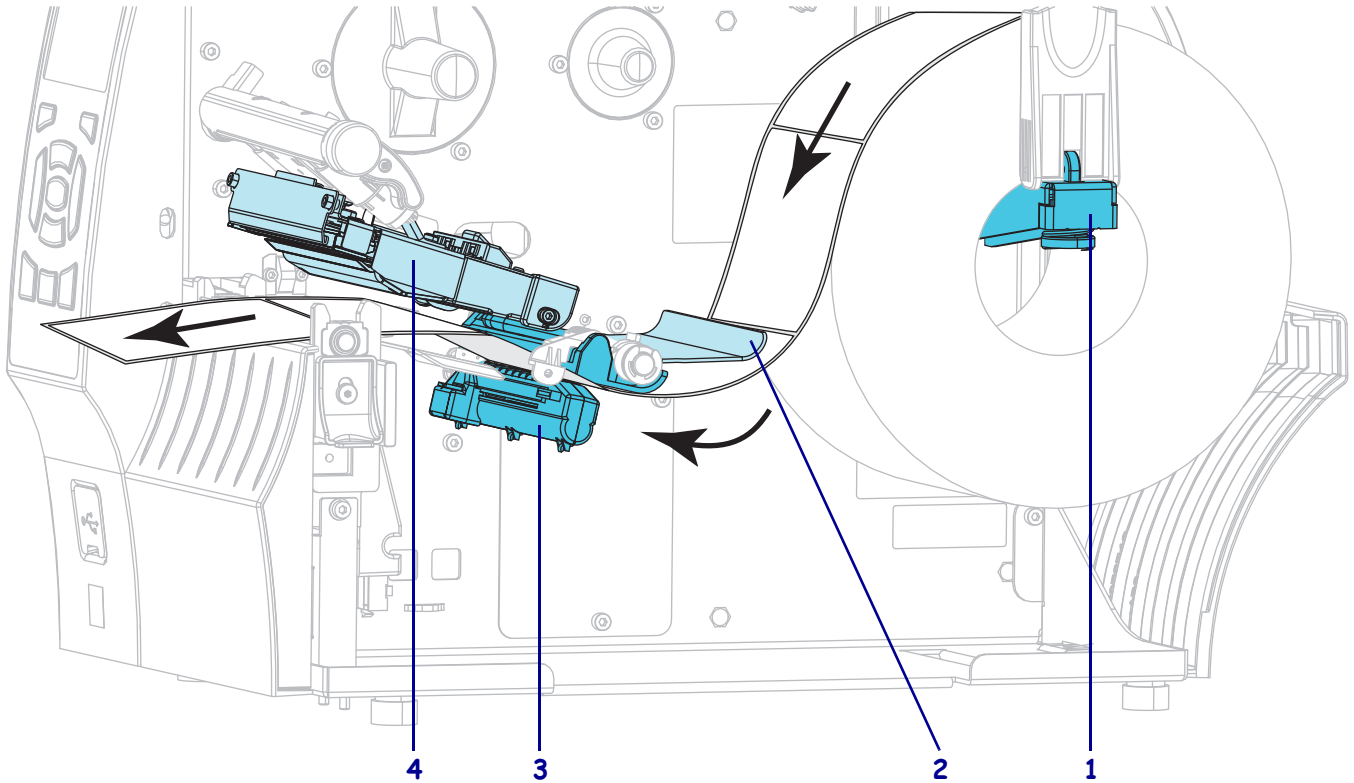
- 手順 4 に進み、ロール用紙の残りの手順を実行します。

4. 用紙ガイドを完全に引き出します。

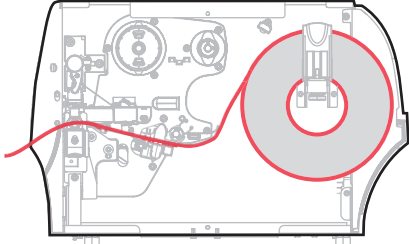
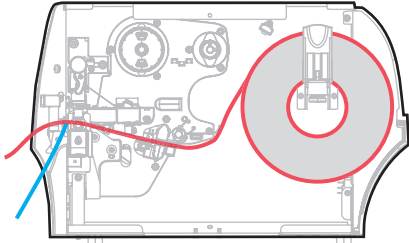
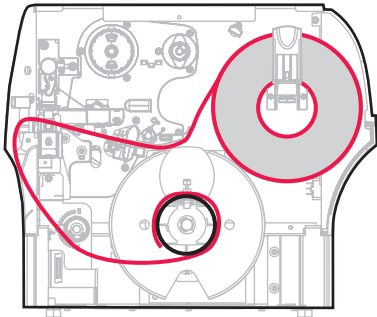
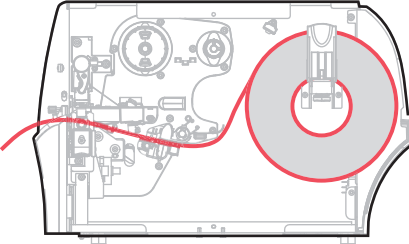


38 | プリンタのセットアップと操作 用紙の装着

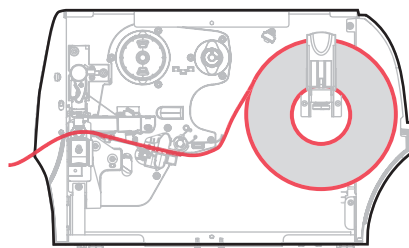
5. 用紙は、用紙ハンガー (1) からダンサー・アセンブリ (2) の下を通し、用紙センサー (3) を通って、印字ヘッド・アセンブリ (4) の下を通します。用紙裏面が用紙センサーの内側の背面に触れるよう、用紙をスライドさせます。



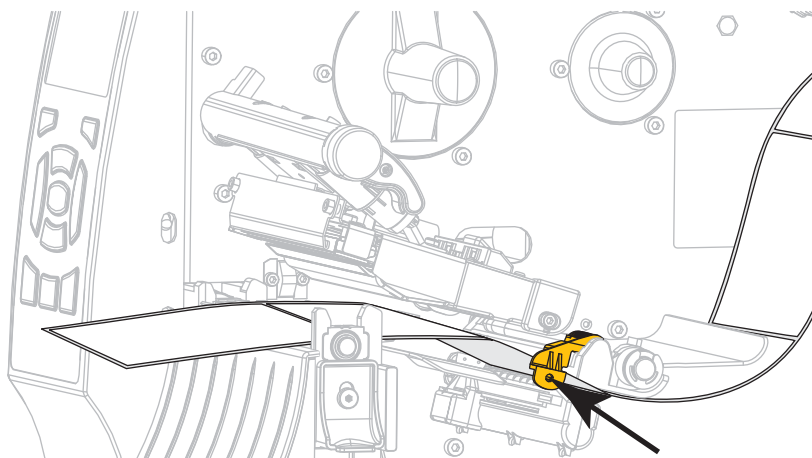
6. ご使用のプリンタは、次のどの印字モードで動作しますか？(印字モードの詳細については、30 ページの印字モードの選択を参照してください)

使用するモード	操作
<p>切り取りモード</p> 	<p>40 ページの切り取りモード用最終手順に進みます。</p>
<p>剥離モード (ライナー巻き取り付き/なし)</p> 	<p>42 ページの剥離モードの最終手順 (ライナー巻き取り付き/なし) に進みます。</p>
<p>巻き取りモード</p> 	<p>51 ページの巻き取りモード用最終手順に進みます。</p>
<p>カッター・モード</p> 	<p>57 ページのカッター・モード用最終手順に進みます。</p>

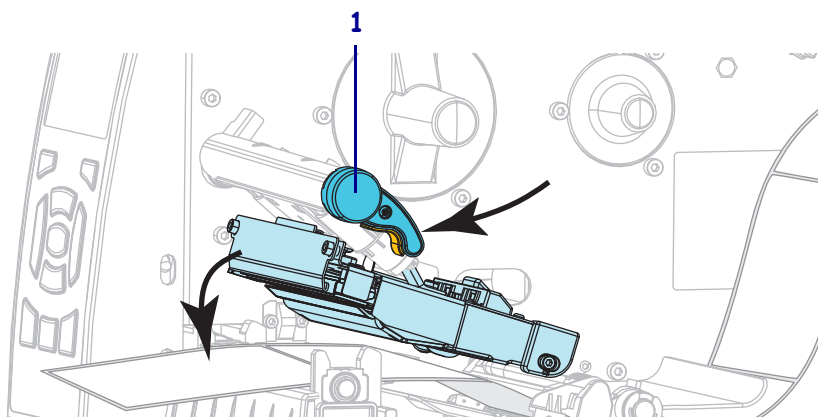
切り取りモード用最終手順



1. 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまでスライドさせます。



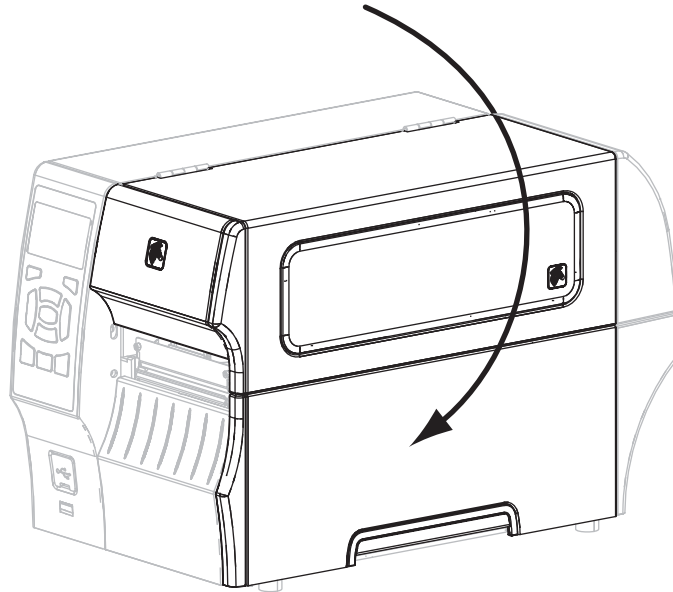
2. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。



3. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか?分からない場合は、[18ページのリボンを使用するケース](#)を参照してください。

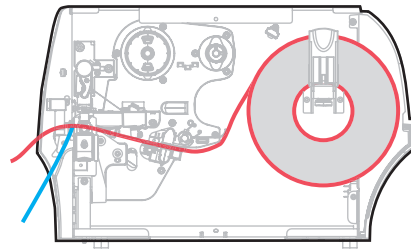
使用する用紙	操作
感熱用紙 - リボンは不要。	手順 4 に進みます。
熱転写用紙 - リボンが必要。	a. リボンをプリンタに装着します (まだ装着していない場合)。60 ページの リボンの装着 を参照してください。 b. 手順 4 に進みます。

4. 用紙アクセス用ドアを閉めます。

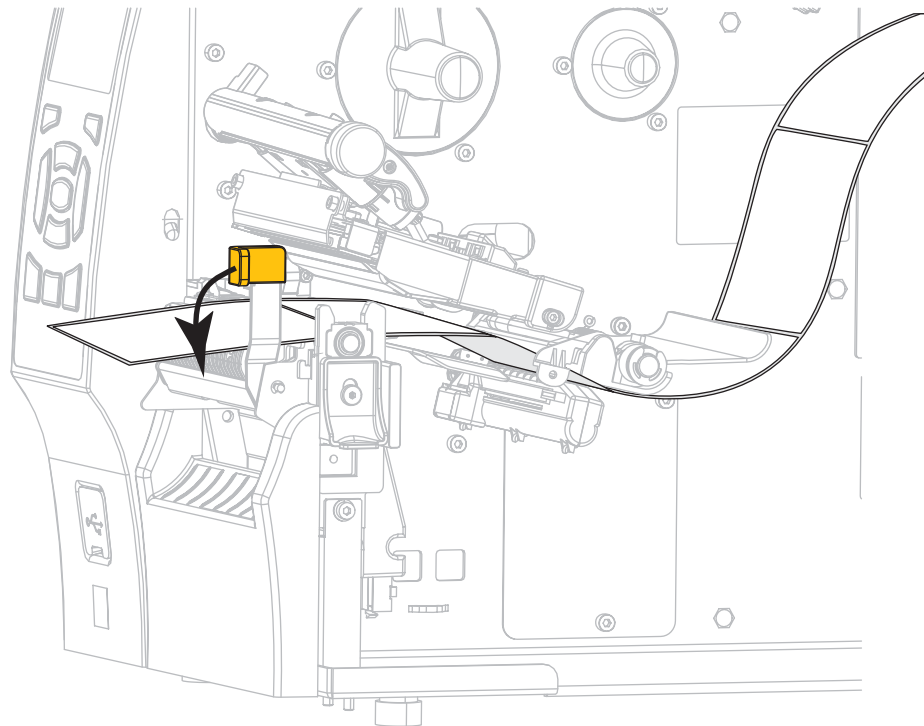


5. プリンタを切り取りモードに設定します（詳細については、69 ページの *印字モード* を参照してください）。
6. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには PAUSE（一時停止）ボタンを押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル・キャリブレーションを実行するか、またはラベルをフィードします。
7. 必要に応じて、165 ページの *CANCEL（キャンセル）セルフ・テスト* を実行して、プリンタが印刷可能であることを確認します。
これで、切り取りモードの用紙装着は完了です。

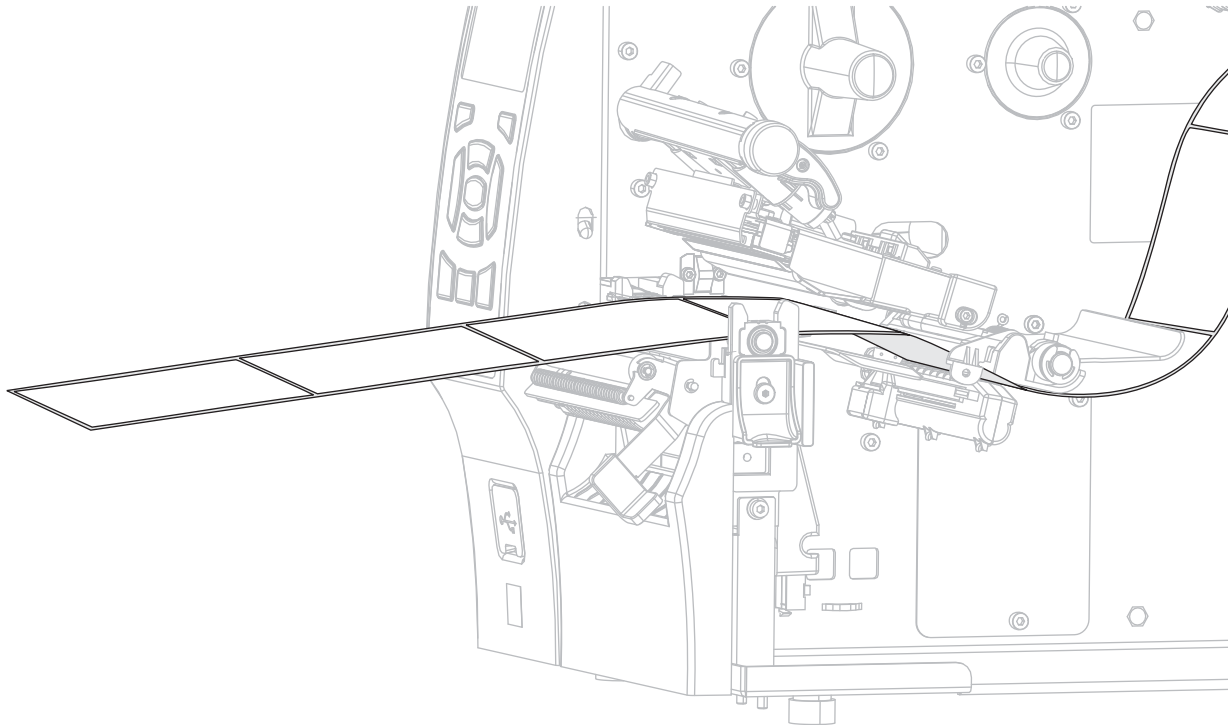
剥離モードの最終手順 (ライナー巻き取り付き / なし)



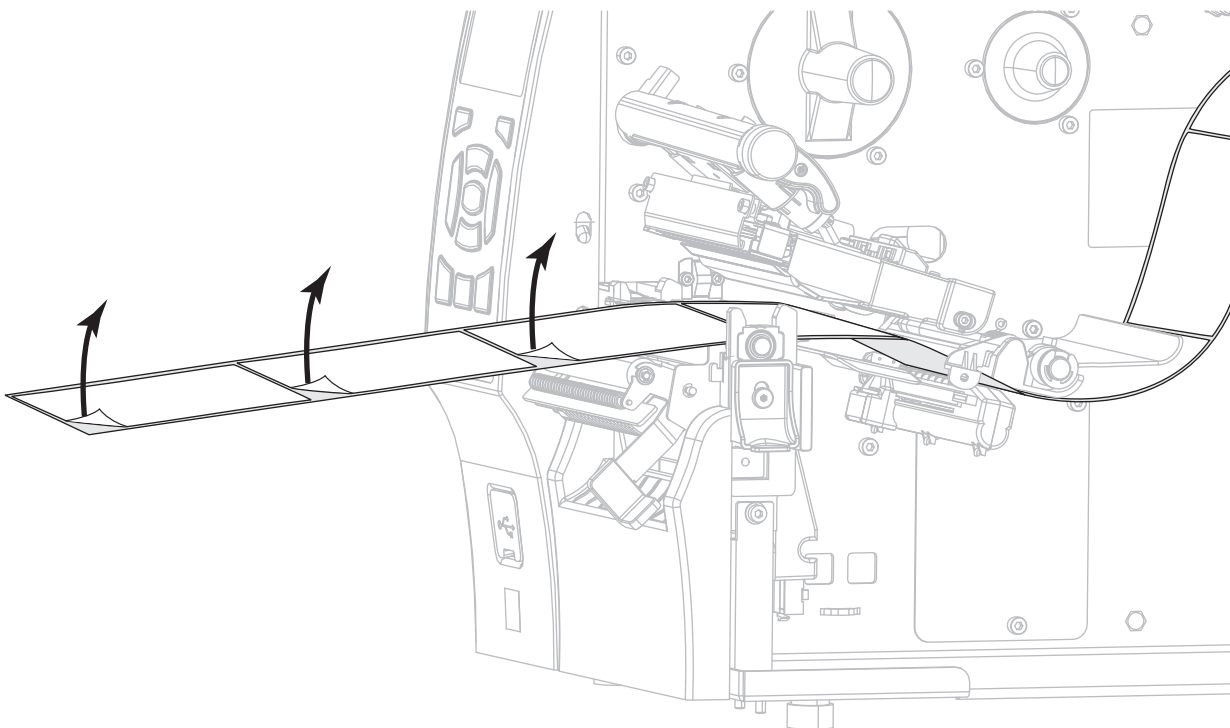
1. 剥離機構解除レバーを押し下げ、剥離アセンブリを開きます。



2. 用紙を約 500 mm (18 インチ) くらいプリンタから引き出します。

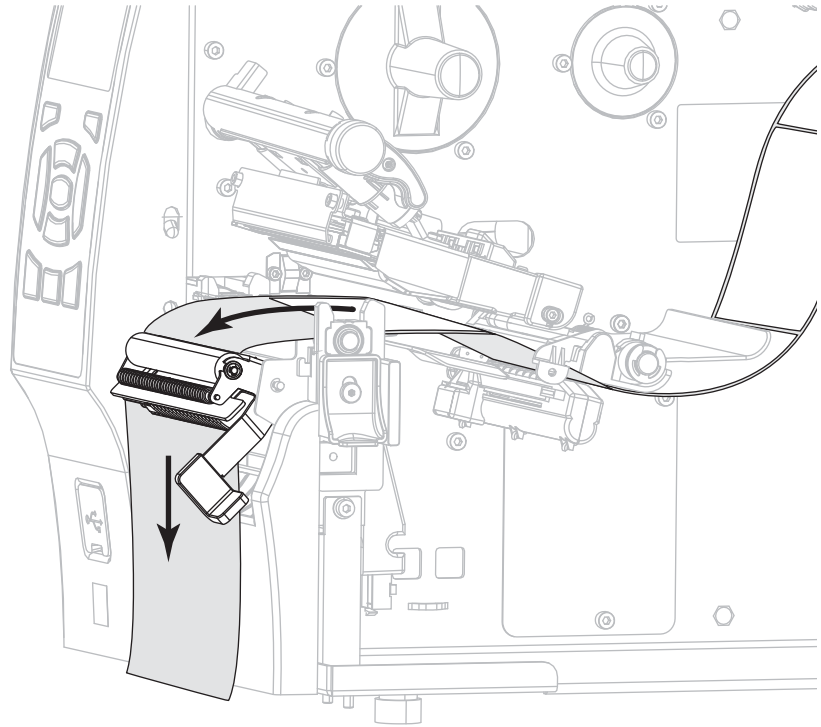


3. 露出したラベルを剥がし、ライナーだけを残します。



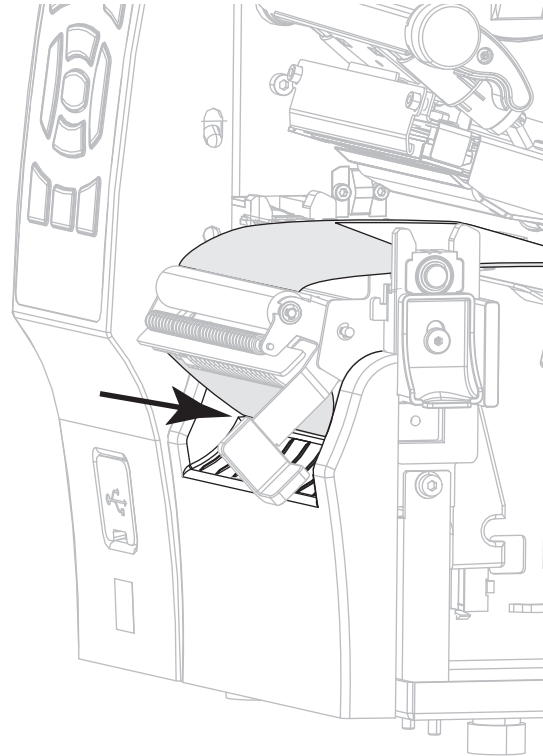
44 | プリンタのセットアップと操作
用紙の装着剥離モード (ライナー巻き取り付き / なし)

4. 剥離アセンブリの後ろにライナーをフィードします。ライナーの端部が確実にプリンタの外に垂れるようにしてください。



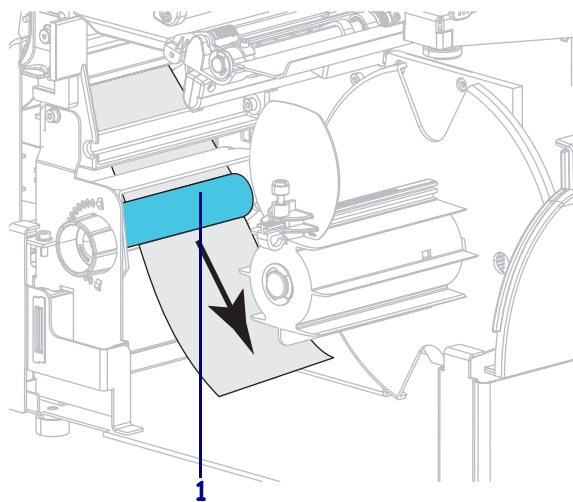
5. ライナー巻き取り付きで剥離モードを使用する場合のみ、この手順を実行します。プリンタには、ライナー巻き取りオプション、または巻き取りオプションがなければなりません。プリンタ・オプションに応じて手順を実行します。ライナー巻き取りを使用していない場合は、[手順 6](#)に進んでください、

5-a. ライナーを剥離アセンブリの下のスロットに通します。



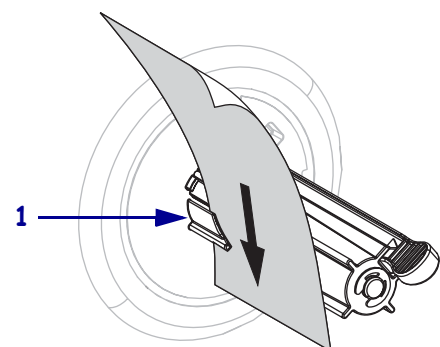
巻き取りオプション

- 5-b. ライナーを用紙調整ローラー (1) の下にフィードします。



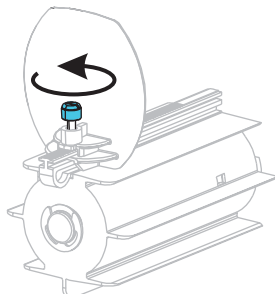
ライナー巻き取りオプション

- ライナーをライナー巻き取りスピンドルのスロット (1) に通します。

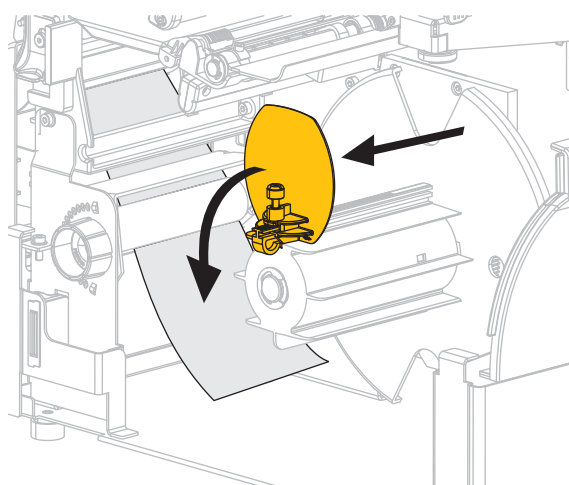


巻き取りオプション (続き)

- 5-c. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを緩めます。

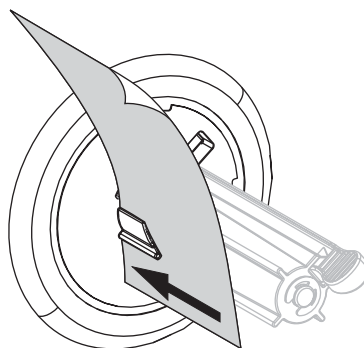


- 5-d. 用紙巻き取りガイドを完全に引き出し、折り下げます。

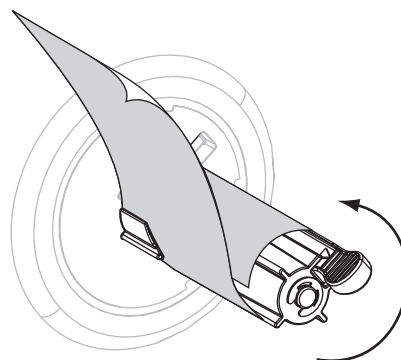


ライナー巻き取りオプション (続き)

ライナーを、ライナー巻き取りスピンドル・アセンブリのバック・プレートに触れるまで押し込みます。



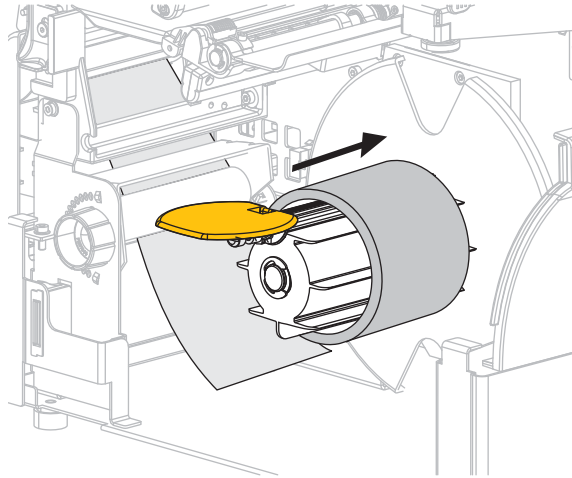
ライナーをライナー巻き取りスピンドルに巻き付け、スピンドルを逆時計回りに回して、ライナーをピンと張ります。



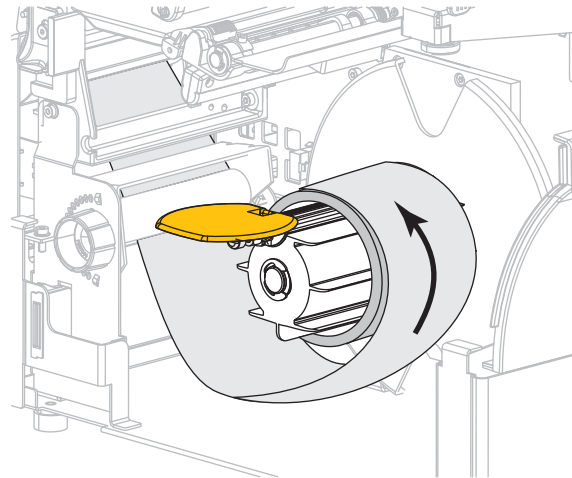
ライナー巻き取りオプションについては、ライナーの装着はこれで完了です。手順 6 に進みます。

巻き取りオプション (続き)

- 5-e. 巻き取りスピンドルに空の芯をスライドさせて装着します。

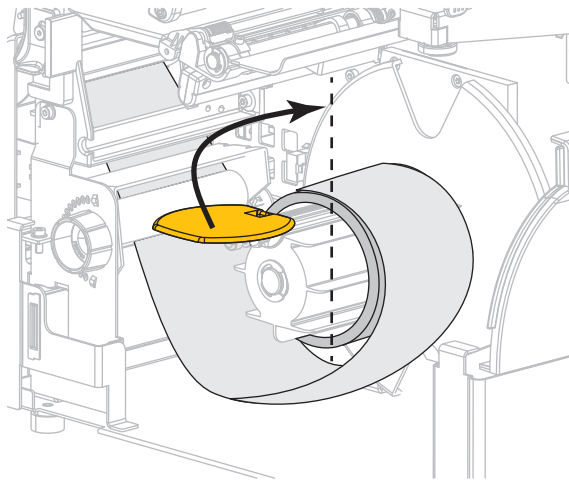


- 5-f. 図のようにライナーを芯に巻き付け、巻き取りスピンドルを回して、用紙をピンと張ります。用紙の端が巻き取りスピンドルのバックプレートにぴったり付いていることを確認してください。

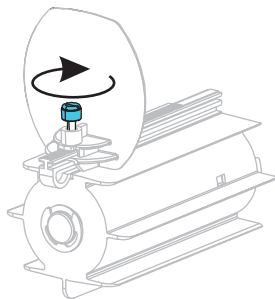


**巻き取りオプション
(続き)**

- 5-g. 用紙巻き取りガイドを折りあげ、ライナーに触れるまでスライドさせます。



- 5-h. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを締めます。

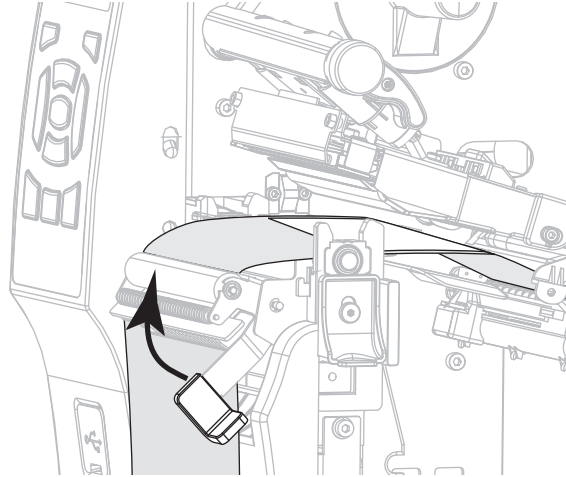


- 5-i. これで、ライナーの装着は完了です。手順 6 に進みます。

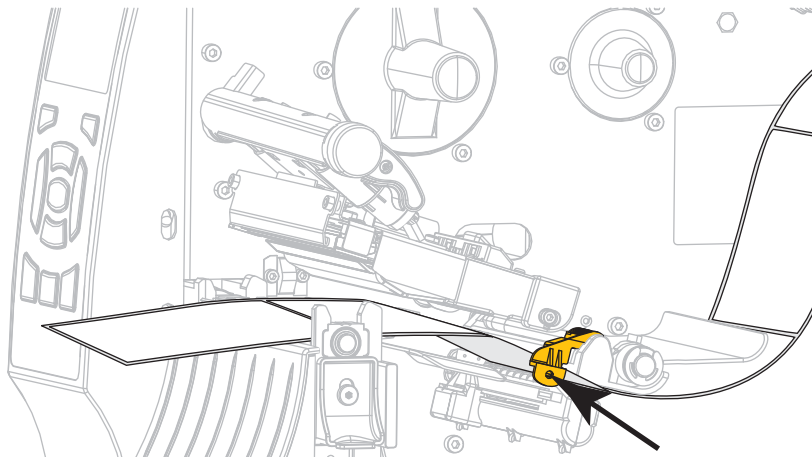


6. **注意**・剥離アセンブリを閉じるには、剥離解除レバーを使用し、右手で操作してください。閉じる際、絶対に左手を添えないでください。剥離ローラーまたはアセンブリの上端に指がはさまれる可能性があります。

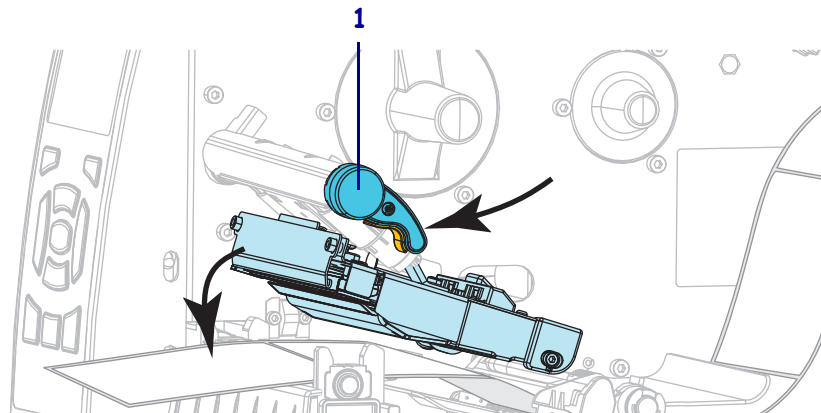
剥離機構解除レバーを使用して、剥離アセンブリを閉じます。



7. 用紙ガイドを用紙の端に軽く触れるまでスライドさせます。



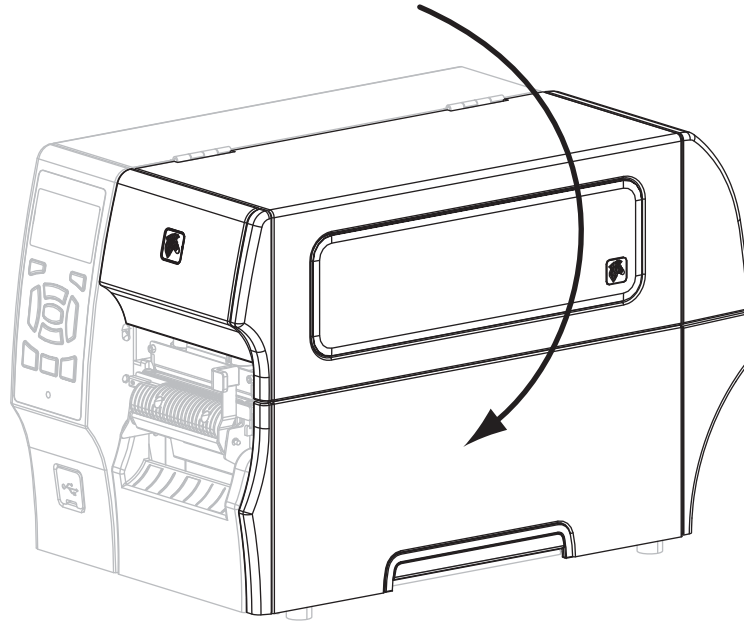
8. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。



9. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか?分からない場合は、18ページの *リボンを使用するケース* を参照してください。

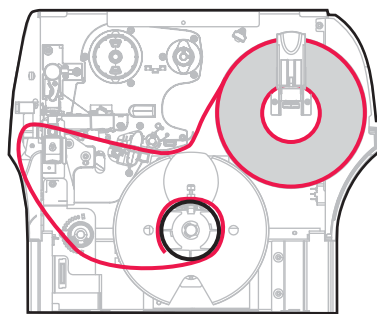
使用する用紙	操作
感熱用紙 - リボンは不要。	手順 10 に進みます。
熱転写用紙 - リボンが必要。	a. リボンをプリンタに装着します (まだしていない場合)。60 ページの <i>リボンの装着</i> を参照してください。 b. 手順 10 に進みます。

10. 用紙アクセス用ドアを閉じます。

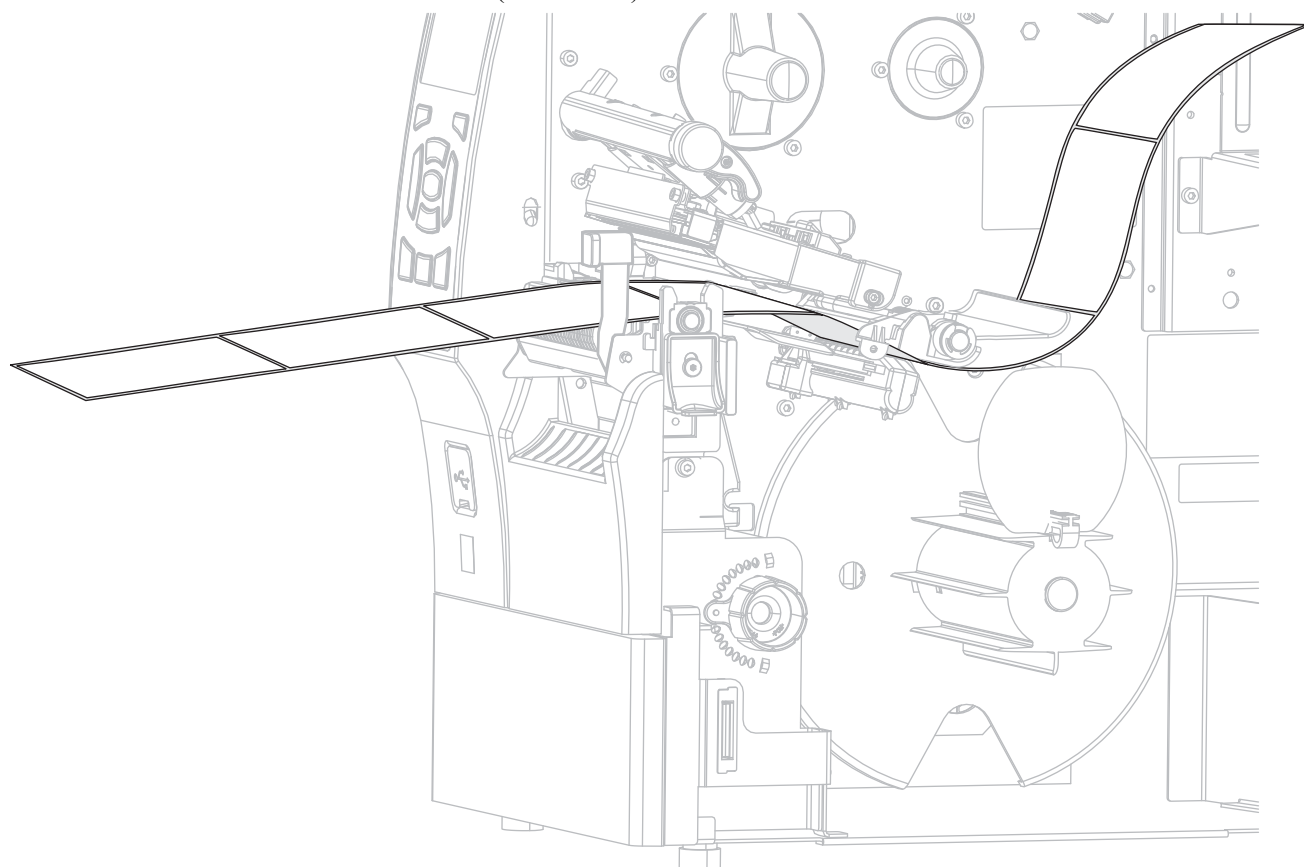


11. プリンタを剥離モードに設定します (詳細については、69 ページの *印字モード* を参照してください)。
12. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには PAUSE (一時停止) ボタンを押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル・キャリブレーションを実行するか、またはラベルをフィードします。
13. 必要に応じて、165 ページの *CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト* を実行して、プリンタが印刷可能であることを確認します。
これで、剥離モードの用紙セットは完了です。

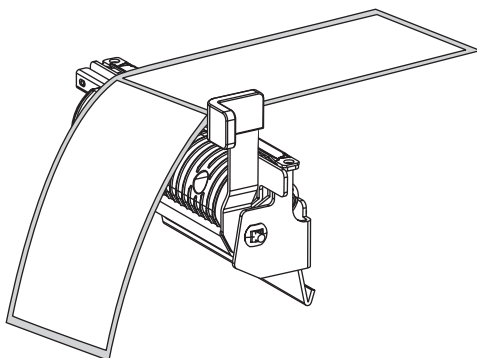
巻き取りモード用最終手順



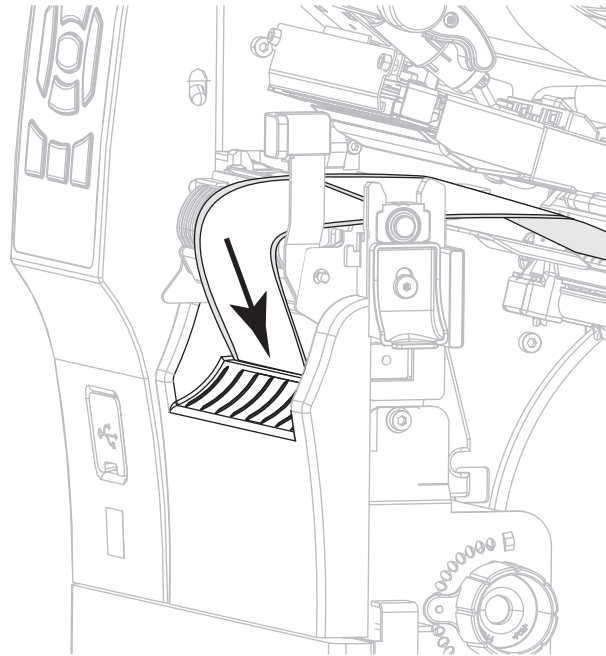
1. 用紙を約 500 mm (18 インチ) くらいプリンタから引き出します。



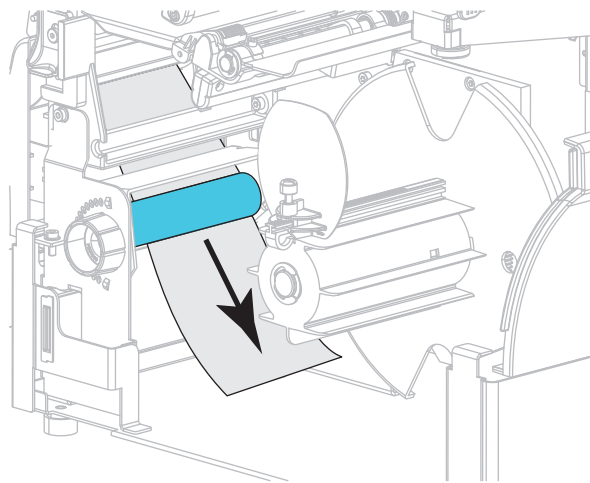
2. 剥離アセンブリの上から用紙をフィードします。



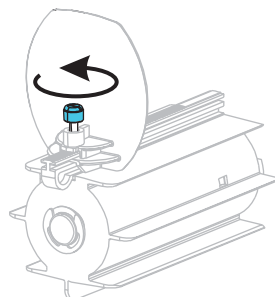
3. 用紙を剥離アセンブリの下のスロットに通します。



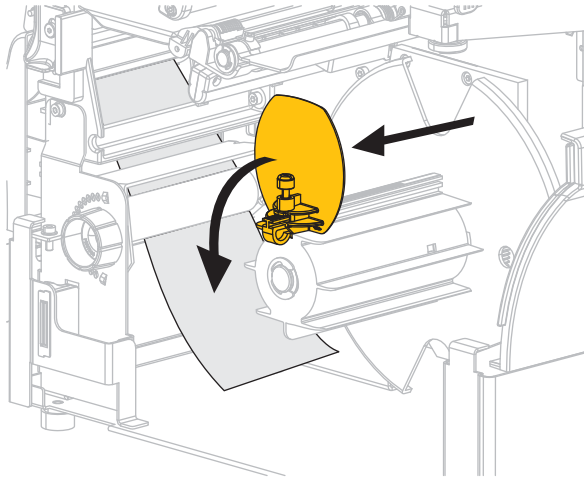
4. 用紙を用紙調整ローラーの下に通します。



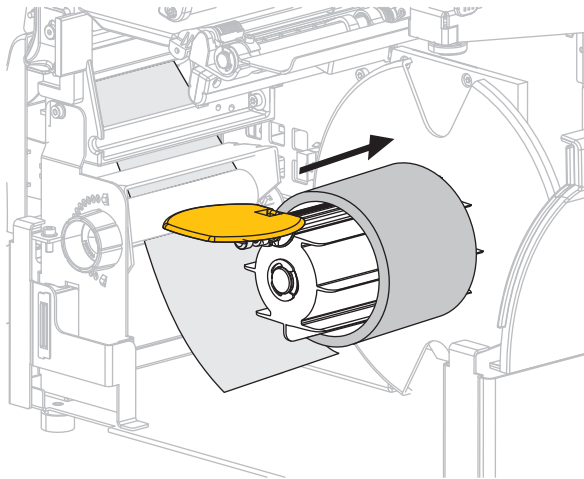
5. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを緩めます。



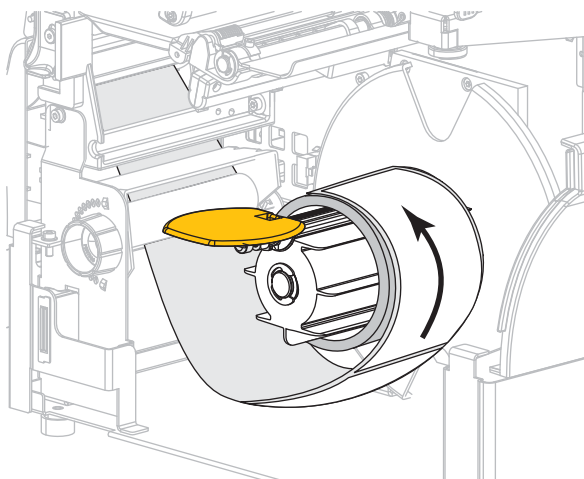
6. 用紙巻き取りガイドを完全に引き出し、折り下げます。



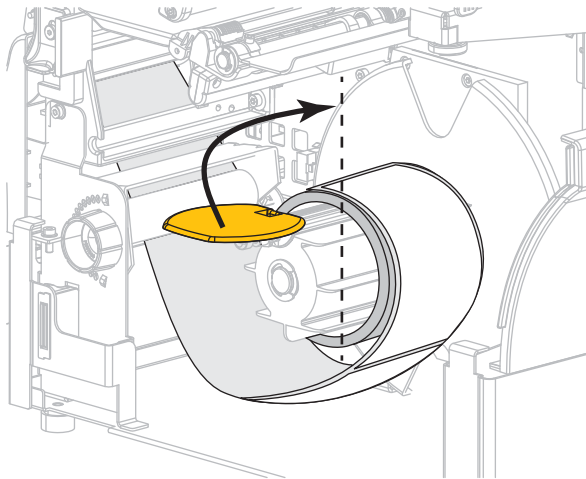
7. 巻き取りスピンドルに空の芯をスライドさせて装着します。



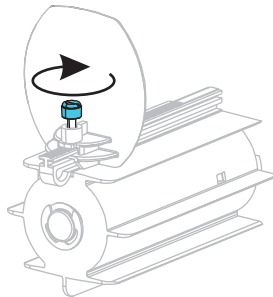
8. 図のように用紙を芯に巻き付け、巻き取りスピンドルを回して、用紙をピンと張ります。用紙の端が巻き取りスピンドルのバックプレートにぴったり付いていることを確認してください。



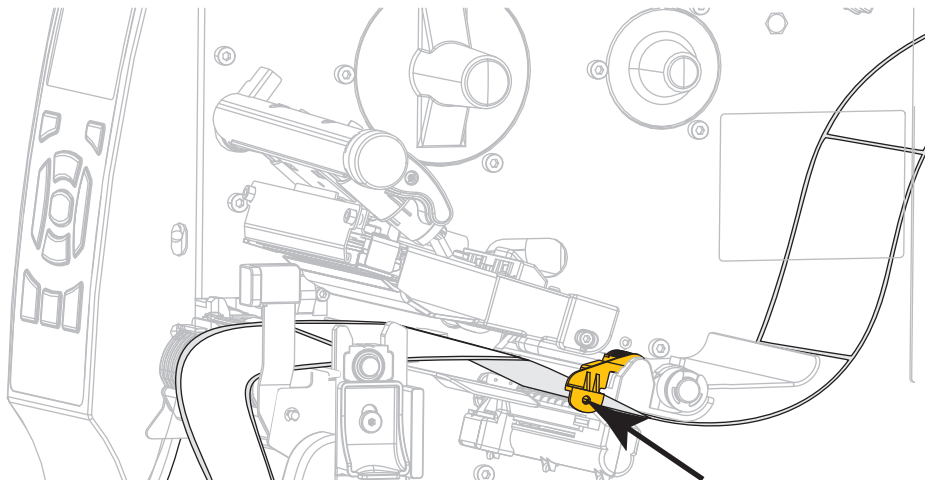
9. 用紙巻き取りガイドを折りあげ、用紙に触れるまでスライドさせます。



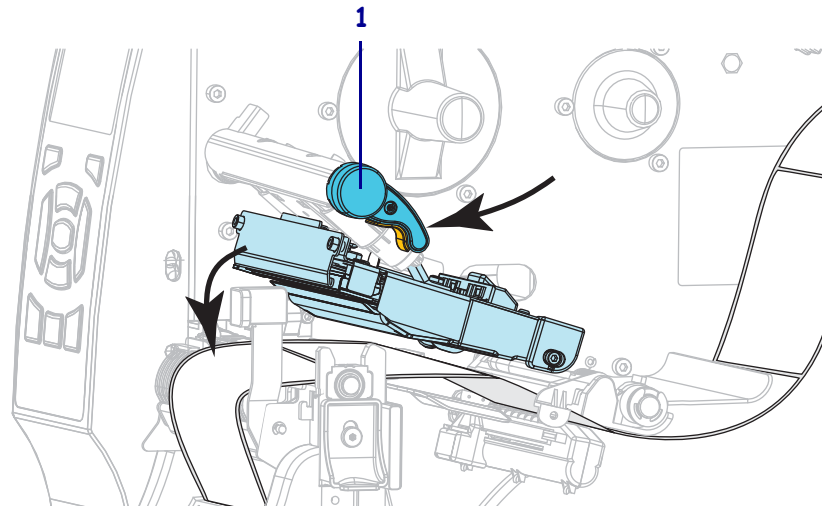
10. 用紙巻き取りガイドの蝶ネジを締めます。



11. 外側の用紙ガイドをスライドさせ、用紙の端に軽く触れるようにします。



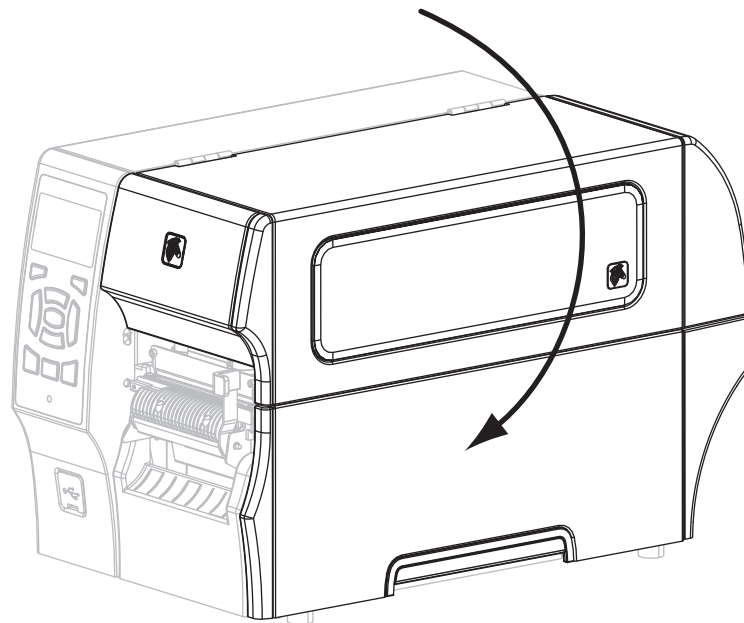
12. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。



13. 使用する用紙を印刷するのにリボンが必要ですか?分からない場合は、18ページの *リボンを使用するケース* を参照してください。

使用する用紙	操作
感熱用紙 - リボンは無用。	手順 14 に進みます。
熱転写用紙 - リボンが必要。	a. リボンをプリンタに装着します (まだしていない場合)。60ページの <i>リボンの装着</i> を参照してください。 b. 手順 14 に進みます。

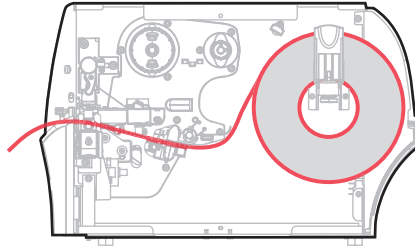
14. 用紙アクセス用ドアを閉じます。



15. プリンタを巻き取りモードに設定します (詳細については、69ページの *印字モード* を参照してください)。

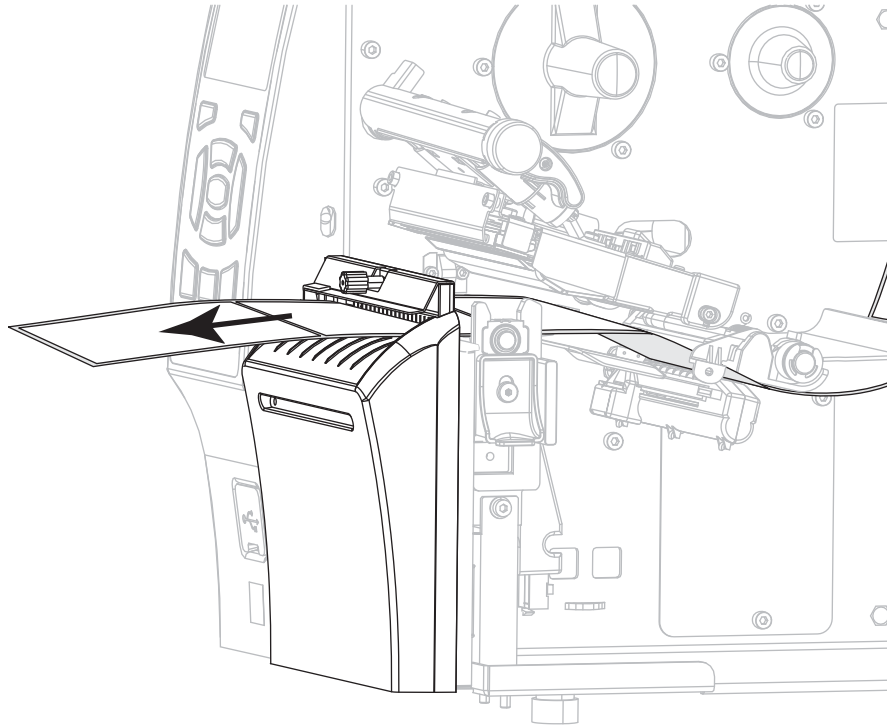
16. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには PAUSE (一時停止) ボタンを押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル・キャリブレーションを実行するか、またはラベルをフィードします。
17. 必要に応じて、165 ページの *CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト* を実行して、プリンタが印刷可能であることを確認します。
これで、カッター・モードでの用紙の装着は完了です。

カッター・モード用最終手順

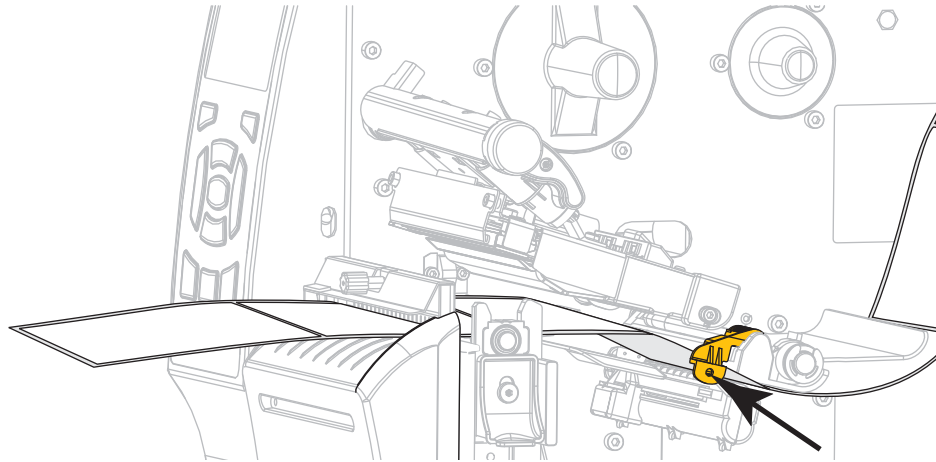


1. **注意**・カッターには鋭い刃が付いています。指で刃をなでたり、刃に触れたりしないように注意してください。

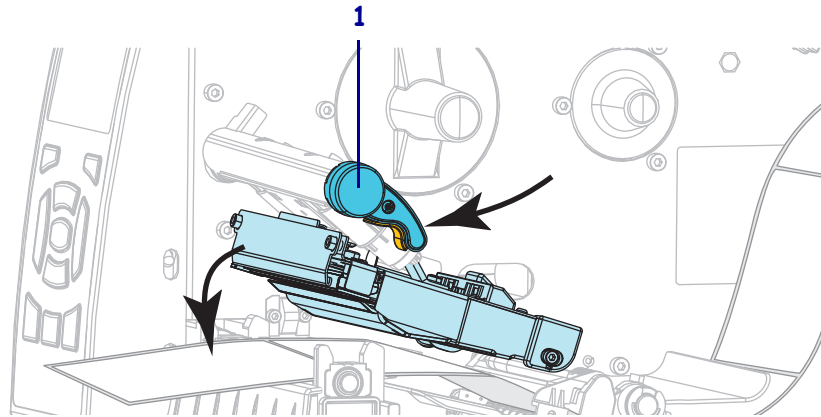
カッターを通して用紙をフィードします。



2. 外側の用紙ガイドをスライドさせ、用紙の端に軽く触れるようにします。



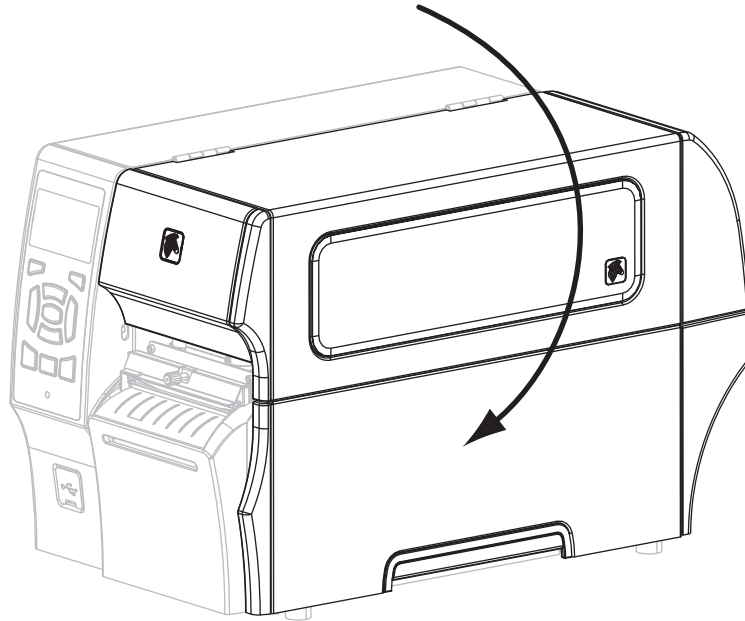
3. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。



4. 使用する用紙を印刷するにはリボンが必要ですか?分からない場合は、[18ページのリボンを使用するケース](#)を参照してください。

使用する用紙	操作
感熱用紙 - リボンは無用。	手順 5 に進みます。
熱転写用紙 - リボンが必要。	<p>a. リボンをプリンタに装着します (まだしていない場合)。60 ページの リボンの装着 を参照してください。</p> <p>b. 手順 5 に進みます。</p>

5. 用紙アクセス用ドアを閉じます。



6. プリンタをカッター・モードに設定します (詳細については、69 ページの印字モードを参照してください)。
7. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには PAUSE (一時停止) ボタンを押します。
プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル・キャリブレーションを実行するか、またはラベルをフィードします。
8. 必要に応じて、165 ページの CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト を実行して、プリンタが印刷可能であることを確認します。
これで、カッター・モードでの用紙の装着は完了です。

リボンの装着



注・この項は、熱転写オプションが装着されたプリンタのみに適用されます。

リボンを使用するのは熱転写ラベルのみです。感熱ラベルの場合は、プリンタにリボンを装着しないでください。特定の用紙でリボンを使用する必要があるかどうか判断するには、[18 ページのリボンを使用するケース](#)を参照してください。

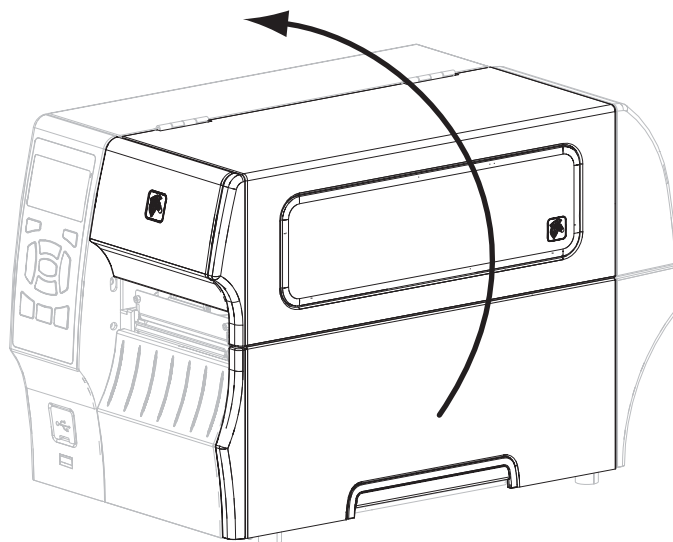
注意・印字ヘッドが開いている近くで作業をする場合、指輪、腕時計、ネックレス、ID バッジなど、印字ヘッドに触れそうな金属製のものは、すべて外してください。印字ヘッドが開いている近くで作業をする際、プリンタの電源は必ずしも切る必要はありませんが、Zebra では、万一に備えて電源をオフにすることを推奨します。電源を切ると、ラベル・フォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。



重要・印字ヘッドの磨耗を防ぐには、用紙より幅の広いリボンを使用してください。コーティング面を外側にして巻かれているリボンでなければなりません。

リボンを装着するには、以下の手順を実行します。

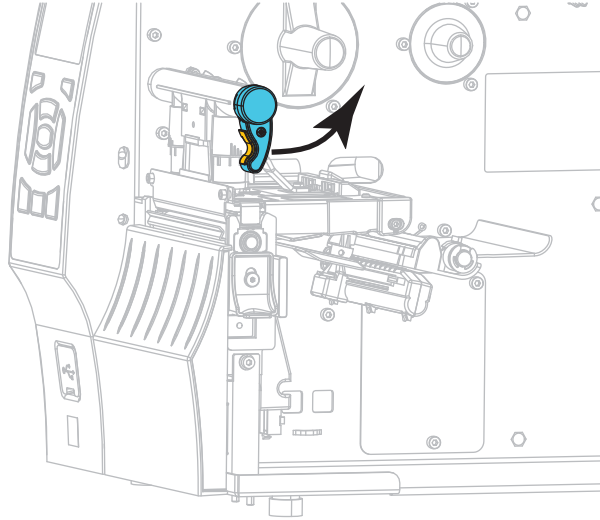
1. 用紙アクセス用ドアを開きます。



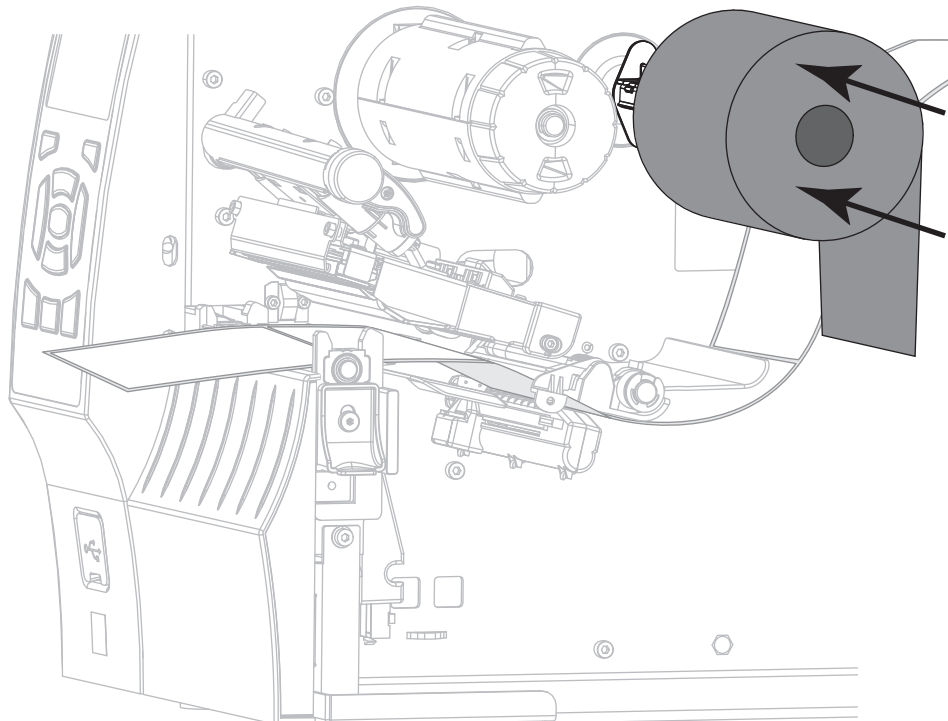


2. **注意**・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。

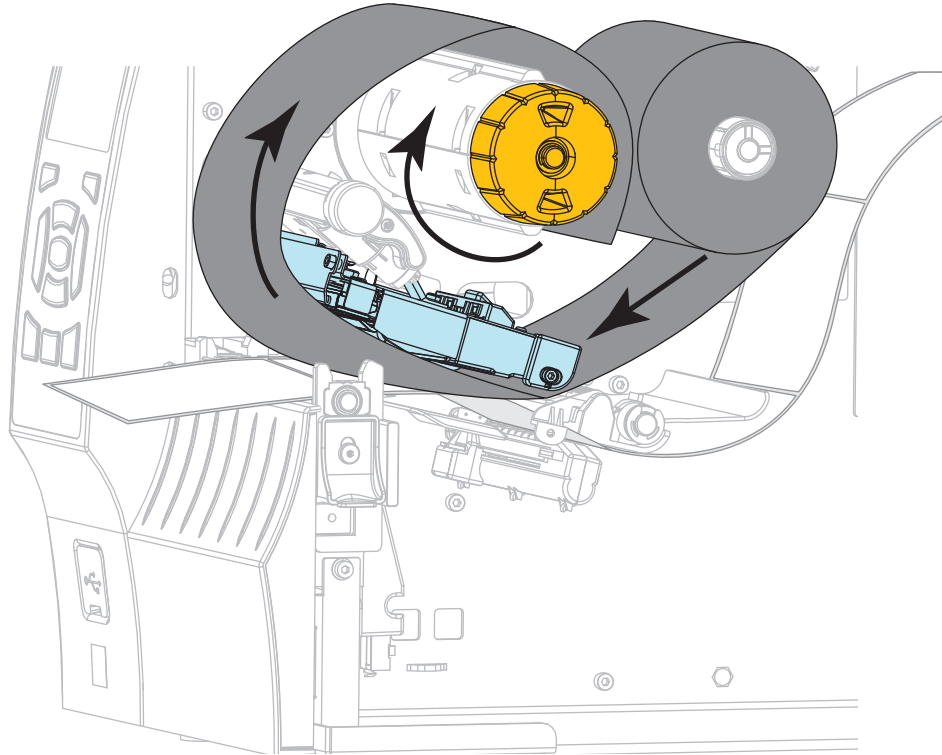
印字ヘッド・オープン・レバーを回して、印字ヘッド・アセンブリを開けます。



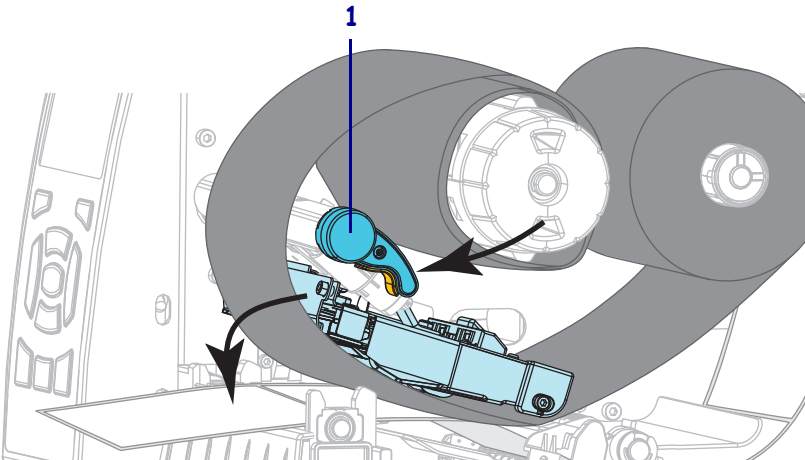
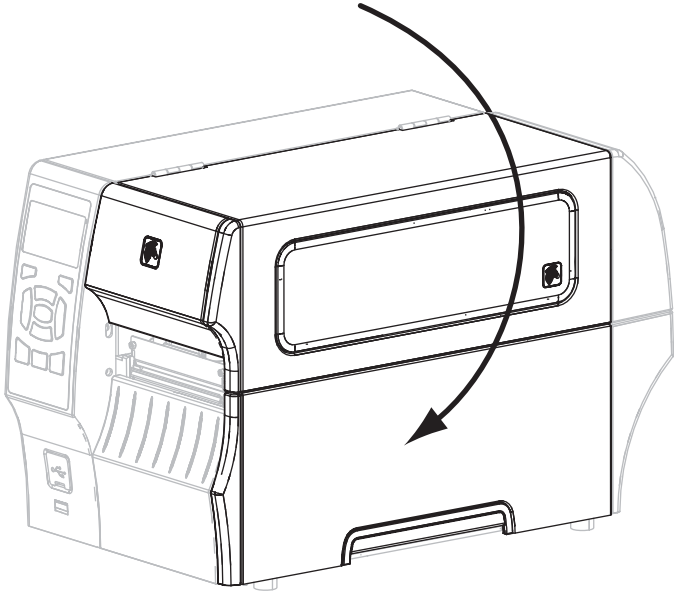
3. リボンのロールをリボン・サプライ・スピンドルに装着し、リボンの巻き終わり部分を図のように垂らします。ロールをできるだけ奥まで押し込みます。



4. リボンは印字ヘッド・アセンブリの下を通してから、リボン巻き取りスピンドルに数回巻きつけます。



5. 用紙はプリンタに装着済みですか？

装着済みかどうか	操作
いいえ	35 ページの 手順 3 に進み、用紙をプリンタに装着します。
はい	<p>a. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。</p>  <p>b. 用紙アクセス用ドアを閉めます。</p>  <p>c. 必要な場合は、PAUSE (一時停止) を押して印刷可能にします。</p>



メモ・ _____

プリンタの設定と調整

このセクションでは、プリンタの設定と調整について説明します。

目次

プリンタ設定の調整.....	66
印字設定.....	67
キャリブレート・ツールと診断ツール.....	71
ネットワーク設定.....	77
RFID 設定.....	80
言語設定.....	83
センサー設定.....	86
ポート設定.....	87
Bluetooth 設定.....	89
ユーザー・メニュー.....	90
ディスプレイ画面のナビゲート.....	90
設定メニュー.....	94
ツール・メニュー.....	97
ネットワーク・メニュー.....	102
RFID メニュー.....	108
言語メニュー.....	112
センサー・メニュー.....	114
ポート・メニュー.....	116
BLUETOOTH メニュー.....	118
リボンと用紙センサーのキャリブレート.....	120
印字ヘッド圧力の調整.....	125
使用済みリボンの取り外し.....	129

プリンタ設定の調整

このセクションでは、変更可能なプリンタ設定について説明すると共に、プリンタ設定の変更を使用するツールも特定します。これらのツールには、次のようなものがあります。

- ZPL コマンドと Set/Get/Do (SGD) コマンド (詳細については、『Zebra® プログラミング・ガイド』を参照)
- プリンタのユーザー・メニュー (詳細については、「90 ページのユーザー・メニュー」を参照)
- プリンタに有線またはワイヤレスのプリンタ・サーバ接続が有効になっているときのプリンタの **Web ページ** (詳細については、『ZebraNet 有線プリント・サーバおよびワイヤレス・プリント・サーバ・ユーザー・ガイド』を参照)

参照マニュアルのコピーは、<http://www.zebra.com/manuals> から入手できます。

このセクションには次のサブセクションがあります。

- [67 ページの印字設定](#)
- [71 ページのキャリブレーション・ツールと診断ツール](#)
- [77 ページのネットワーク設定](#)
- [80 ページの RFID 設定](#)
- [83 ページの言語設定](#)
- [86 ページのセンサー設定](#)
- [87 ページのポート設定](#)
- [89 ページの Bluetooth 設定](#)

印字設定

表 1・印字設定

印字濃度	濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼け付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。 必要に応じて、167 ページの FEED (フィード) セルフ・テスト を使用して、最適な濃度の設定を判定できます。	
	有効値:	0.0 ~ 30.0
	関連の ZPL コマンド:	^MD、~SD
	使用する SGD コマンド:	print.tone
	ユーザー・メニュー項目:	94 ページの印字濃度
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > General Setup (基本設定) > Darkness (濃度)
印字速度	ラベル印刷の速度を選択します (1 秒あたりのインチ数)。通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。	
	有効値:	2、3、4、5、6
	関連の ZPL コマンド:	^PR
	使用する SGD コマンド:	media.speed
	ユーザー・メニュー項目:	94 ページの印字速度
	プリンタの Web ページ:	N/A
用紙タイプ	使用する用紙のタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 「連続紙」を選択した場合は、ラベル・フォーマットでラベルの長さ (ZPL を使用する場合は ^LL) も指定する必要があります。 各種の単票用紙に GAP/NOTCH (ギャップ/切れ込み) または MARK (マーク) を選択する場合、プリンタは用紙をフィードしてラベルの長さを算出します。詳細については、16 ページの 用紙のタイプ を参照してください。 	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> 連続紙 ギャップ/ノッチ 反射式
	関連の ZPL コマンド:	^MN
	使用する SGD コマンド:	ezpl.media_type
	ユーザー・メニュー項目:	94 ページの用紙タイプ
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Media Type (用紙タイプ)

表 1・印字設定 (続き)

印字方式	プリンタがダイレクト・サーマル・モード (リボン不要) または熱転写モード (熱転写用紙とリボンを使用) に設定されている場合に指定します。					
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> 熱転写 感熱 				
	関連の ZPL コマンド:	^MT				
	使用する SGD コマンド:	ezpl.print_method				
	ユーザー・メニュー項目:	94 ページの印字方式				
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Print Method (印字方式)				
切り取り位置	<p>必要に応じて、印刷後に切り取りバーの上にくる用紙の位置を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数値を大きくすると用紙が前に出ます (切り取り線が次のラベルのリーディング・エッジに近くなる)。 数値を小さくすると用紙が後ろに引っ込みます (切り取り線が印刷されたラベルの端に近くなる)。 					
	<table border="1"> <tr> <td style="width: 20px;">1</td> <td>用紙の方向</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>工場出荷時の切り取り位置 000</td> </tr> </table>		1	用紙の方向	2	工場出荷時の切り取り位置 000
	1	用紙の方向				
	2	工場出荷時の切り取り位置 000				
	有効値:	-120 ~ 120				
	関連の ZPL コマンド:	~TA				
	使用する SGD コマンド:	ezpl.tear_off				
	ユーザー・メニュー項目:	95 ページの切り取り				
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > General Setup (基本設定) > Tear Off (切り取り)				

表 1・印字設定 (続き)


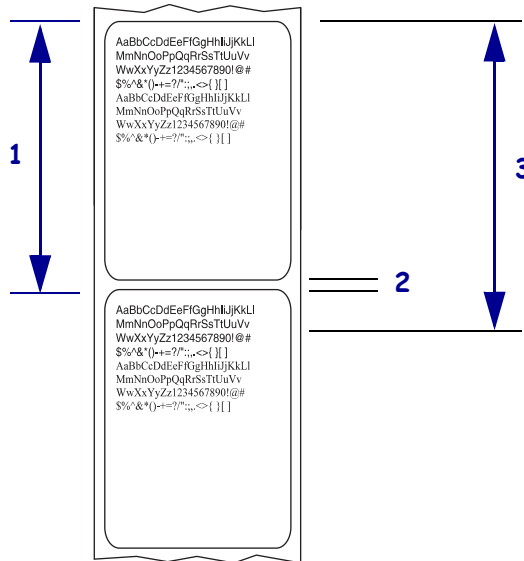
印字幅	<p>使用するラベルの幅を指定します。デフォルト値は、印字ヘッドの DPI 値に基づき、プリンタの最大幅です。</p> <p> 注・指定する幅が狭すぎると、ラベル・フォーマットの一部分が用紙に印刷されない場合があります。設定する幅が広すぎると、フォーマット・メモリを浪費し、ラベル外のプラテン・ローラー上に印刷がはみ出る可能性があります。^POI ZPL II コマンドを使用してイメージが反転されている場合、この設定はラベル・フォーマットの縦位置に影響を及ぼす可能性があります。</p>	
	有効値:	ZT410 203 dpi = 0002 ~ 832 ZT410 300 dpi = 0002 ~ 1248 ZT410 600 dpi = 0002 ~ 2496 ZT420 203 dpi = 0002 ~ 1344 ZT420 300 dpi = 0002 ~ 1984
	関連の ZPL コマンド:	^PW
	使用する SGD コマンド:	ezpl.print_width
	ユーザー・メニュー項目:	95 ページの印字幅
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Print Width (印字幅)
印字モード	<p>プリンタ・オプションに適した印字モードを選択してください。</p> <p>別のプリンタ・オプションを選択した場合の印字モードの動作については、30 ページの印字モードの選択を参照してください。</p>	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 切り取り • カッター • 剥離 (この値は剥離モードまたはライナー巻き取りモードに使用します)
	関連の ZPL コマンド:	^MM
	使用する SGD コマンド:	media.printmode
	ユーザー・メニュー項目:	95 ページの印字モード
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > General Setup (基本設定) > Print Mode (印字モード)
ラベルの X 印字基点の調整	<p>必要に応じて、ラベルの横方向の印字位置をシフトします。正の値を設定すると、選択したドット数ごとに、イメージの左端がラベルの中央方向に移動し、負の数を設定すると、イメージの左端がラベルの左端に移動します。</p>	
	有効値:	-9999 ~ 9999
	関連の ZPL コマンド:	^LS
	使用する SGD コマンド:	zpl.left_position
	ユーザー・メニュー項目:	95 ページの X 印字基点
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Advanced Setup (応用設定) > Left Position (X 印字基点)

表 1・印字設定 (続き)

再発行モード	再発行モードを有効にすると、プリンタのコントロール・パネルで PAUSE (一時停止) + CANCEL (キャンセル) を押し続けることにより、最後に発行したラベルを再発行することができます。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • オン • オフ
	関連の ZPL コマンド:	^JZ
	使用する SGD コマンド:	ezpl.reprint_mode
	ユーザー・メニュー項目:	95 ページの再発行モード
	プリンタの Web ページ:	N/A
最大ラベル長	<p>最大ラベル長は、実際のラベルの長さでラベル間のギャップの長さを合わせたより少なくとも 25.4 mm (1.0 インチ) 長い値に設定してください。ラベル長より小さい値を設定すると、プリンタは連続用紙がセットされているとみなし、プリンタはキャリブレーションできなくなります。</p> <p>たとえば、ラベル間ギャップも含めたラベル長が 152 mm (6.0 インチ) である場合、このパラメータは 178 mm (7.0 インチ) 以上に設定します。</p>	
	 <p>The diagram illustrates two labels stacked vertically. Dimension 1 is a vertical double-headed arrow spanning the entire height of both labels and the gap between them. Dimension 2 is a horizontal double-headed arrow indicating the width of the gap between the two labels. Dimension 3 is a vertical double-headed arrow indicating the height of one individual label. Each label contains a standard ZPL test pattern of alphanumeric characters.</p>	
	1	ラベル長 (ラベル間のギャップを含む)
	2	ラベル間のギャップ
	3	最大ラベル長を、この長さに設定する
有効値:	0 ~ このプリンタがサポートする最大ラベル長	
関連の ZPL コマンド:	^ML	
使用する SGD コマンド:	ezpl.label_length_max	
ユーザー・メニュー項目:	96 ページの最大ラベル長	
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Maximum Length (最大長)	

キャリブレート・ツールと診断ツール

表 2・キャリブレート・ツールと診断ツール

発行情報	以下の指定された情報を 1 つ以上のラベルに印刷します。
有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • SETTINGS (設定) — プリンタ設定ラベルを印刷します。 • NETWORK (ネットワーク) — インストールされているいずれかのプリント・サーバの設定を印刷します。 • FORMATS (フォーマット) — プリンタの RAM、フラッシュ・メモリ、またはオプションのメモリ・カードに格納されている使用可能なフォーマットを印刷します。 • IMAGES (イメージ) — プリンタの RAM、フラッシュ・メモリ、またはオプションのメモリ・カードに格納されている使用可能なイメージを印刷します。 • FONTS (フォント) — プリンタで使用可能なフォント (標準のプリンタのフォント、およびすべてのオプションのフォントを含む) を印刷します。フォントは、RAM またはフラッシュ・メモリに保存されています。 • BARCODES (バーコード) — プリンタで使用可能なバーコードを印刷します。バーコードは、RAM またはフラッシュ・メモリに保存されています。 • ALL (すべて) — 前の 6 枚のラベルを印刷します。 • SENSOR PROFILE (センサー・プロファイル) — 実際のセンサー値と比較したセンサー設定を表示します。センサー・プロファイルの結果を解釈するには、172 ページのセンサー・プロファイルを参照してください。
関連の ZPL コマンド:	設定 :~WC ネットワーク :~WL センサー・プロファイル :~JG その他 :^WD
使用する SGD コマンド:	なし
ユーザー・メニュー項目:	設定 : 97 ページの発行情報 ネットワーク : 106 ページの発行情報 センサー・プロファイル : 114 ページの発行情報
コントロール・パネル・キー:	設定とネットワーク : 以下のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンタのパワーアップ時に、CANCEL (キャンセル) ボタンを押したままにする。 • プリンタがレディ状態のときに、FEED (フィード) と CANCEL (キャンセル) を 2 秒間押し続ける。 センサー・プロファイル : プリンタのパワーアップ時に、FEED (フィード) と CANCEL (キャンセル) を押したままにする。
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > Print Listings on Label (ラベルにリストを印刷)

表 2・キャリブレート・ツールと診断ツール (続き)

LCD コントラスト	プリンタの画面のコントラストを変更します。	
	有効値:	3 ~ 15
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	<code>display.contrast</code>
	ユーザー・メニュー項目:	97 ページの LCD コントラスト
	プリンタの Web ページ:	N/A
アイドル表示	プリンタのアイドル時にプリンタ・ディスプレイに表示される情報を選択します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • FW バージョン • IP アドレス • MM/DD/YY 24 HR • M/DD/YY 12 HR • DD/MM/YY 24 HR • DD/MM/YY 12 HR
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	<code>device.idle_display_format</code>
	ユーザー・メニュー項目:	97 ページのアイドル表示
	プリンタの Web ページ:	N/A
電源投入時の動作	電源投入シーケンス時に行うプリンタの動作を設定します。	
	<ul style="list-style-type: none"> • キャリブレート - センサー・レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判別し、用紙を次のウェブにフィードします。 • フィード - ラベルが最初の整合点にフィードされます。 • ラベル長 - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブにフィードします。 • 動作しません - プリンタに用紙を送りません。ウェブが正確な位置にあることを手動で確認してください。または FEED (フィード) ボタンを押して次のウェブを配置してください。 • 短キャリブレート - センサーのゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、長さを判定して用紙を次のウェブにフィードします。 	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • キャリブレート • フィード • ラベル長 • 動作しません • 短キャリブレート
	関連の ZPL コマンド:	<code>^MF</code>
	使用する SGD コマンド:	<code>ezpl.power_up_action</code>
	ユーザー・メニュー項目:	97 ページの電源投入時の動作
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > Calibration (キャリブレート)	

表 2・キャリブレーション・ツールと診断ツール (続き)

ヘッドを閉めたときの動作	印字ヘッドを閉めたときのプリンタの動作を設定します。	
	<ul style="list-style-type: none"> • キャリブレーション - センサー・レベルとしきい値を調整し、ラベル長を判別し、用紙を次のウェブにフィードします。 • フィード - ラベルが最初の整合点にフィードされます。 • ラベル長 - 現在のセンサー値を使用してラベル長を判定し、用紙を次のウェブにフィードします。 • 動作しません - プリンタに用紙を送りません。ウェブが正確な位置にあることを手動で確認してください。または FEED (フィード) ボタンを押して次のウェブを配置してください。 • 短キャリブレーション - センサーのゲインを調整せずに用紙とウェブのしきい値を設定し、長さを判定して用紙を次のウェブにフィードします。 	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • キャリブレーション • フィード • ラベル長 • 動作しません • 短キャリブレーション
	関連の ZPL コマンド:	^MF
	使用する SGD コマンド:	ezpl.head_close_action
	ユーザー・メニュー項目:	98 ページの印字ヘッドを閉めた時の動作
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > Calibration (キャリブレーション)	
ヘッドを開いたときのライト	印字ヘッドを開いたときにオンになるライトの明るさを設定します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 高 • 中 • 低 • オフ
	関連の ZPL コマンド:	N/A
	使用する SGD コマンド:	device.light.head_open_brightness
	ユーザー・メニュー項目:	98 ページの印字ヘッドを開いた時のライト
	プリンタの Web ページ:	N/A
カバーを開いたときのライト	用紙アクセスドアを開いたときにオンになるライトの明るさを設定します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 高 • 中 • 低 • オフ
	関連の ZPL コマンド:	N/A
	使用する SGD コマンド:	device.light.cover_open_brightness
	ユーザー・メニュー項目:	98 ページの用紙カバーを開いた時のライト
	プリンタの Web ページ:	N/A

表 2・キャリブレート・ツールと診断ツール (続き)

<p>設定初期化</p>	<p>特定のプリンタ、プリント・サーバ、およびネットワークの設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるので、注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時 — ネットワーク設定以外のすべてのプリンタ設定を工場出荷時のデフォルト値に戻します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるので、注意してください。 ネットワーク — プリンタの有線またはワイヤレスのプリント・サーバを再初期化します。ワイヤレス・プリント・サーバの場合、プリンタとワイヤレス・ネットワークとの再関連付けも行われます。 最終保存 — 最後に保存した設定を読み込みます。
<p>有効値:</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時 ネットワーク 最終保存
<p>関連の ZPL コマンド:</p>	<p>工場出荷時 : ^JUF ネットワーク : ^JUN 最終保存 : ^JUR</p>
<p>使用する SGD コマンド:</p>	<p>なし</p>
<p>ユーザー・メニュー項目:</p>	<p>106 ページの設定初期化</p>
<p>コントロール・パネル・キー:</p>	<p>工場出荷時 : プリンタのパワーアップ時に FEED (フィード) ボタンと PAUSE (一時停止) ボタンを押したままにして、プリンタ・パラメータを工場出荷時の値にリセットします。</p> <p>ネットワーク : プリンタのパワーアップ時に CANCEL (キャンセル) ボタンと PAUSE (一時停止) ボタンを押したままにして、ネットワーク・パラメータを工場出荷時の値にリセットします。</p> <p>最終保存 : N/A</p>
<p>プリンタの Web ページ:</p>	<p>工場出荷時 : View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Restore Default Configuration (デフォルトのコンフィグに再定義してください)</p> <p>ネットワーク : プrint・Server 設定 > プrint・Server のリセット</p> <p>最終保存 : View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Restore Saved Configuration (保存された設定の復元)</p>

表 2・キャリブレーション・ツールと診断ツール (続き)


用紙センサー とリボン・ センサーの キャリブレーション	用紙センサーとリボン・センサーの感度を調整するには、プリンタをキャリブレーションします。 キャリブレーション手順を実行する方法の詳細については、 120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレーション を参照してください。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	~JC
	使用する SGD コマンド:	ezpl.manual_calibration
	ユーザー・メニュー項目:	98 ページのメディア / リボン C
	コントロール・パネル・キー:	キャリブレーションを開始するには、PAUSE (一時停止) ボタン + FEED (フィード) ボタン + CANCEL (キャンセル) ボタンを 2 秒間押したままにします。
	プリンタの Web ページ:	<p>キャリブレーション手順は、Web ページからは開始できません。センサー・キャリブレーション時に行われる設定については、次の Web ページを参照してください。</p> <p>View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Calibration (キャリブレーション)</p> <p> 重要・Zebra 技術サポートまたは Zebra 認定技術者からの指示でない限り、これらの設定は変更しないでください。</p>
通信診断 モード	プリンタが受信するすべてのデータの 16 進値をプリンタで出力するには、この診断ツールを使用します。 詳細については、 171 ページの通信診断テスト を参照してください。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 無効 • 有効
	関連の ZPL コマンド:	~JD で有効、~JE で無効
	使用する SGD コマンド:	device.diagnostic_print
	ユーザー・メニュー項目:	99 ページの診断モード
	コントロール・パネル・キー:	プリンタがレディ状態のときに、PAUSE (一時停止) ボタンと FEED (フィード) ボタンを 2 秒間押したままにします。
	プリンタの Web ページ:	N/A

表 2・キャリブレート・ツールと診断ツール (続き)

ZBI の有効化	Zebra Basic Interpreter (ZBI 2.0™) は、ご使用のプリンタ対応のプログラミング・オプションとしてご購入いただけます。このオプションをご購入される方は、詳細について最寄の Zebra 販売代理店にお問い合わせください。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	<code>zbi.key</code> (ZBI 2.0 オプションがプリンタで有効か無効かを認識します)
	ユーザー・メニュー項目:	99 ページの ZBI 有効?
	プリンタの Web ページ:	N/A
ZBI プログラムの実行	ZBI がインストールされている場合は、プリンタにダウンロードされている ZBI プログラムを実行するように設定できます。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	<code>^JI</code> 、 <code>~JI</code>
	使用する SGD コマンド:	<code>zbi.control.run</code>
	ユーザー・メニュー項目:	99 ページの ZBI プログラムの実行
	プリンタの Web ページ:	ディレクトリ・リスト
ZBI プログラムの停止	プリンタで ZBI プログラムを実行している場合、そのプログラムを停止することができます。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	<code>~JQ</code>
	使用する SGD コマンド:	<code>zbi.control.terminate</code>
	ユーザー・メニュー項目:	99 ページの ZBI プログラムの停止
	プリンタの Web ページ:	ディレクトリ・リスト

ネットワーク設定

表 3・ネットワーク設定

IP アドレス	プリンタの IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。 この設定で行った変更は、IP プロトコルが「確定」に設定されている場合にのみ保存されます。保存した変更内容を反映させるには、プリント・サーバをリセットします (79 ページの ネットワークのリセット を参照してください)。	
	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)
	関連の ZPL コマンド:	^ND
	使用する SGD コマンド:	有線 :internal_wired.ip.addr ワイヤレス :ip.addr,wlan.ip.addr
	ユーザー・メニュー項目:	102 ページの 有線 IP アドレス
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > Network Communications Setup (ネットワーク通信設定) > TCP/IP Settings (TCP/IP 設定)
サブネット・マスク	サブネット・マスクを表示し、必要に応じて変更します。 このメニュー項目は、ご使用のプリンタに有線またはワイヤレスのプリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。この設定に対する変更を保存するには、IP プロトコルを確定に設定してから、プリント・サーバをリセットします (79 ページの ネットワークのリセット を参照)。	
	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)
	関連の ZPL コマンド:	^ND
	使用する SGD コマンド:	有線 :internal_wired.ip.netmask ワイヤレス :wlan.ip.netmask
	ユーザー・メニュー項目:	102 ページの 有線サブネット・マスク
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > Network Communications Setup (ネットワーク通信設定) > TCP/IP Settings (TCP/IP 設定)

表 3・ネットワーク設定 (続き)

ゲートウェイ	デフォルト・ゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。 このメニュー項目は、ご使用のプリンタに有線またはワイヤレスのプリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。この設定に対する変更を保存するには、 IP プロトコル を 確定 に設定してから、プリント・サーバをリセットします (79 ページの ネットワークのリセット を参照)。	
	有効値:	000 ~ 255 (各フィールド)
	関連の ZPL コマンド:	^ND
	使用する SGD コマンド:	有線 :internal_wired.ip.gateway ワイヤレス :wlan.ip.gateway
	ユーザー・メニュー項目:	103 ページの有線ゲートウェイ
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Network Communications Setup (ネットワーク通信設定) > TCP/IP Settings (TCP/IP 設定)	
IP プロトコル	このパラメータは、ユーザー (確定) またはサーバ (ダイナミック) のどちらかで IP アドレスを選択できるかを示します。ダイナミック・オプションを選択した場合、このパラメータは、プリント・サーバ (有線またはワイヤレス) がサーバから IP アドレスを受信する方法を指定します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 全て • 収集のみ • RARP • BOOTP • DHCP • DHCP & BOOTP • 確定
	関連の ZPL コマンド:	^ND
	使用する SGD コマンド:	有線 :internal_wired.ip.protocol 無線 :wlan.ip.protocol
	ユーザー・メニュー項目:	103 ページの有線 IP プロトコル
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Network Communications Setup (ネットワーク通信設定) > TCP/IP Settings (TCP/IP 設定)	
MAC アドレス	プリンタ (有線または無線) にインストールされているプリント・サーバの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	有線 :internal_wired.mac_addr ワイヤレス :wlan.mac_addr
	ユーザー・メニュー項目:	103 ページの有線 MAC アドレス
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Maximum Length (最大長)	

表 3・ネットワーク設定 (続き)

ESSID	Extended Service Set Identification (ESSID) は、ご使用のワイヤレス・ネットワークの ID です。この設定は、現在のワイヤレス設定の ESSID を表示しますが、コントロール・パネルからは変更できません。	
	有効値:	32 文字の英数字文字列 (デフォルトは 125)
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	wlan.essid
	ユーザー・メニュー項目:	103 ページの有線 MAC アドレス
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Maximum Length (最大長)
チャンネル	ワイヤレス・ネットワークがアクティブになり、認証されると、使用中のワイヤレス・チャンネルを表示します。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	wlan.channel
	ユーザー・メニュー項目:	105 ページのチャンネル
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Maximum Length (最大長)
信号	ワイヤレス・ネットワークがアクティブになり、認証されると、ワイヤレス信号の強さを表示します。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	wlan.signal_strength
	ユーザー・メニュー項目:	106 ページの信号
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定) > Maximum Length (最大長)
ネットワークのリセット	このオプションで、有線またはワイヤレス・プリント・サーバをリセットします。ネットワーク設定で行った設定内容を反映させるには、プリント・サーバをリセットする必要があります。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	~WR
	使用する SGD コマンド:	device.reset
	ユーザー・メニュー項目:	106 ページのネットワークをリセット
	プリンタの Web ページ:	Print Server Settings (プリント・サーバー設定) > Factory Print Server Settings (プリント・サーバの工場出荷時設定)

RFID 設定

表 4 • RFID 設定

RFID ステータス	プリンタの RFID サブシステムのステータスを表示します。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	^HL または ~HL
	使用する SGD コマンド:	<code>rfid.error.response</code>
	ユーザー・メニュー項目:	108 ページの RFID ステータス
	プリンタの Web ページ:	N/A
RFID データの読み取り	RFID アンテナ上の RFID タグから指定のタグ・データを読み取って返します。タグ・データの読み取り中は、プリンタは動作しません。印字ヘッドの開閉はできません。	
	有効値:	<p><code>epc</code> = EPC データの最初の 128 ビットを読み取ります。</p> <p><code>tid information</code> = TID (タグ ID) の最初の 32 ビットを読み取ります。</p> <p><code>password status</code> = タグのアクセス・パスワードとキル・パスワードを読み取ります。</p> <p><code>protocol bits</code> = EPC メモリ・バンクからプロトコル・ビットを読み取り、その値を EPC サイズに変換します。</p> <p><code>memory bank sizes</code> = EPC、TID、およびユーザー・メモリ・バンクのサイズを読み取ります。</p>
	関連の ZPL コマンド:	^RF
	使用する SGD コマンド:	<code>rfid.tag.read.content</code> および <code>rfid.tag.read.execute</code>
	ユーザー・メニュー項目:	108 ページの RFID データの読み取り
	プリンタの Web ページ:	N/A
RFID テスト	RFID テストでは、プリンタがトランスポンダーに対する読み取りと書き込みを試行します。このテストではプリンタは動作しません。	
	有効値:	<p><code>quick</code> = EPC 読み取りテストと EPC 書き込みテスト (ランダム・データ使用) を実行します。</p> <p><code>read</code> = EPC 読み取りテストを実行します。</p> <p><code>write</code> = EPC 書き込みテスト (ランダム・データ使用) を実行します。</p>
	関連の ZPL コマンド:	N/A
	使用する SGD コマンド:	<code>rfid.tag.test.content</code> および <code>rfid.tag.test.execute</code>
	ユーザー・メニュー項目:	109 ページの RFID テスト
	プリンタの Web ページ:	N/A

表 4・RFID 設定 (続き)


プログラミング位置	RFID タグ・キャリブレーションで希望するプログラミング位置 (読み取り / 書き込み位置) に達しない場合は、値を指定できます。詳細については、『RFID プログラミング・ガイド 3』を参照してください。	
	有効値:	<p>F0 ~ Fxxx (xxx はミリメートル単位でのラベル長さ、999 のいずれか短い方) プリンタは、指定した分だけラベルを前方にフィードしてからプログラミングを開始します。</p> <p>B0 ~ B30 プリンタは、指定した分だけラベルをバックフィードしてからプログラミングを開始します。バックフィードのため、後方のプログラミング位置を使用する場合に、空の用紙ライナーがプリンタの前面から出るようにします。</p>
	関連の ZPL コマンド:	^RS
	使用する SGD コマンド:	rfid.position.program
	ユーザー・メニュー項目:	109 ページの RFID プログラミング位置
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします) > RFID Setup (RFID 設定) > PROGRAM POSITION (プログラム位置)
RFID アンテナ・エレメント	RFID タグ・キャリブレーションで希望するアンテナに達しない場合は、値を指定できません。  注 ・ZD500R プリンタについては、アンテナ・エレメント値 A1 を常時使用するため、このパラメータは適用されません。	
	有効値:	<p>A1, A2, A3, A4 B1, B2, B3, B4 C1, C2, C3, C4 D1, D2, D3, D4 E1, E2, E3, E4</p>
	関連の ZPL コマンド:	^RW
	使用する SGD コマンド:	rfid.reader_1.antenna_port
	ユーザー・メニュー項目:	109 ページの RFID アンテナ
	プリンタの Web ページ:	「View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示 & 変更をします)」> 「RFID Setup (RFID 設定)」> 「RFID ANTENNA (RFID アンテナ)」

表 4 • RFID 設定 (続き)

RFID 読み取りパワー	RFID タグ・キャリブレーションで希望する読み取りパワーに達しない場合は、値を指定できます。	
	有効値:	0 ~ 30
	関連の ZPL コマンド:	^RW
	使用する SGD コマンド:	rfid.reader_1.power.read
	ユーザー・メニュー項目:	109 ページの RFID 読み取りパワー
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > RFID Setup (RFID 設定) > RFID READ PWR (RFID 読み取りパワー)	
RFID 書き込みパワー	RFID タグ・キャリブレーションで希望する書き込みパワーに達しない場合は、値を指定できます。	
	有効値:	0 ~ 30
	関連の ZPL コマンド:	^RW
	使用する SGD コマンド:	rfid.reader_1.power.write
	ユーザー・メニュー項目:	110 ページの RFID 書き込みパワー
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > RFID Setup (RFID 設定) > RFID WRITE PWR (RFID 書き込みパワー)	
RFID 有効カウンタ	RFID 有効ラベル・カウンタをゼロにリセットします。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	~RO
	使用する SGD コマンド:	odometer.rfid.valid_resetable
	ユーザー・メニュー項目:	110 ページの RFID 有効カウント
プリンタの Web ページ:	N/A	
RFID 無効カウンタ	RFID 無効ラベル・カウンタをゼロにリセットします。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	~RO
	使用する SGD コマンド:	odometer.rfid.void_resetable
	ユーザー・メニュー項目:	110 ページの RFID 無効カウント
プリンタの Web ページ:	N/A	
RFID タグ・キャリブレート	RFID 用紙のタグ・キャリブレーションを開始します。(用紙およびリボンのキャリブレーションと同じではありません)。	
	有効値:	N/A
	関連の ZPL コマンド:	^HR
	使用する SGD コマンド:	rfid.tag.calibrate
	ユーザー・メニュー項目:	108 ページの RFID キャリブレート
プリンタの Web ページ:	N/A	

言語設定

表 5・言語設定


<p>言語</p>	<p>必要に応じて、プリンタの表示言語を変更します。 この変更内容は、以下の表記に反映されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホーム・メニュー ユーザー・メニュー エラー・メッセージ プリンタ設定ラベル、ネットワーク設定ラベル、およびユーザー・メニューからの印刷に設定できるその他のラベル <p> 注・このパラメータの選択肢は、各母国語で表示されます。</p>	
	<p>有効値:</p>	<p>英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ノルウェー語、ポルトガル語、スウェーデン語、デンマーク語、スペイン語 2、オランダ語、フィンランド語、チェコ語、日本語、韓国語、ルーマニア語、ロシア語、ポーランド語、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字)</p>
	<p>関連の ZPL コマンド:</p>	<p>^KL</p>
	<p>使用する SGD コマンド:</p>	<p><code>display.language</code></p>
	<p>ユーザー・メニュー項目:</p>	<p>SETTINGS (設定) メニュー 96 ページの言語 LANGUAGE (言語) メニュー 112 ページの言語</p>
	<p>プリンタの Web ページ:</p>	<p>View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > General Setup (基本設定) > Language (言語)</p>
<p>ZPL 無効</p>	<p>次の ZPL コマンドでプリンタの現在の設定が変更されないようにするは、このメニュー項目を有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ^MM (印字モード) ^MT (ダイレクト・サーマル印刷方式または熱転写印刷方式) ^MN (単票用紙タイプまたは連続用紙タイプ) <p>このメニュー項目が無効になっていると、これらのコマンドでプリンタの設定が無効化されます。</p>	
	<p>有効値:</p>	<ul style="list-style-type: none"> 無効 有効
	<p>関連の ZPL コマンド:</p>	<p>なし</p>
	<p>使用する SGD コマンド:</p>	<p><code>zpl.zpl_override</code></p>
	<p>ユーザー・メニュー項目:</p>	<p>112 ページの ZPL 無効</p>
	<p>プリンタの Web ページ:</p>	<p>なし</p>

表 5・言語設定 (続き)




コマンド文字	<p>フォーマット・コマンド・プレフィックスとは、ZPL/ZPL II フォーマット命令内でパラメータのプレース・マーカーとして使用される 2 桁の 16 進値です。プリンタでは、ZPL/ZPL II フォーマット命令の開始を示す、この 16 進文字が検索されます。</p> <p>ラベル・フォーマットで使用されている文字に一致するフォーマット・コマンド文字を設定します。</p> <p> 重要・フォーマット・コマンド・プレフィックス、コントロール文字、デリミタ文字に対して、同じ 16 進値を使用することはできません。プリンタが正しく機能するには、それぞれ別の文字を使用する必要があります。この値をコントロール・パネルから設定する場合、プリンタはすでに使用中の値をすべてスキップします。</p>	
	有効値:	00 ~ FF
	関連の ZPL コマンド:	^CC または ~CC
	使用する SGD コマンド:	zpl.caret
	ユーザー・メニュー項目:	112 ページのコマンド文字
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > ZPL Control (ZPL コントロール)
コントロール文字	<p>プリンタでは、ZPL/ZPL II コントロール命令の開始を示す、2 桁の 16 進文字が検索されます。</p> <p>ラベル・フォーマットで使用されている文字に一致するコントロール・プレフィックス文字を設定してください。</p>	
	有効値:	00 ~ FF
	関連の ZPL コマンド:	^CT または ~CT
	使用する SGD コマンド:	zpl.control_character
	ユーザー・メニュー項目:	112 ページのコントロール文字
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > ZPL Control (ZPL コントロール)
デリミタ文字	<p>デリミタ文字とは、ZPL/ZPL II フォーマット命令内でパラメータのプレース・マーカーとして使用される 2 桁の 16 進値です。</p> <p>ラベル・フォーマットで使用されている文字に一致するデリミタ文字を設定します。</p>	
	有効値:	00 ~ FF
	関連の ZPL コマンド:	^CD または ~CD
	使用する SGD コマンド:	zpl.delimiter
	ユーザー・メニュー項目:	113 ページのデリミタ文字
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > ZPL Control (ZPL コントロール)

表 5・言語設定 (続き)

ZPL モード	ラベル・フォーマットで使用されているモードに一致するモードを選択します。プリンタは ZPL または ZPL II で記述されたラベル・フォーマットを受け入れ、既存の ZPL フォーマットを書き換える必要はありません。プリンタは、ここにリストされている方法のいずれかで変更されるまで、選択されたモードのままです。
有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • ZPL II • ZPL
関連の ZPL コマンド:	^SZ
使用する SGD コマンド:	zpl.zpl_mode
ユーザー・メニュー項目:	113 ページの ZPL モード
プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > ZPL Control (ZPL コントロール)

センサー設定

表 6・センサー設定

センサー・ タイプ	使用する用紙に適切な用紙センサーを選択します。通常、反射式センサーは黒マーク用紙の専用です。透過式センサーは、その他の用紙タイプに使用できます。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> 透過式 反射式
	関連の ZPL コマンド:	^JS
	使用する SGD コマンド:	device.sensor_select
	ユーザー・メニュー項目:	114 ページのセンサー・タイプ
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Media Setup (用紙設定)
ラベル・ センサー	ラベル・センサーの感度を設定します。  重要 ・この値は、センサー・キャリブレーション時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは Zebra 認定技術者からの指示でないかぎり、この設定は変更しないでください。	
	有効値:	0 ~ 255
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	ezpl.label_sensor
	ユーザー・メニュー項目:	114 ページのラベル・センサー
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Calibration (キャリブレーション)
ラベル剥離	ラベル剥離 LED の感度を設定します。  重要 ・この値は、センサー・キャリブレーション時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは Zebra 認定技術者からの指示でないかぎり、この設定は変更しないでください。	
	有効値:	0 ~ 255
	関連の ZPL コマンド:	なし
	使用する SGD コマンド:	ezpl.take_label
	ユーザー・メニュー項目:	115 ページのラベル剥離
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Calibration (キャリブレーション)

ポート設定

表 7・ポート設定

ボー・レート	ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するボー値を選択します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 115200 • 57600 • 38400 • 28800 • 19200 • 14400 • 9600 • 4800
	関連の ZPL コマンド:	^SC
	使用する SGD コマンド:	comm.baud
	ユーザー・メニュー項目:	116 ページのボー・レート
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします)> Serial Communications Setup (シリアル通信設定)
データ・ビット	ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するデータ・ビット値を選択します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • 7 • 8
	関連の ZPL コマンド:	^SC
	使用する SGD コマンド:	comm.data_bits
	ユーザー・メニュー項目:	116 ページのデータ・ビット
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします)> Serial Communications Setup (シリアル通信設定)
パリティ	ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するパリティ値を選択します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • なし • 偶数 • 奇数
	関連の ZPL コマンド:	^SC
	使用する SGD コマンド:	comm.parity
	ユーザー・メニュー項目:	116 ページのパリティ
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします)> Serial Communications Setup (シリアル通信設定)

表 7・ポート設定 (続き)

フロー制御	ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するフロー制御プロトコルを選択します。	
	有効値:	<ul style="list-style-type: none"> • XON/XOFF • RTS/CTS • DSR/DTR
	関連の ZPL コマンド:	^SC
	使用する SGD コマンド:	comm.handshake
	ユーザー・メニュー項目:	116 ページの ホスト・ハンドシェイク
	プリンタの Web ページ:	View and Modify Printer Settings (プリンタの設定の表示&変更をします) > Serial Communications Setup (シリアル通信設定)

Bluetooth 設定

表 8 • BLUETOOTH メニュー

Bluetooth アドレス	プリンタの Bluetooth デバイス・アドレスを表示します。	
	有効値:	N/A
	使用する SGD コマンド:	<code>bluetooth.address</code>
モード	Bluetooth 接続ペア・プリンタのデバイス・タイプ (スレーブ (通常)、またはマスター) を表示します。	
	有効値:	N/A
	使用する SGD コマンド:	N/A
検出	Bluetooth デバイス・ペアリングに関して、プリンタを「検出可能」にするかどうか選択します。	
	有効値:	ON = Bluetooth 検出可能モードを有効にする。 OFF = Bluetooth 検出可能モードを無効にする。
	使用する SGD コマンド:	<code>bluetooth.discoverable</code>
接続	ペアリング先のデバイスに対する Bluetooth 接続ステータスを表示します (はい / いいえ)。	
	有効値:	N/A
	使用する SGD コマンド:	N/A
BT 仕様 バージョン	Bluetooth 運用仕様レベルを表示します。	
	有効値:	N/A
	使用する SGD コマンド:	<code>bluetooth.radio_version</code>
最小セキュ リティ・ モード	プリンタに適用されるセキュリティの Bluetooth 最小レベルを表示します。	
	有効値:	N/A
	使用する SGD コマンド:	N/A

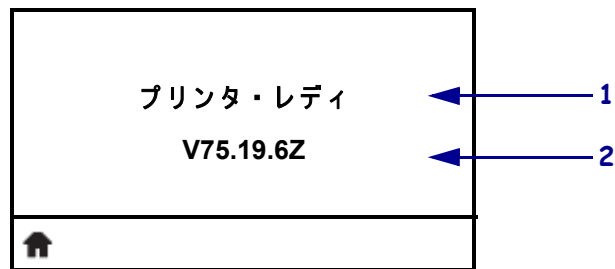
ユーザー・メニュー

ZT230 プリンタのコントロール・パネルにはディスプレイがあります。このディスプレイでは、プリンタのステータスを表示したり、稼働パラメータを変更したりできます。このセクションでは、プリンタのメニュー・システムをナビゲートしてメニュー項目の値を変更する方法を学びます。

ディスプレイ画面のナビゲート

アイドル表示 プリンタで電源投入シーケンスが完了すると、アイドル表示に移ります (図 1)。プリンタの IP アドレスとユーザーによって設定された情報が循環して表示されます。

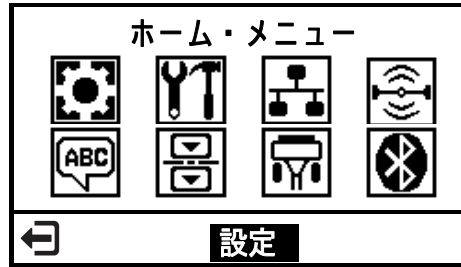
図 1・アイドル表示












1	プリンタの現在の状態
2	72 ページのアイドル表示で設定した情報
🏠	ホーム・メニューのショートカット

ホーム・メニュー プリンタの稼働パラメータは、8 つのユーザー・メニューに分類されます。これらのユーザー・メニューには、プリンタのホーム・メニュー (図 2) からアクセスできます。プリンタ設定の変更の詳細については、66 ページのプリンタ設定の調整を参照してください。

図 2・ホーム・メニュー

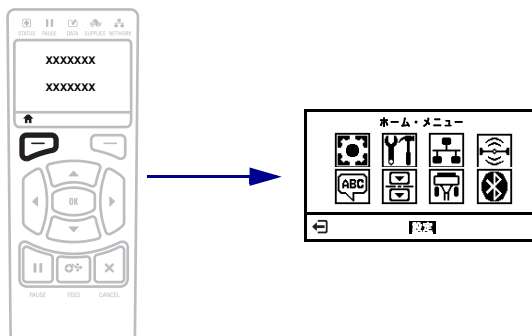


	94 ページの 設定メニュー を参照してください。		102 ページの ネットワーク・メニュー を参照してください。
	112 ページの 言語メニュー を参照してください。		116 ページの ポート・メニュー を参照してください。
	97 ページの ツール・メニュー を参照してください。		RFID — 108 ページの RFID メニュー を参照してください。
	114 ページの センサー・メニュー を参照してください。		118 ページの BLUETOOTH メニュー を参照してください。
			終了してアイドル表示 (図 1) に戻ります。

ナビゲート 表 9 に、コントロール・パネル・ディスプレイの画面からのナビゲートに使用できるオプションを示します。

表 9・ナビゲート

アイドル表示



アイドル表示 (90 ページの図 1) から、プリンタのホーム・メニュー (91 ページの図 2) に進むには、左選択ボタンを押します。

ホーム・メニュー



ホーム・メニューでアイコンからアイコンへ移動するには、**矢印ボタン**のいずれかを押します。

アイコンを選択すると、選択したアイコンの色が反転して強調表示されます。



SETTINGS (設定)
メニュー アイコン



SETTINGS (設定)
メニュー アイコン
(強調表示)



強調表示されたメニュー・アイコンを選択してメニューに入るには、**OK**を押します。



ホーム・メニューを終了してアイドル表示に戻るには、**左選択ボタン**を押します。ホーム・メニューで 15 秒間なにも操作しないと、プリンタは自動的にアイドル表示に戻ります。

表 9・ナビゲート (続き)

ユーザー・メニュー



ホーム・メニューに戻るには、**左選択**ボタンを押します。ユーザー・メニューで15秒間なにも操作しないと、プリンタは自動的にホーム・メニューに戻ります。



▼と▲は、値の変更が可能であることを示します。値の変更を行うと、すべて即座に保存されます。

上方向ボタンまたは下方向ボタンを押して有効値をスクロールします。



ユーザー・メニューの項目をスクロールするには、**左方向**または**右方向**のボタンを押します。



ディスプレイの右下隅に、使用可能な操作が表示されます。

表示された操作を実行するには、**OK** を押すか、**右選択**ボタンを押します。



設定メニュー

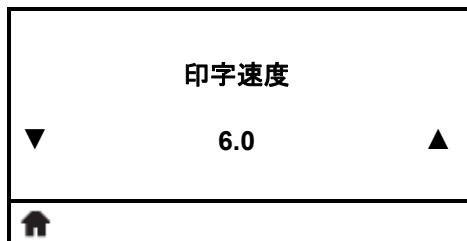
このメニューの項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、[67 ページの印字設定](#)を参照してください。



印字濃度の調整

濃度は、良好な印字品質が得られる最低値に設定してください。濃度の設定が高すぎると、ラベルの印字イメージが不鮮明になったり、バーコードが正しく読み取れなくなったり、リボンが焼け付いてしまったり、印字ヘッドの磨耗を早めてしまう場合があります。

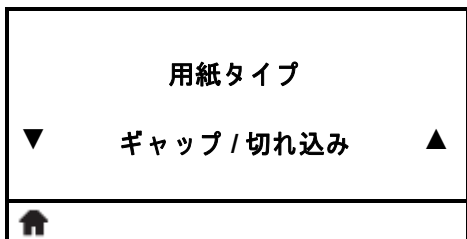
詳細については、[67 ページの印字濃度](#)を参照してください。



印字速度の選択

ラベル印刷の速度を選択します(1秒あたりのインチ数)。通常、印字速度を遅くすると、印字品質は向上します。

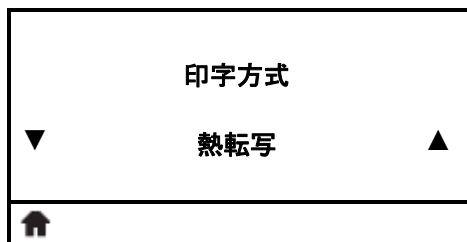
詳細については、[67 ページの印字速度](#)を参照してください。



用紙タイプの設定

使用する用紙のタイプを選択します。

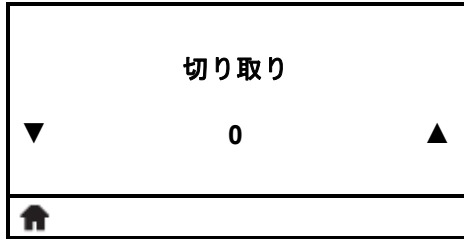
詳細については、[67 ページの用紙タイプ](#)を参照してください。



印字方式の選択

プリンタがダイレクト・サーマル・モード(リボン不要)または熱転写モード(熱転写用紙とリボンを使用)に設定されている場合に指定します。

詳細については、[68 ページの印字方式](#)を参照してください。



切り取り位置の調整

必要に応じて、印刷後に切り取りバーの上にくる用紙の位置を調整します。

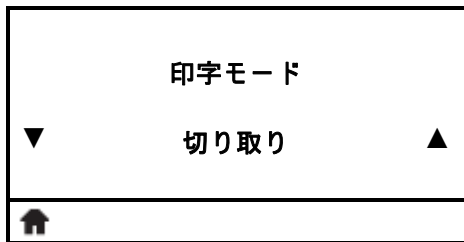
詳細については、[68 ページの切り取り位置](#)を参照してください。



印字幅の調整

使用するラベルの幅を指定します。デフォルト値は、印字ヘッドの DPI 値に基づき、プリンタの最大幅です。

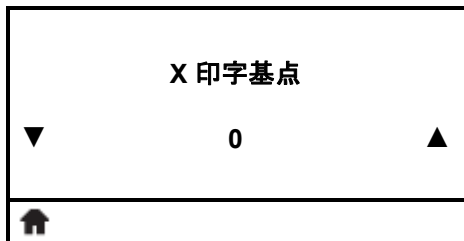
詳細については、[69 ページの印字幅](#)を参照してください。



印字モードの選択

プリンタ・オプションに適した印字モードを選択してください。

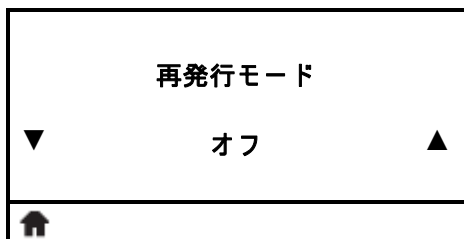
詳細については、[69 ページの印字モード](#)を参照してください。



調整、ラベルの X 印字基点

必要に応じて、ラベルの横方向の印字位置をシフトします。正の値を設定すると、選択したドット数ごとに、イメージの左端がラベルの中央方向に移動し、負の数を設定すると、イメージの左端がラベルの左端に移動します。

詳細については、[69 ページのラベルの X 印字基点の調整](#)を参照してください。



再発行モードの設定

再発行モードが有効の場合、特定コマンドを発行するか、コントロール・パネルの左方向ボタンを押して、最後に印刷されたラベルを再発行できます。

詳細については、[70 ページの再発行モード](#)を参照してください。



最大ラベル長の設定

最大ラベル長は、実際のラベルの長さでラベル間のギャップの長さを合わせたより少なくとも 25.4 mm (1.0 インチ) 長い値に設定してください。ラベル長より小さい値を設定すると、プリンタは連続用紙がセットされているとみなし、プリンタはキャリブレーションできなくなります。

詳細については、70 ページの **最大ラベル長** を参照してください。

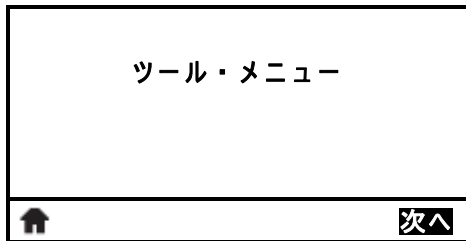


表示言語の選択

必要に応じて、プリンタの表示言語を変更します。詳細については、83 ページの **言語** を参照してください。

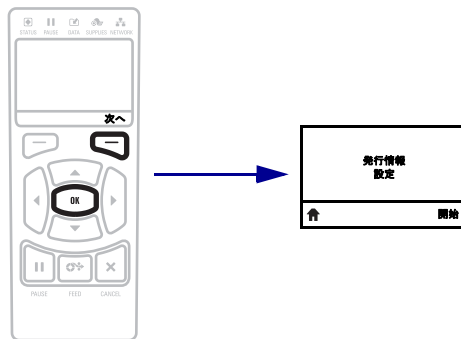


注 このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語を見つけやすくなっています。

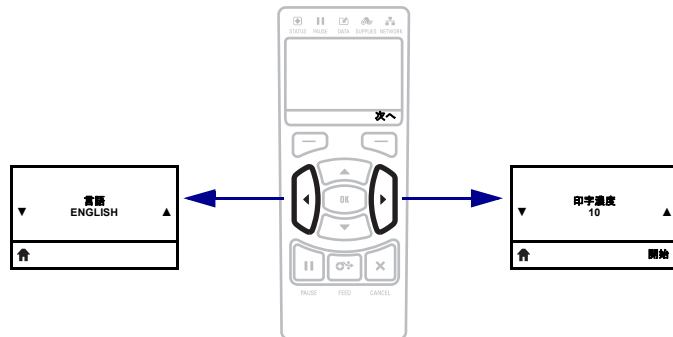


ツール・メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



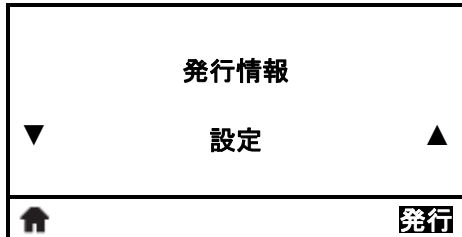
- 同じユーザー・メニューをナビゲートするには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。





ツール・メニュー

このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、71 ページの表 2、[キャリブレーション・ツール](#)と[診断ツール](#)を参照してください。



発行情報のリスト *

プリンタ設定ラベルが印刷されます。

詳細については、71 ページの [発行情報](#) を参照してください。

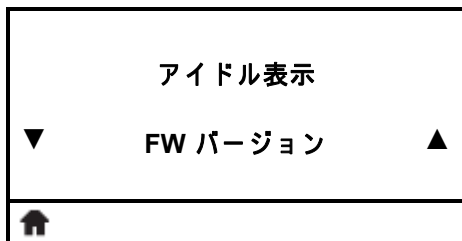
* スクロールして他のオプションも使用できます。



ディスプレイのコントラストの設定

プリンタ・ディスプレイのコントラストを変更します。

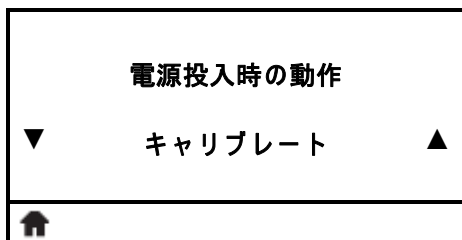
詳細については、72 ページの [LCD コントラスト](#) を参照してください。



アイドル表示の選択

プリンタのアイドル時にプリンタ・ディスプレイに表示される情報を選択します。

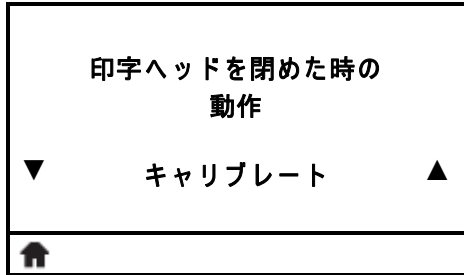
詳細については、72 ページの [アイドル表示](#) を参照してください。



電源投入時の動作の設定

電源投入シーケンス時に行うプリンタの動作を設定します。

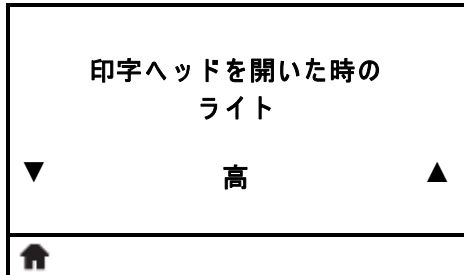
詳細については、72 ページの [電源投入時の動作](#) を参照してください。



印字ヘッドを閉めた時の動作の設定

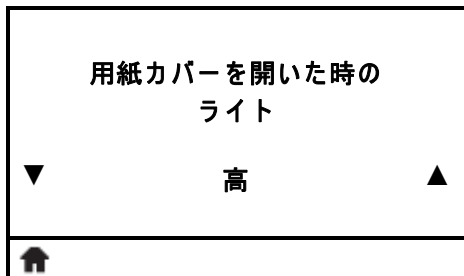
印字ヘッドを閉めたときのプリンタの動作を設定します。

詳細については、[73 ページのヘッドを閉めたときの動作](#)を参照してください。



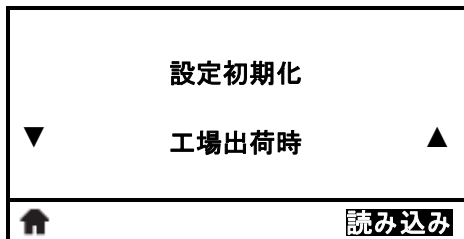
印字ヘッドを開いた時のライトの設定

印字ヘッドを開いたときにオンになるライトの明るさを設定します。



用紙カバーを開いた時のライトの設定

用紙アクセスドアを開いたときにオンになるライトの明るさを設定します。

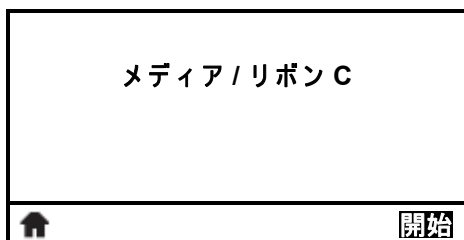


プリンタのデフォルトの読み込み*

ネットワーク設定以外のすべての設定を工場出荷時のデフォルト値に戻すには、このメニュー項目を使用します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要がありますので、注意してください。

詳細については、[74 ページの設定初期化](#)を参照してください。

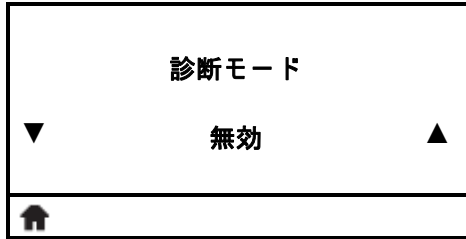
* スクロールして他のオプションも使用できます。



用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレーション

このメニュー項目を使用して、用紙センサーとリボン・センサーの感度を調整します。

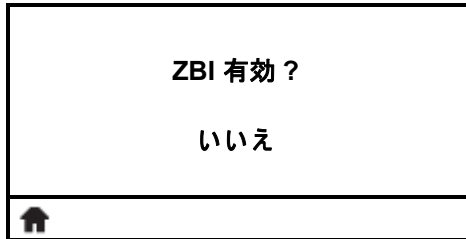
詳細については、[75 ページの用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレーション](#)を参照してください。キャリブレーション手順を実行する方法の詳細については、[120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレーション](#)を参照してください。



通信診断モードの有効化

プリンタが受信するすべてのデータの16進値をプリンタで出力するには、この診断ツールを使用します。

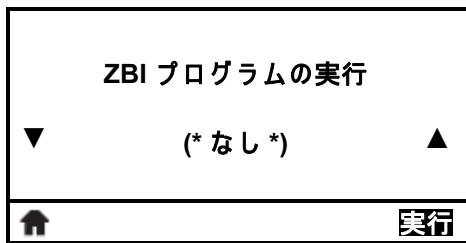
詳細については、75 ページの通信診断モードを参照してください。



ZBI 有効?

このメニュー項目は、ご使用のプリンタで Zebra Basic Interpreter (ZBI 2.0™) オプションが有効であるかどうかを示します。このオプションをご購入される方は、詳細について最寄の Zebra 販売代理店にお問い合わせください。

詳細については、76 ページの ZBI の有効化を参照してください。



ZBI プログラムの実行*

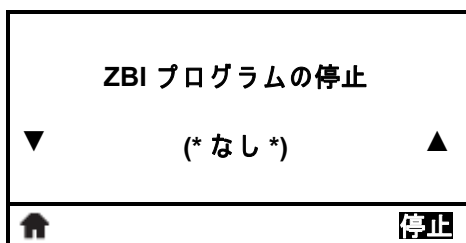
ご使用のプリンタに ZBI プログラムが存在する場合は、それらのプログラムがリストされます。プログラムが存在しない場合は、「なし」が表示されます。

プリンタにダウンロードした ZBI プログラムを実行する場合は、以下の手順に従います。

1. 上方向または下方向のボタンを押して、このメニューからファイルを選択します。
2. 右選択ボタンを押して実行を選択します。プログラムが存在しない場合、実行オプションを押してもなにも実行されません。

詳細については、76 ページの ZBI プログラムの実行を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタで ZBI が有効になっていて、かつ ZBI プログラムが実行されていない場合にのみ表示されます。

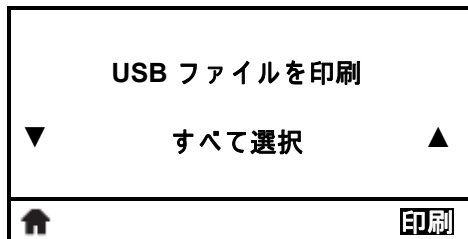


ZBI プログラムの停止*

ZBI プログラムが実行されている場合、プリンタは、その ZBI プログラムをリストします。プログラムを停止する場合は、右選択ボタンを押して、「停止」を選択します。

詳細については、76 ページの ZBI プログラムの停止を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタで ZBI が有効になっていて、かつ ZBI プログラムが実行されている場合にのみ表示されます。



USB フラッシュ・ドライブからのファイルの印刷*

このメニュー項目では、USB フラッシュ・ドライブから印刷するファイルを選択します。

1. 上方向または下方向のボタンを使用して、このメニューから1つのファイルまたはすべてのファイルを選択します。
2. 右選択ボタンを押して印刷を選択します。

* このメニュー項目は、プリンタの USB ホストポートに USB フラッシュ・ドライブが差し込まれている場合にのみ表示されます。

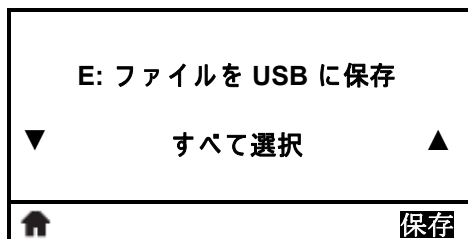


USB フラッシュ・ドライブからプリンタへのファイルの保存*

このメニュー項目では、ファイルを USB フラッシュ・ドライブからプリンタにコピーします。

1. 上方向または下方向のボタンを使用して、このメニューから1つのファイルまたはすべてのファイルを選択します。
2. 右選択ボタンを押してコピーを選択します。

* このメニュー項目は、プリンタの USB ホストポートに USB フラッシュ・ドライブが差し込まれている場合にのみ表示されます。

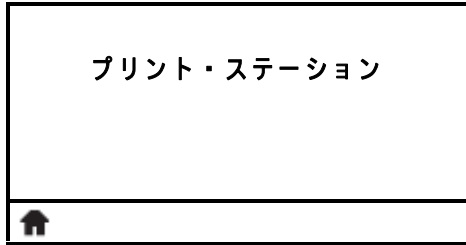


プリンタから USB フラッシュ・ドライブへのファイルの保存*

このメニュー項目では、ファイルをプリンタから USB フラッシュ・ドライブに保存します。

1. 上方向または下方向のボタンを使用して、このメニューから1つのファイルまたはすべてのファイルを選択します。
2. 右選択ボタンを押して「保存」を選択します。

* このメニュー項目は、プリンタの USB ホストポートに USB フラッシュ・ドライブが差し込まれている場合にのみ表示されます。

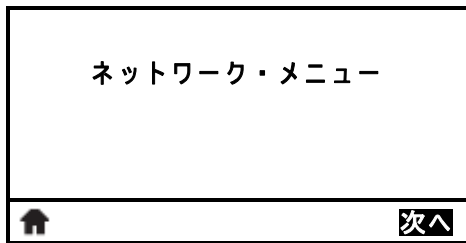


ディスプレイからのフォームへの入力とラベル・フォーマットの印刷

このメニュー項目では、USB キーボードやスキャナなど、データ入力装置 (HID) を使用して、ラベル・フォーマットで変数フィールドに入力し、ラベルを印刷します。このオプションを使用するには、プリンタの E: ドライブに適切なラベル・フォーマットを保存する必要があります。

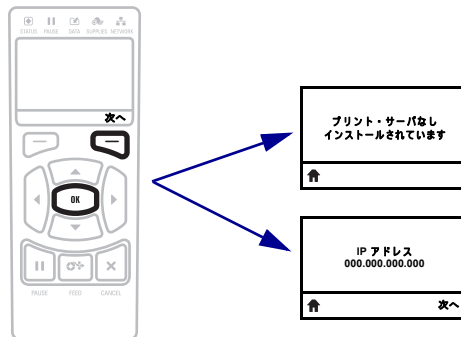
プリンタの USB ホスト・ポートに HID が接続されていることを認識すると、プリンタはこのユーザー・メニューを使用してプリンタの E: ドライブにあるフォームの選択を求めるプロンプトを表示します。フォームにある各変数 **^FN** フィールドの入力を求めるプロンプトが表示されたら、印刷する希望のラベル枚数を指定できます。

^FN コマンドの使用の詳細については、『Zebra プログラミング・ガイド』を参照してください。マニュアルのコピーは、<http://www.zebra.com/manuals/> からダウンロードできます。

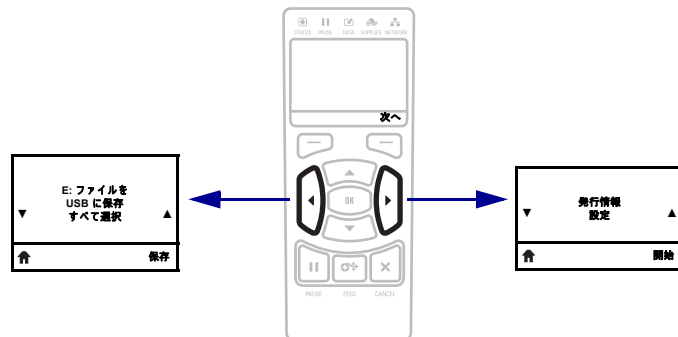


ネットワーク・メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



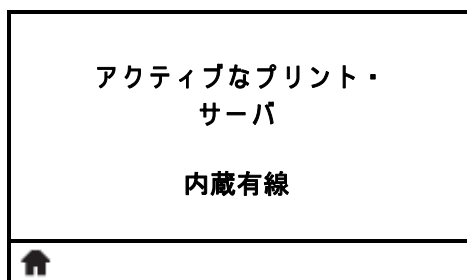
- 同じユーザー・メニューのナビゲートを続けるには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。





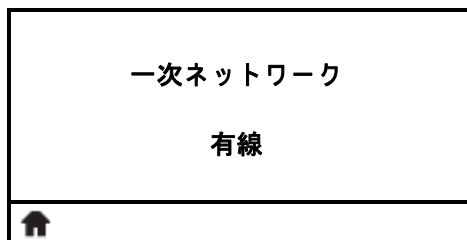
ネットワーク・メニュー

このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、77 ページの表 3、[ネットワーク設定](#)を参照してください。プリント・サーバーの詳細とその機能のしくみについては、『*Wired and Wireless Print Server User Guide*』を参照してください。このマニュアルのコピーは、<http://www.zebra.com/manuals> から入手できます。



アクティブなプリント・サーバの表示

プリント・サーバ(有線またはワイヤレス)は一度に1つしかインストールできません。したがって、インストールされているプリント・サーバがアクティブなプリント・サーバです。



アクティブなプリント・サーバの表示

プリント・サーバ(有線またはワイヤレス)は一度に1つしかインストールできません。したがって、インストールされているプリント・サーバがアクティブなプリント・サーバです。



プリンタの IP アドレスの設定

プリンタの IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。変更内容は、[有線 IP プロトコル \(103 ページ\)](#) が確定に設定されている場合にのみ保存されます。保存された変更内容が反映されるようにするには、[ネットワークをリセット \(106 ページ\)](#) を使用してプリント・サーバをリセットします。

詳細については、77 ページの [IP アドレス](#) を参照してください。



サブネット・マスクの設定

サブネット・マスクを表示し、必要に応じて変更します。変更内容は、[有線 IP プロトコル \(103 ページ\)](#) が確定に設定されている場合にのみ保存されます。保存された変更内容が反映されるようにするには、[ネットワークをリセット \(106 ページ\)](#) を使用してプリント・サーバをリセットします。

詳細については、77 ページの [サブネット・マスク](#) を参照してください。



デフォルト・ゲートウェイの設定

デフォルト・ゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。

変更内容は、[有線 IP プロトコル \(103 ページ\)](#) が確定に設定されている場合にのみ保存されます。保存された変更内容が反映されるようにするには、[ネットワークをリセット \(106 ページ\)](#) を使用してプリント・サーバをリセットします。

詳細については、[78 ページのゲートウェイ](#)を参照してください。



IP レゾリューション方法の設定

このパラメータは、ユーザー (確定) またはサーバ (ダイナミック) のどちらで IP アドレスを選択できるかを示します。ダイナミック・オプションを選択した場合、このパラメータは、プリント・サーバ (有線またはワイヤレス) がサーバから IP アドレスを受信する方法を指定します。

詳細については、[78 ページの IP プロトコル](#)を参照してください。



MAC アドレスの表示

プリンタ (有線または無線) にインストールされているプリント・サーバの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。

詳細については、[78 ページの MAC アドレス](#)を参照してください。



一次 TCP/IP ポートの表示

イーサネット TCP ポート番号を表示します。この番号でラベルとコマンドを送信して、処理することができます。

* このメニュー項目 (コントロール・パネルからは変更できません) は、ご使用のプリンタに有線またはワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。



代替 TCP/IP ポートの表示

代替のイーサネット TCP ポート番号を表示します。この番号でラベルとコマンドを送信して、処理することができます。

* このメニュー項目 (コントロール・パネルからは変更できません) は、ご使用のプリンタに有線またはワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

WLAN IP アドレス	
▼	000.000.000.000 ▲
🏠	次へ

プリンタの IP アドレスの設定 *

プリンタの IP アドレスを表示し、必要に応じて変更します。

変更内容は、[有線 IP プロトコル \(103 ページ\)](#) が確定に設定されている場合にのみ保存されます。保存された変更内容が反映されるようにするには、[ネットワークをリセット \(106 ページ\)](#) を使用してプリント・サーバをリセットします。

詳細については、[77 ページの IP アドレス](#)を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

WLAN サブネット・マスク	
▼	000.000.000.000 ▲
🏠	次へ

サブネット・マスクの設定 *

サブネット・マスクを表示し、必要に応じて変更します。

変更内容は、[有線 IP プロトコル \(103 ページ\)](#) が確定に設定されている場合にのみ保存されます。保存された変更内容が反映されるようにするには、[ネットワークをリセット \(106 ページ\)](#) を使用してプリント・サーバをリセットします。

詳細については、[77 ページのサブネット・マスク](#)を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

WLAN ゲートウェイ	
▼	000.000.000.000 ▲
🏠	次へ

デフォルト・ゲートウェイの設定 *

デフォルト・ゲートウェイを表示し、必要に応じて変更します。

変更内容は、[有線 IP プロトコル \(103 ページ\)](#) が確定に設定されている場合にのみ保存されます。保存された変更内容が反映されるようにするには、[ネットワークをリセット \(106 ページ\)](#) を使用してプリント・サーバをリセットします。

詳細については、[78 ページのゲートウェイ](#)を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

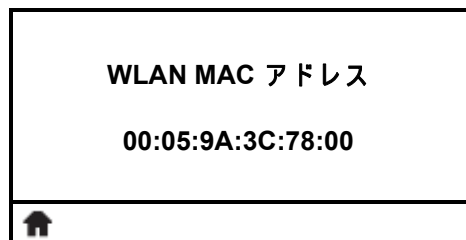


IP レゾリューション方法の設定 *

このパラメータは、ユーザー（確定）またはサーバ（ダイナミック）のどちらかで IP アドレスを選択できるかを示します。ダイナミック・オプションを選択した場合、このパラメータは、プリント・サーバ（有線またはワイヤレス）がサーバから IP アドレスを受信する方法を指定します。

詳細については、78 ページの [IP プロトコル](#) を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

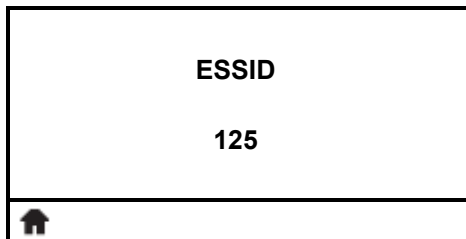


MAC アドレスの表示 *

プリンタ（有線または無線）にインストールされているプリント・サーバの Media Access Control (MAC) アドレスを表示します。

詳細については、78 ページの [MAC アドレス](#) を参照してください。

* このメニュー項目（コントロール・パネルからは変更できません）は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

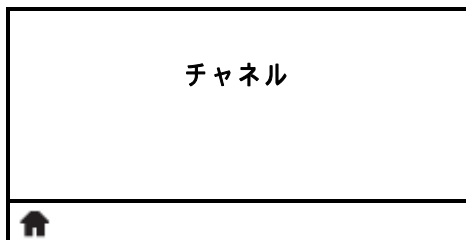


ESSID 値の表示 *

Extended Service Set Identification (ESSID) は、ご使用のワイヤレス・ネットワークの ID です。この設定は、現在のワイヤレス設定の ESSID を表示しますが、コントロール・パネルからは変更できません。

詳細については、79 ページの [ESSID](#) を参照してください。

* このメニュー項目（コントロール・パネルからは変更できません）は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。



チャンネル値の表示 *

ワイヤレス・ネットワークがアクティブになり、認証されると、使用中のワイヤレス・チャンネルを表示します。値が表示されない場合は、ワイヤレス接続がありません。

詳細については、79 ページの [チャンネル](#) を参照してください。

* このメニュー項目（コントロール・パネルからは変更できません）は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

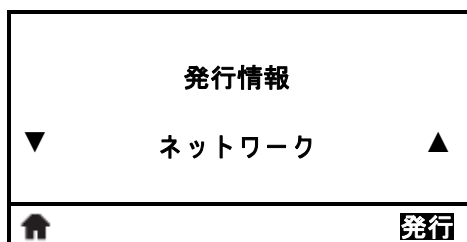


信号値の表示*

ワイヤレス・ネットワークがアクティブになり、認証されると、ワイヤレス信号の強さを表示します。値が 0 の場合は、ワイヤレス接続がありません。

詳細については、79 ページの [信号](#) を参照してください。

* このメニュー項目(コントロール・パネルからは変更できません)は、ご使用のプリンタにワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。

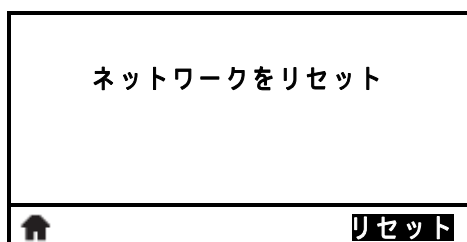


ネットワーク設定の印刷*

このオプションでは、インストールされているプリント・サーバの設定をリストしたネットワーク設定ラベルを印刷します。

詳細については、71 ページの [発行情報](#) を参照してください。

* スクロールして他のオプションも使用できます。

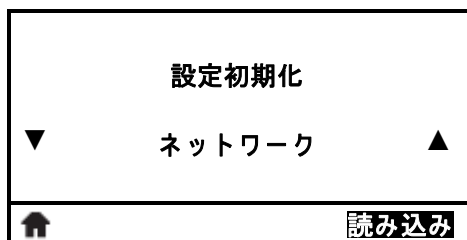


ネットワーク設定のリセット*

このオプションで、有線またはワイヤレス・プリント・サーバをリセットします。ネットワーク設定で行った設定内容を反映させるには、プリント・サーバをリセットする必要があります。

詳細については、79 ページの [ネットワークのリセット](#) を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタに有線またはワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。



ネットワーク・デフォルトの読み込み*

すべてのプリント・サーバ設定とネットワーク設定を工場出荷時のデフォルト値に戻すには、このメニュー項目を使用します。デフォルト設定を読み込む場合は、手動で変更したすべての設定を再読み込みする必要があるため、注意してください。

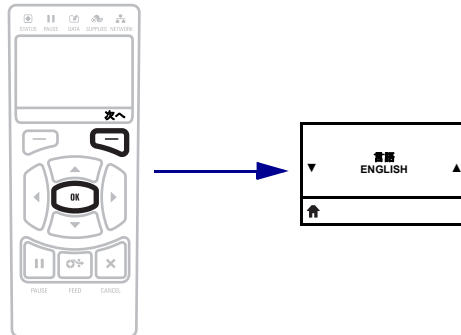
詳細については、74 ページの [設定初期化](#) を参照してください。

* このメニュー項目は、ご使用のプリンタに有線またはワイヤレス・プリント・サーバがインストールされている環境に限り表示されます。スクロールして他のオプションも使用できます。

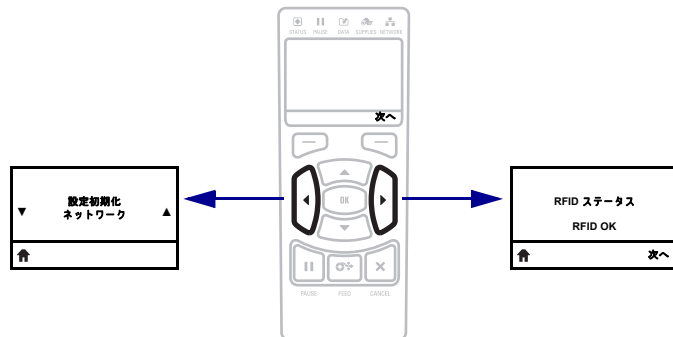


RFID メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



- 同じユーザー・メニューをナビゲートするには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。



RFID メニュー

このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、[80 ページの表 4、RFID 設定](#)を参照してください。



RFID 国コードの選択

RFID 国コードの選択 (該当する場合)



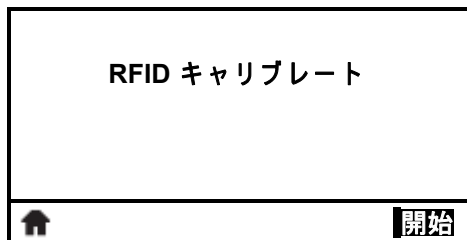
注・一部のプリンタでは、プリンタの出荷先の国または地域によって、プリンタの初回電源投入時に国コードの入力を求めるプロンプトが表示されます。該当する国を指定して、プリンタの RFID 機能にアクセスします。



RFID ステータスの表示

このパラメータは、プリンタの RFID サブシステムのステータスを表示します。エラーになると、エラー・メッセージが表示されます。

詳細については、[80 ページの RFID ステータス](#)を参照してください。



RFID タグ・キャリブレーションの実行

RFID 用紙のタグ・キャリブレーションを開始します。

詳細については、[82 ページの RFID タグ・キャリブレーション](#)を参照してください。



RFID タグ・データの読み取りおよび表示

このオプションが選択されている場合、リーダーは、印字ヘッドが開いている場合でも、RFID タグから指定された情報を読み取ろうとします。タグ・データの読み取り中は、プリンタは動作しません。

RFID タグに保存されている情報を読み取って表示する場合は、以下の手順に従います。

1. トランスポンダーが RFID アンテナ上に重なるように、RFID ラベルを配置します。
2. 上方向または下方向のボタンを使用して、読み取って表示する情報のタイプを選択します。
3. 右選択ボタンを押して読み取りを選択します。テストの結果がディスプレイに表示されます。

詳細については、[80 ページの RFID データの読み取り](#)を参照してください。



RFID テストの実行

RFID テストでは、プリンタがトランスポンダーに対する読み取りと書き込みを試行します。このテストではプリンタは動作しません。

RFID ラベルをテストする場合は、以下の手順を実行してください。

1. トランスポンダーが RFID アンテナ配列に重なるように、RFID ラベルを配置します。
2. 右選択ボタンを押して「開始」を選択します。テストの結果がディスプレイに表示されます。

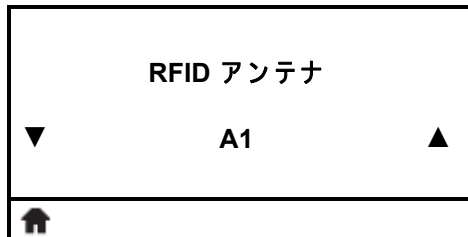
詳細については、[80 ページの RFID テスト](#)を参照してください。



RFID プログラミング位置の表示または変更

このメニュー項目は、現在のプログラミング位置を表示します。RFID タグ・キャリブレーションで希望するプログラミング位置に達しない場合は、値を指定できます。

詳細については、[81 ページのプログラミング位置](#)を参照してください。



RFID アンテナ・エレメントの表示または変更

このメニュー項目では、使用中の RFID アンテナ・エレメントが表示されます。RFID タグ・キャリブレーションで希望するアンテナ・エレメントが選択されていない場合は、値を指定できます。

詳細については、[81 ページの RFID アンテナ・エレメント](#)を参照してください。



RFID 読み取りパワーの表示または変更

このメニュー項目は、現在の読み取りパワーの設定を表示します。RFID タグ・キャリブレーションで希望する読み取りパワーに達しない場合は、値を指定できます。

詳細については、[82 ページの RFID 読み取りパワー](#)を参照してください。



RFID 書き込みパワーの表示または変更

このメニュー項目は、現在の書き込みパワーの設定を表示します。RFID タグ・キャリブレーションで希望する書き込みパワーに達しない場合は、値を指定できます。

詳細については、[82 ページの RFID 書き込みパワー](#)を参照してください。



RFID 有効カウンタの表示またはリセット

RFID 有効ラベルのカウンタを表示するか、カウンタをゼロにリセットします。

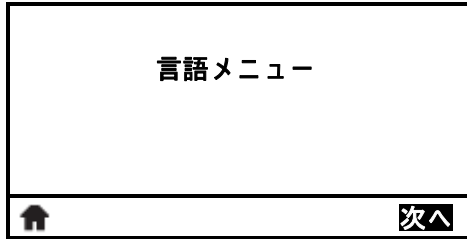
詳細については、[82 ページの RFID 有効 カウンタ](#)を参照してください。



RFID 無効カウンタの表示またはリセット

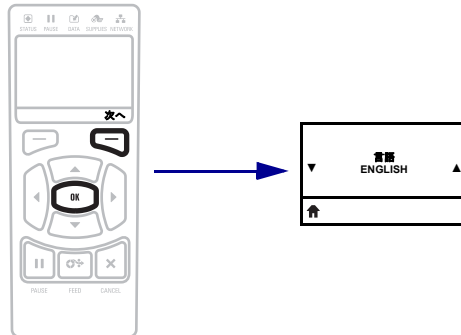
RFID 無効ラベルのカウンタを表示するか、カウンタをゼロにリセットします。

詳細については、[82 ページの RFID 無効 カウンタ](#)を参照してください。

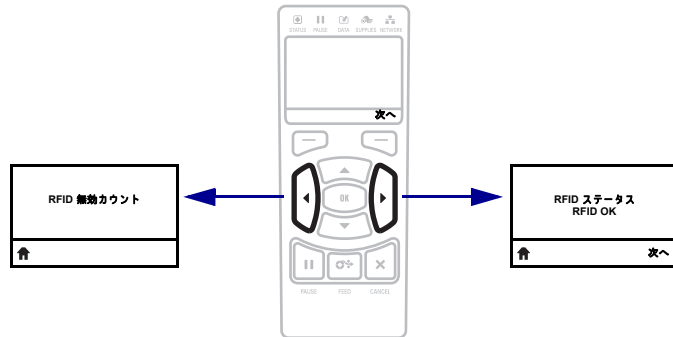


言語メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



- 同じユーザー・メニューのナビゲートを続けるには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。



言語メニュー

このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、[83 ページの表 5、言語設定](#)を参照してください。



表示言語の選択

必要に応じて、プリンタの表示言語を変更します。

詳細については、[83 ページの言語](#)を参照してください。



注・このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語が見つげやすくなっています。



ZPL 無効の有効化

特定の ZPL コマンドでプリンタの現在の設定を無効化できるようにするには、このメニュー項目を有効にします。

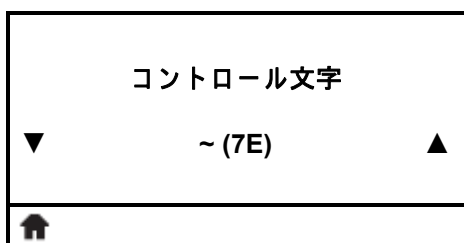
詳細については、[83 ページの ZPL 無効](#)を参照してください。



コマンド文字値の設定

ラベル・フォーマットで使用されている文字に一致するフォーマット・コマンド文字を設定します。

詳細については、[84 ページのコマンド文字](#)を参照してください。



コントロール文字値の設定

ラベル・フォーマットで使用されている文字に一致するコントロール・プレフィックス文字を設定してください。

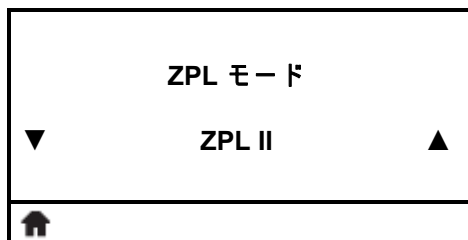
詳細については、[84 ページのコントロール文字](#)を参照してください。



デリミタ文字値の設定

ラベル・フォーマットで使用されている文字に一致するデリミタ文字を設定します。

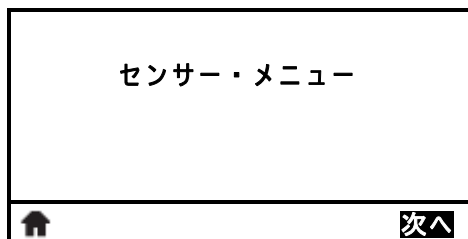
詳細については、[84 ページのデリミタ文字](#)を参照してください。



ZPL モードの設定

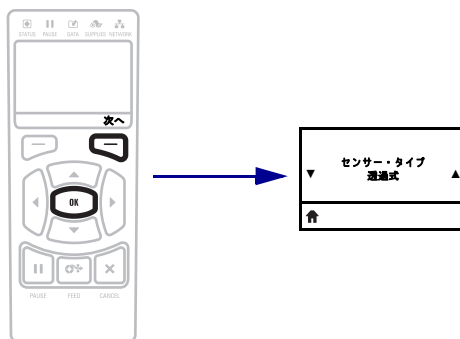
ラベル・フォーマットで使用されているモードに一致するモードを選択します。

詳細については、[85 ページの ZPL モード](#)を参照してください。

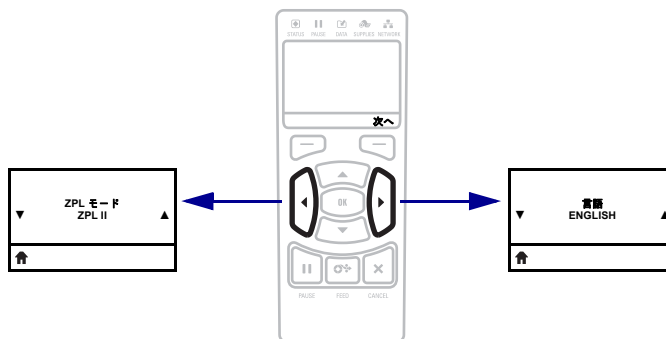


センサー・メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。

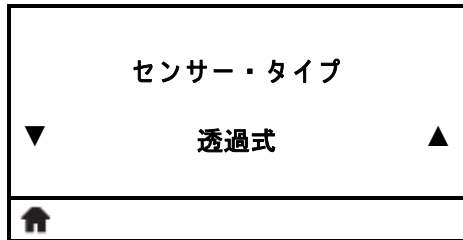


- 同じユーザー・メニューのナビゲートを続けるには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。



センサー・メニュー

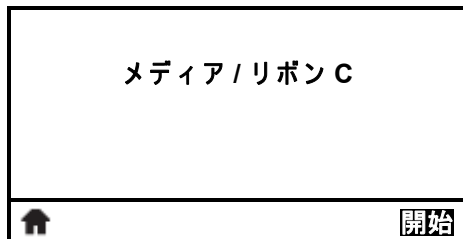
このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、[86 ページの表 6、センサー設定](#)を参照してください。



用紙センサーの選択

使用する用紙に適切な用紙センサーを選択します。通常、反射式センサーは黒マーク用紙の専用です。透過式センサーは、その他の用紙タイプに使用できます。

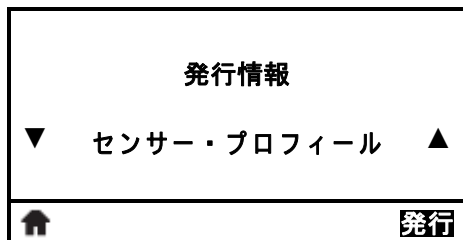
詳細については、[86 ページのセンサー・タイプ](#)を参照してください。



用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレーション

このメニュー項目を使用して、用紙センサーとリボン・センサーの感度を調整します。

キャリブレーション手順を実行する方法の詳細については、[120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレーション](#)を参照してください。

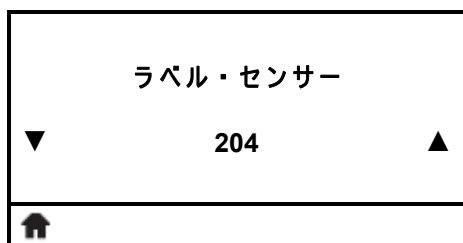


センサー・プロフィールの印刷*

このメニュー項目を使用してセンサー・プロフィールを印刷します。

詳細については、[71 ページの発行情報](#)または [172 ページのセンサー・プロフィール](#)を参照してください。

* スクロールして他のオプションも使用できます。



ラベル・センサーの感度の設定



重要・この値は、センサー・キャリブレーション時に設定します。Zebra 技術サポートまたは Zebra 認定技術者からの指示でないかぎり、この設定は変更しないでください。

詳細については、[86 ページのラベル・センサー](#)を参照してください。

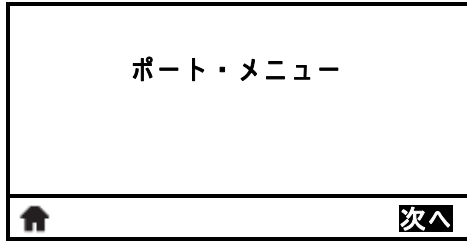


ラベル剥離 LED の感度の設定



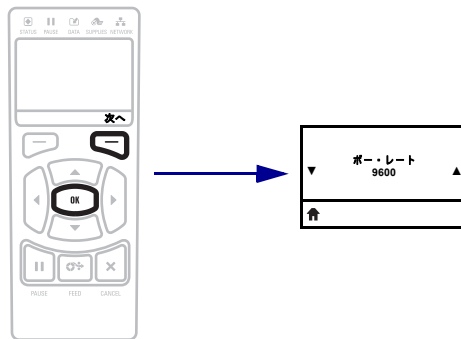
重要・この値は、センサー・キャリブレート時に設定されます。Zebra 技術サポートまたは Zebra 認定の保守技術者からの指示でないかぎり、この設定は変更しないでください。

詳細については、86 ページの **ラベル剥離** を参照してください。

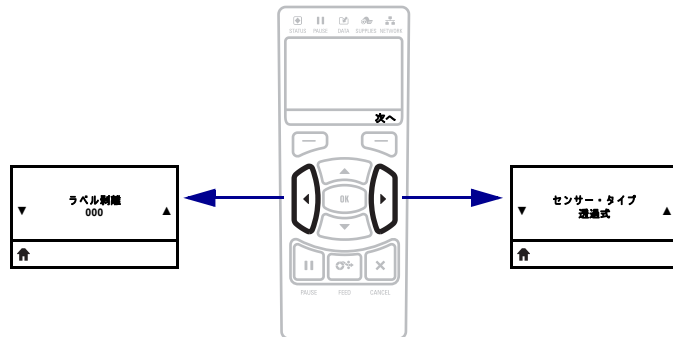


ポート・メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



- 同じユーザー・メニューのナビゲートを続けるには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。





ポート・メニュー

このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、[87 ページの表 7、ポート設定](#)を参照してください。

ポー・レート		
▼	9600	▲
🏠		

ポー・レートの設定

ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するポー値を選択します。

詳細については、[87 ページのポー・レート](#)を参照してください。

データ・ビット		
▼	8	▲
🏠		

データ・ビット値の設定

ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するデータ・ビット値を選択します。

詳細については、[87 ページのデータ・ビット](#)を参照してください。

パリティ		
▼	なし	▲
🏠		

パリティ値の設定

ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するパリティ値を選択します。

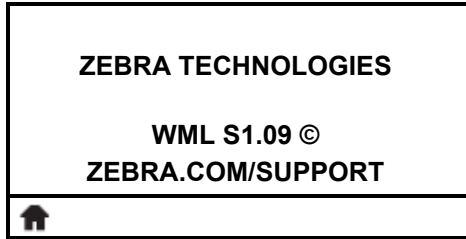
詳細については、[87 ページのパリティ](#)を参照してください。

ホスト・ハンドシェイク		
▼	XON/XOFF	▲
🏠		

ホスト・ハンドシェイク・プロトコル値の設定

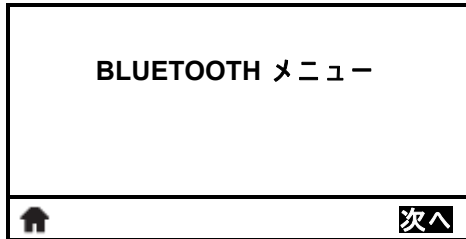
ホスト・コンピュータで使用されている値に一致するフロー制御プロトコルを選択します。

詳細については、[88 ページのフロー制御](#)を参照してください。



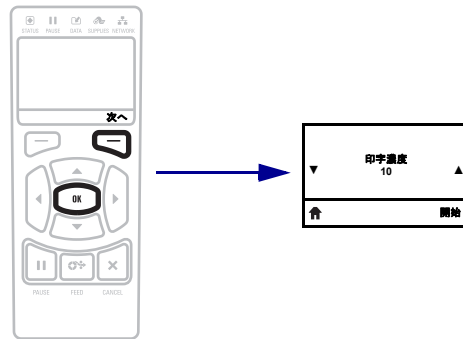
Wireless Markup Language (WML) バージョンの表示

この値は変更できません。

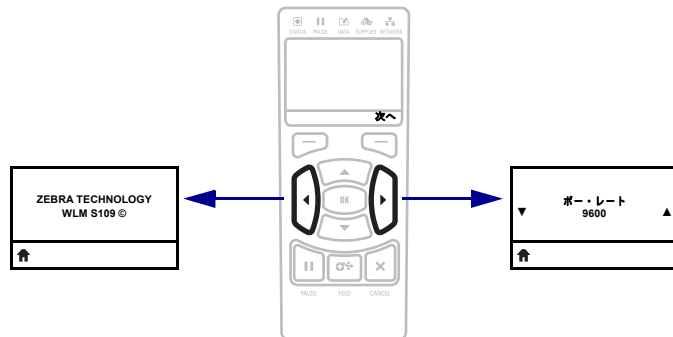


Bluetooth メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



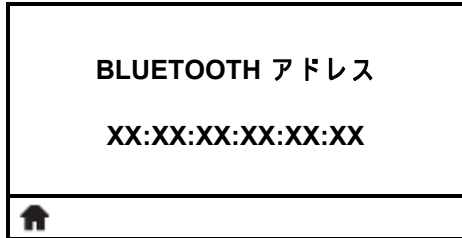
- 同じユーザー・メニューのナビゲートを続けるには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。





BLUETOOTH メニュー

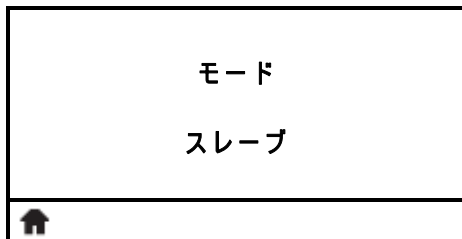
このメニューの各項目を、右方向ボタンを押して表示される順に示します。これらの設定の詳細については、[89 ページの Bluetooth 設定](#)を参照してください。



BlueTooth アドレスの表示

プリンタの Bluetooth デバイス・アドレスを表示します。

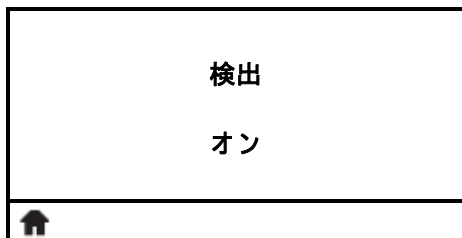
詳細については、[78 ページの MAC アドレス](#)を参照してください。



プリンタの BlueTooth モードの表示

Bluetooth 接続ペア・プリンタのデバイス・タイプ (スレーブ (通常)、またはマスター) を表示します。

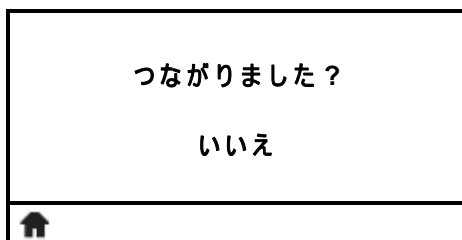
詳細については、[87 ページの ボー・レート](#)を参照してください。



プリンタの BlueTooth モードの表示

Bluetooth デバイス・ペアリングに関して、プリンタを「検出可能」にするかどうか選択します。

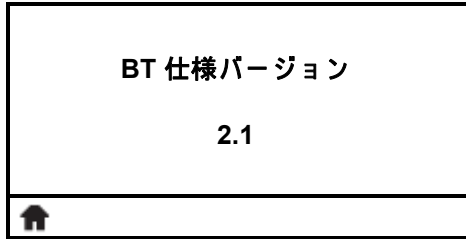
詳細については、[87 ページの ボー・レート](#)を参照してください。



プリンタの BlueTooth モードの表示

ペアリング先のデバイスに対する Bluetooth 接続ステータスを表示します (はい/いいえ)。

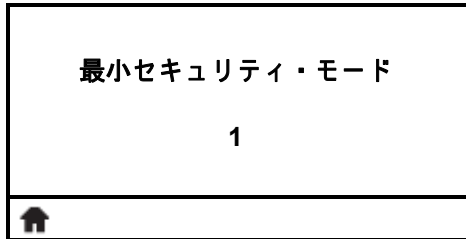
詳細については、[87 ページの ボー・レート](#)を参照してください。



プリンタの **BlueTooth** モードの表示

Bluetooth 運用仕様レベルを表示します。

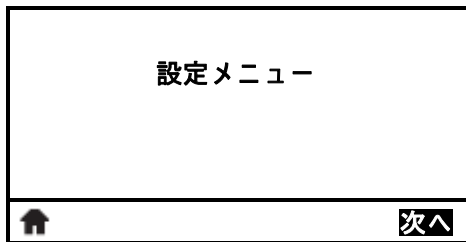
詳細については、87 ページの **ポー・レート** を参照してください。



プリンタの **BlueTooth** モードの表示

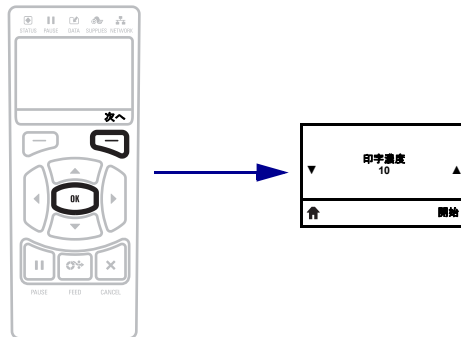
プリンタに適用されるセキュリティの Bluetooth 最小レベルを表示します。

詳細については、87 ページの **ポー・レート** を参照してください。

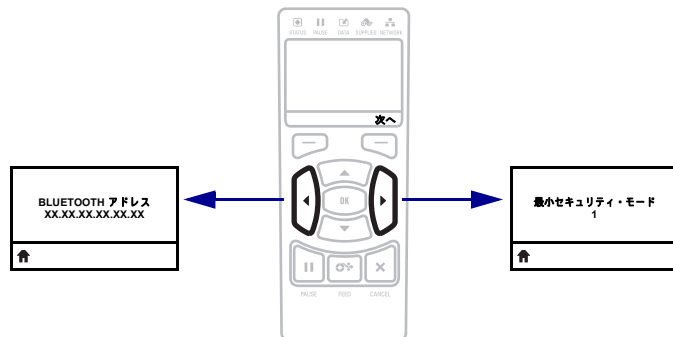


設定メニューのショートカット

- 次のユーザー・メニューに移動するには、OK を押すか、右選択ボタンを押して「次へ」を選択します。



- 同じユーザー・メニューのナビゲートを続けるには、左方向ボタンまたは右方向ボタンを押します。



リボンと用紙センサーのキャリブレーション

このセクションで説明する手順に従って、プリンタのキャリブレーションを行い、用紙センサーやリボンのセンサーの感度を調整します。

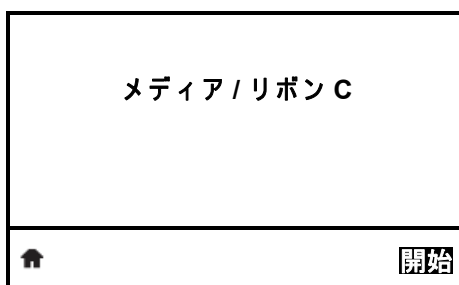
- センサーのキャリブレーションで解決できる可能性のある問題については、[150 ページの印刷の問題](#)を参照してください。
- キャリブレーションを開始する際のオプションの要約については、[75 ページの用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレーション](#)を参照してください。



重要・キャリブレーション手順を次の説明のとおりに行ってください。1つのセンサーのみを調整する場合でも、すべての手順を実行する必要があります。この手順中に CANCEL (キャンセル) ボタンを押したままにすると、いつでも手順をキャンセルできます。

センサーのキャリブレーションを実行するには、次の手順を実行します。

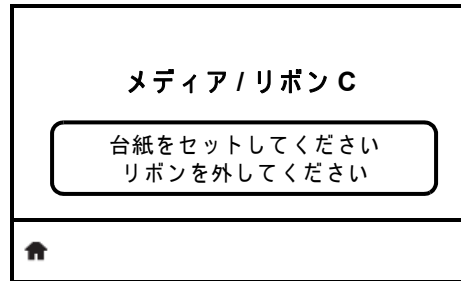
1. プリンタをレディ状態に設定して、次の方法のいずれかで用紙とリボンのキャリブレーションを開始します。
 - PAUSE (一時停止) + FEED (フィード) + CANCEL (キャンセル) を 2 秒間押したままにします。
 - `ezpl.manual_calibration SGD` コマンドをプリンタに送信します。このコマンドの詳細については、『[Zebra プログラミング・ガイド](#)』を参照してください。
 - コントロール・パネル・ディスプレイで、次のメニュー項目までナビゲートします。この項目は、TOOLS (ツール) メニューおよび SENSORS (センサー) メニューにあります。コントロール・パネルの使用とメニューへのアクセスについては、[90 ページのディスプレイ画面のナビゲート](#)を参照してください。



- a. 右選択ボタンを押して「開始」を選択します。

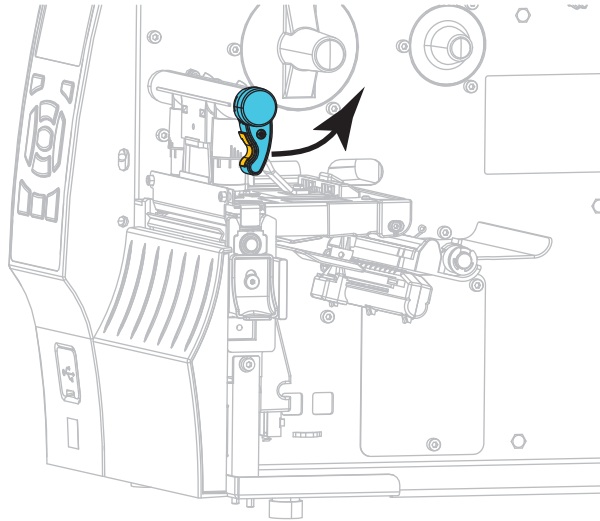
プリンタでは、以下が行われます。

- **STATUS** (ステータス) ランプと **SUPPLIES** (消耗品) ランプが 1 回点滅 (黄色) します。
- **PAUSE** (一時停止) ランプが黄色く点滅します。
- コントロール・パネルに、次のメッセージが表示されます。

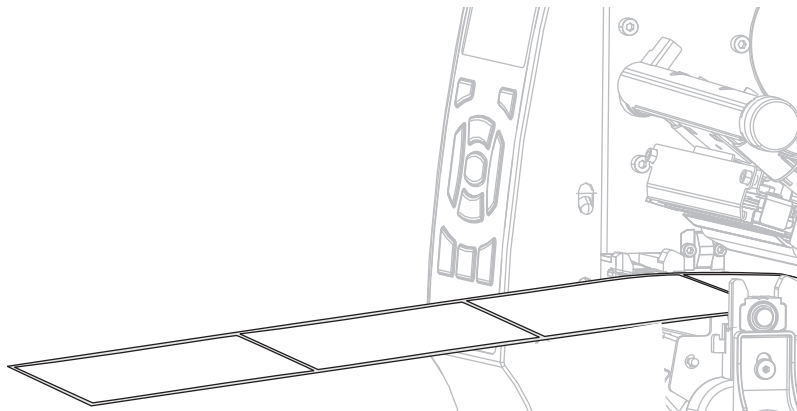


2. **注意**・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。

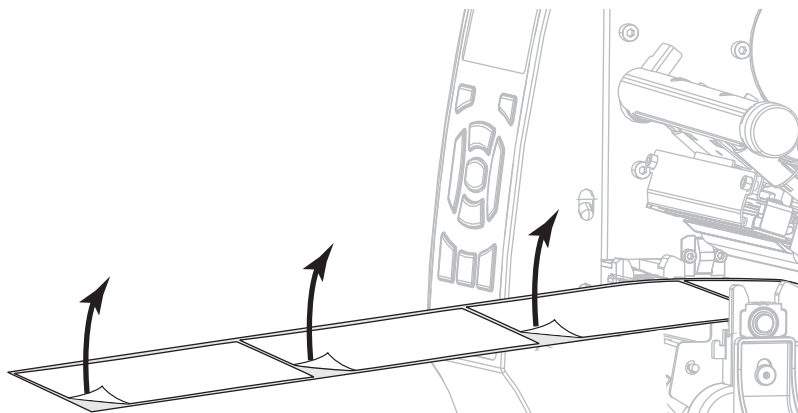
印字ヘッド・オープン・レバーを回して、印字ヘッド・アセンブリを開けます。



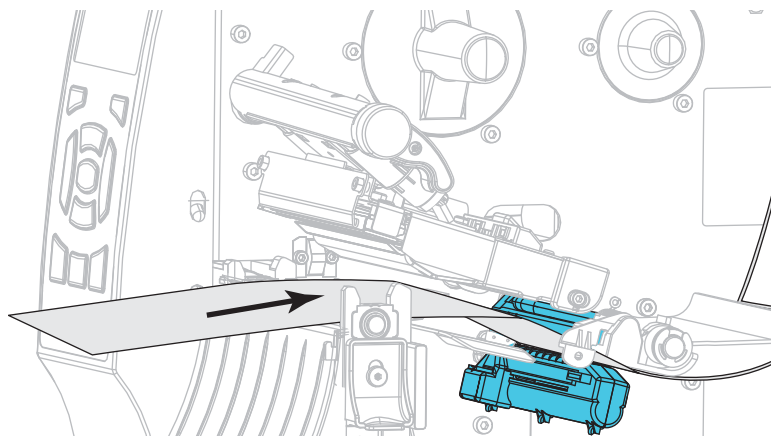
3. 用紙を約 203 mm (8 インチ) ほどプリンタから引き出します。



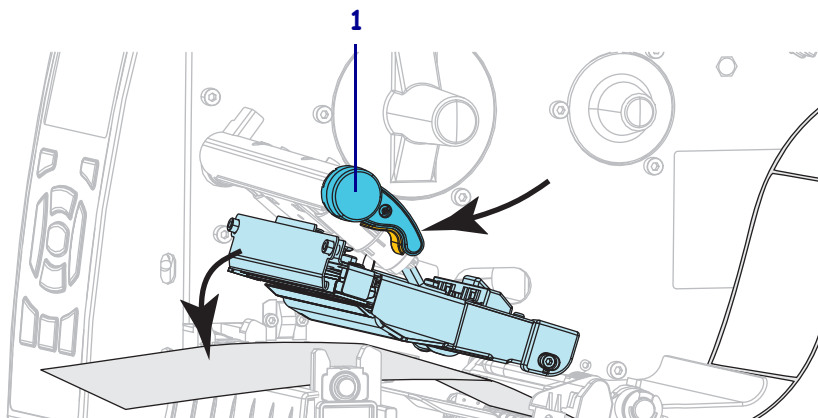
4. 露出したラベルを剥がし、ライナーだけを残します。



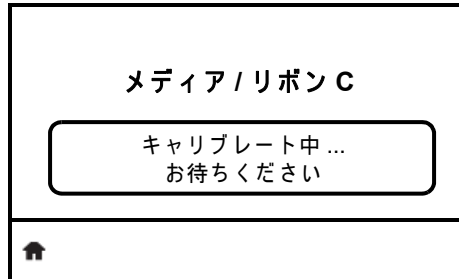
5. 用紙をプリンタに引き入れて、用紙とセンサーの間に台紙だけが挟まっている状態にします。



6. リボンを取り外します (リボンを使用している場合)。
7. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置にロックさせます。

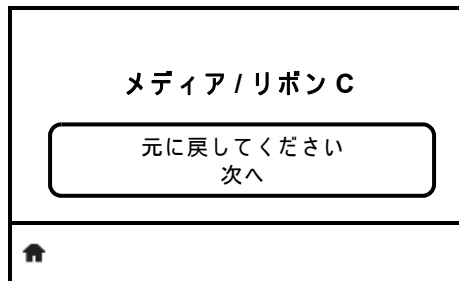


8. PAUSE (一時停止) を押すと、用紙のキャリブレーション処理が開始します。
- PAUSE (一時停止) ランプが消えます。
 - SUPPLIES (消耗品) ランプが点滅します。
 - コントロール・パネルに、次のメッセージが表示されます。

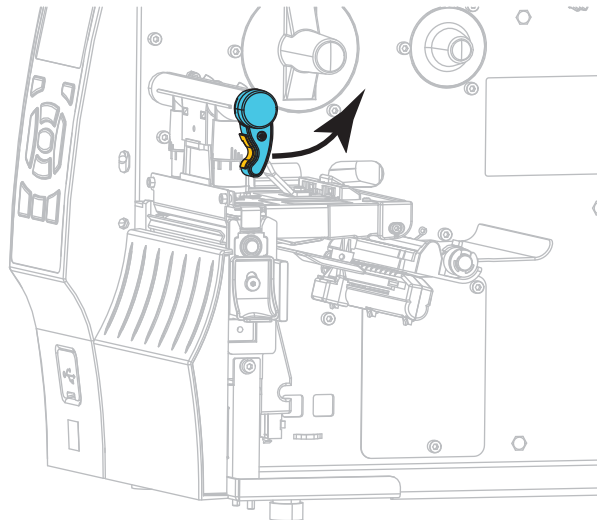


処理が完了すると、以下の状態になります。

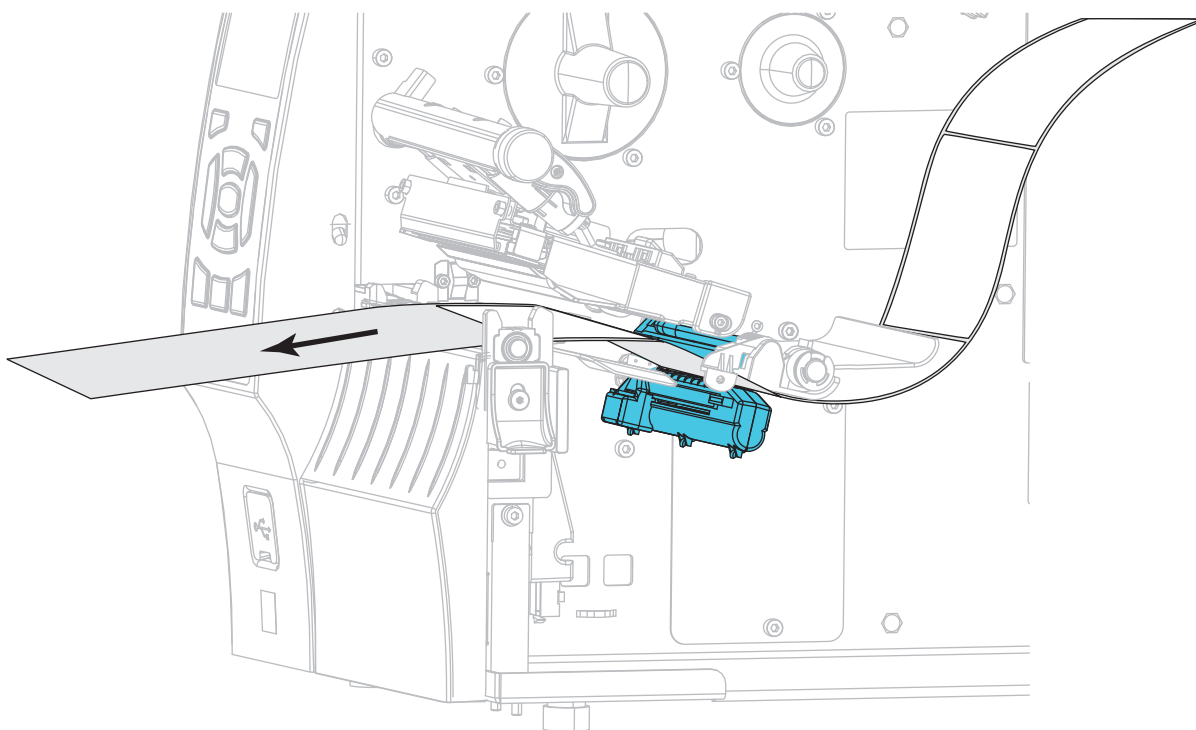
- SUPPLIES (消耗品) ランプの点滅が停止します
- PAUSE (一時停止) ランプが黄色に点滅します。
- コントロール・パネルに、次のメッセージが表示されます。



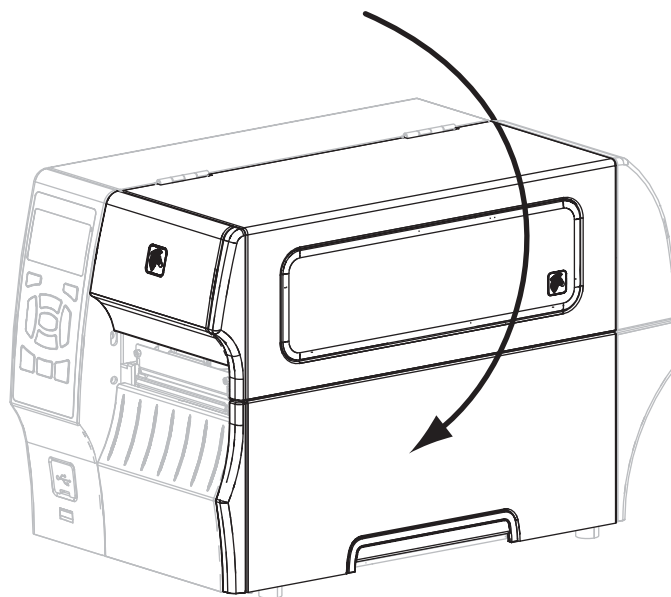
9. 印字ヘッド・オープン・レバーを回して、印字ヘッド・アセンブリを開けます。



10. ラベルの位置が用紙センサーの下にくるまで用紙を前方向に引っ張ります。



11. リボンを元に戻します (リボンを使用している場合)。
12. 印字ヘッドを閉じます。
13. 用紙アクセス用ドアを閉じます。



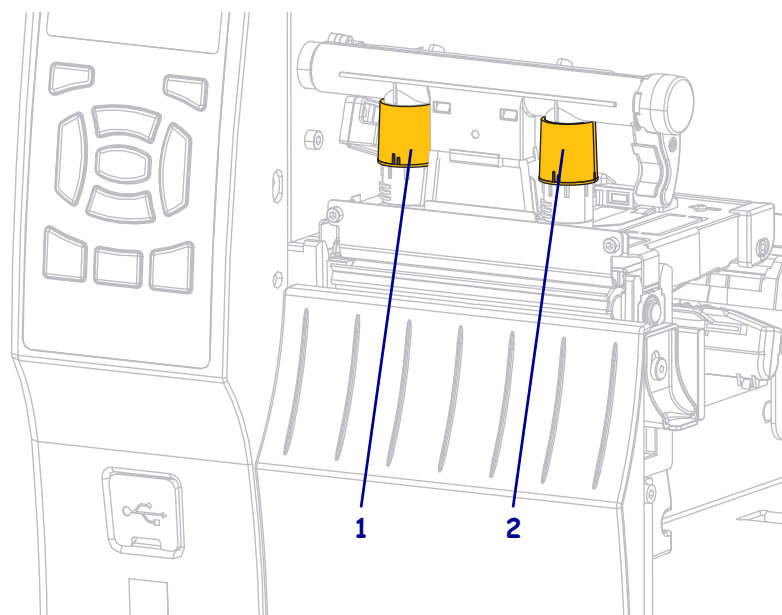
14. PAUSE (一時停止) ボタンを押して印刷を有効にします。

印字ヘッド圧力の調整

片側の印刷が薄すぎる場合や厚い用紙を使用する場合、または印刷中、用紙が左右にずれる場合は、印刷ヘッドの圧力調整が必要となることがあります。良質の印刷を行うために必要な最低限の印字ヘッド圧力を使用します。

図 3 を参照してください。印字ヘッド圧力調整ダイヤルには、1～4 の設定マークがあります。

図 3・印字ヘッド圧力調整ダイヤル



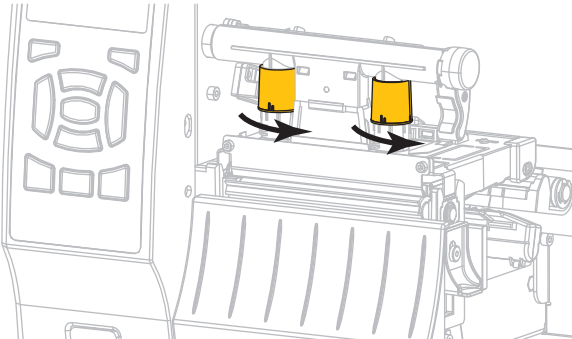
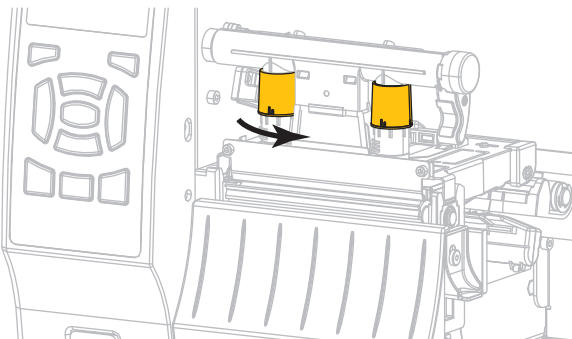
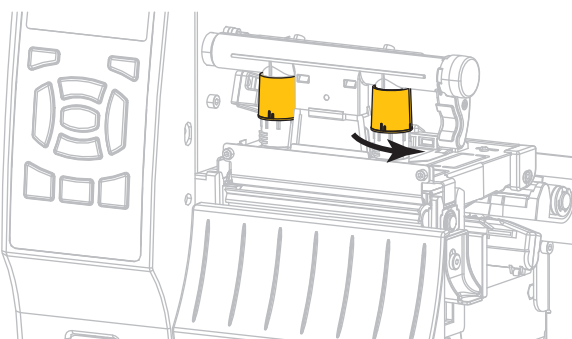
1	内側ダイヤル
2	外側ダイヤル

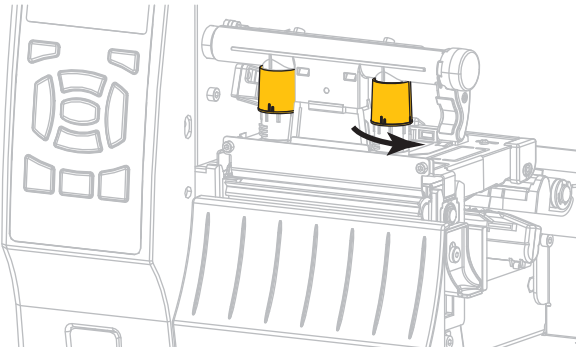
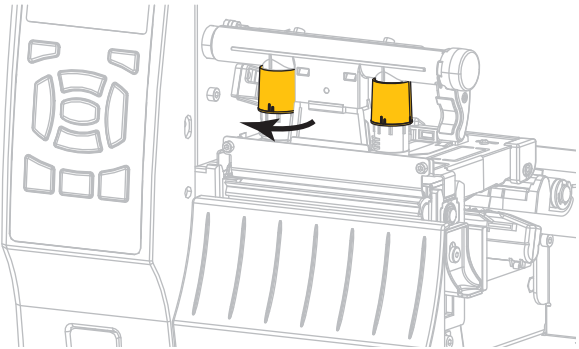
表 10 を参照してください。ご使用のプリンタおよび用紙幅に基づいて、以下の圧力設定の調整を必要に応じて始めてください。

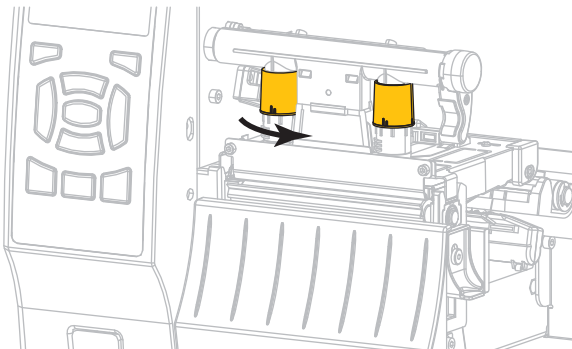
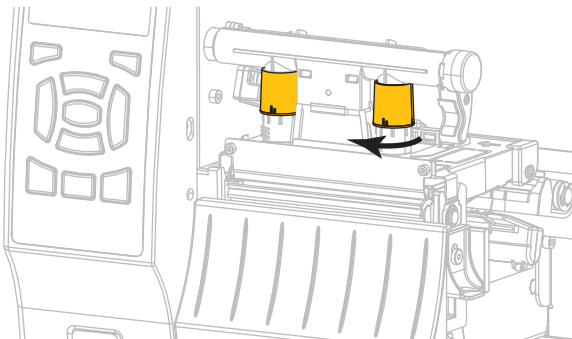
表 10・圧力設定開始時

プリンタ	用紙幅	内側ダイヤル設定	外側ダイヤル設定
ZT410	25 mm (1 インチ)	4	1
	51 mm (2 インチ)	3	1
	76 mm (3 インチ)	2.5	1.5
	≥ 89 mm (3.5 インチ)	2	2
ZT420	51 mm (2 インチ)	4	1
	76 mm (3 インチ)	3.5	1
	102 mm (4 インチ)	3	1.5
	≥ 127 mm (5 インチ)	2	2

必要に応じて、印字ヘッド圧力調整ダイヤルを以下のように調整します。

用紙の状態	調整方法
良好な印字品質を得るために 圧力を高める必要がある	両方のダイヤル値を1レベル上げます。 
ラベル左側の印刷が薄すぎる	内側のダイヤル設定を1レベル上げます。 
ラベル右側の印刷が薄すぎる	外側のダイヤル設定を1レベル上げます。 

用紙の状態	調整方法
印刷中に左へ移動する	<p data-bbox="841 275 1356 306">外側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p>  <p data-bbox="841 695 1356 768">または 内側のダイヤル設定を 1 レベル上げます。</p> 

用紙の状態	調整方法
印刷中に右へ移動する	<p data-bbox="841 277 1356 304">内側のダイヤル設定を1レベル上げます。</p>  <p data-bbox="841 697 1356 766">または 外側のダイヤル設定を1レベル下げます。</p> 

使用済みリボンの取り外し

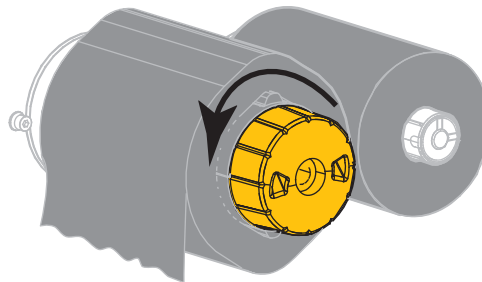
リボンのロールを交換する場合には、必ずリボン巻き取りスピンドルから使用済みリボンを取り外してください。

使用済みのリボンを取り外すには、次の手順を実行します。

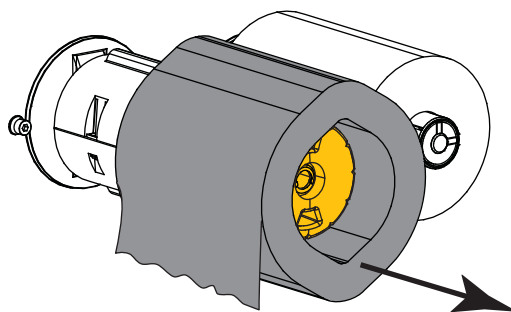
1. リボンの残りの有無に応じて、次のように操作します。

リボンの跡	操作
なし	次の手順に進みます。
あり	リボンはリボン巻き取りスピンドルの手前で切ります。  <p>注意・リボンはリボン巻き取りスピンドルの上で直に切らないでください。スピンドルの上で直に切ると、スピンドルが傷つくことがあります。</p>

2. リボン巻き取りスピンドルを押さえながら、リボン・リリース・ノブを左に止まるまで回します。
リボン・リリース・バーが下がり、リボンを押さええていたスピンドルのグリップが緩みます。



3. 使用済みリボンをリボン巻き取りスピンドルから外して、廃棄します。



定期的なメンテナンス

このセクションでは、定期的なクリーニングおよびメンテナンスの手順について説明します。

目次

クリーニングのスケジュールと手順	132
外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング	133
印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング	134
剥離アセンブリのクリーニング	138
カッター・モジュールのクリーニング	142
プリンタ・コンポーネントの交換	146
交換部品の注文	146
プリンタ・コンポーネントのリサイクル	146
潤滑油	146

クリーニングのスケジュールと手順

定期的な予防メンテナンスは、通常のプリンタ操作で重要な要素です。ご使用のプリンタをきちんと手入れすることで、起こりうる問題の発生を最小限に抑え、印字品質の基準を保持することができます。

用紙やリボンが印字ヘッドを横切って移動するため、長期間の使用により、セラミックの保護コーティングが磨耗して剥がれ、最終的には印字エレメント（ドット）が劣化します。磨耗を防止するために、以下の点を心掛けてください。

- 印刷ヘッドを頻繁にクリーニングします。
- 印字ヘッド圧力と加熱温度（印字濃度）のバランスを最適化して、設定値を最小にしてください。
- 熱転写モードを使用しているときは、摩擦の大きなラベル用紙に印字ヘッドのエレメントが触れるのを防止するために、リボンは必ず用紙の幅以上のものをご使用ください。



重要・Zebra は、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いかねます。

個別のクリーニング手順については、次ページ以降で説明します。表 1 には、クリーニングの推奨スケジュールを示します。これらの間隔は、あくまで目安として記載しております。お客様の用途や用紙のタイプによっては、より頻繁なクリーニングが必要となる場合があります。

表 1・クリーニングの推奨スケジュール

部位	方法	頻度
印字ヘッド	溶剤 *	ダイレクト・サーマル・モード：ロール用紙 1 本（または折り畳み用紙 500 フィート）を使用済の後に毎回。 熱転写モード：1 ロールのリボンを使用済み後に毎回。
プラテン・ローラー	溶剤 *	
用紙センサー	空気ブロー	
リボン・センサー	空気ブロー	
用紙経路	溶剤 *	
リボン経路	溶剤 *	
ピンチ・ローラー (剥離オプションの一部)	溶剤 *	
カッター・モジュール	連続、感圧紙をカットする場合	用紙 1 ロールを使用済み後に毎回（用途および用紙のタイプによってはそれより頻繁）。
	タグストックまたはラベル台紙をカットする場合	溶剤 * および空気ブロー
切り取り / 剥離バー	溶剤 *	月 1 回
ラベル剥離センサー	空気ブロー	半年に 1 回

* Zebra では、予防メンテナンス・キット（パーツ番号 47362）の使用をお勧めしています。このキットの代わりに、イソプロピル・アルコール（90% 以上）と脱イオン水（10% 以下）の溶液に浸した綿棒を使用することもできます。

外装、用紙コンパートメント、およびセンサーのクリーニング

時間の経過とともに、ご使用のプリンタの外側にも内側にも、特に厳しい動作環境にある場合は、埃や汚れなどのゴミがたまりやすくなります。

プリンタの外装

プリンタの外装表面は、必要があれば、糸くずのでない布と、水で薄めた少量の洗剤を使用してクリーニングできます。ざらざらしたものや摩擦性のクリーニング液、クリーニング溶剤などは使用しないでください。

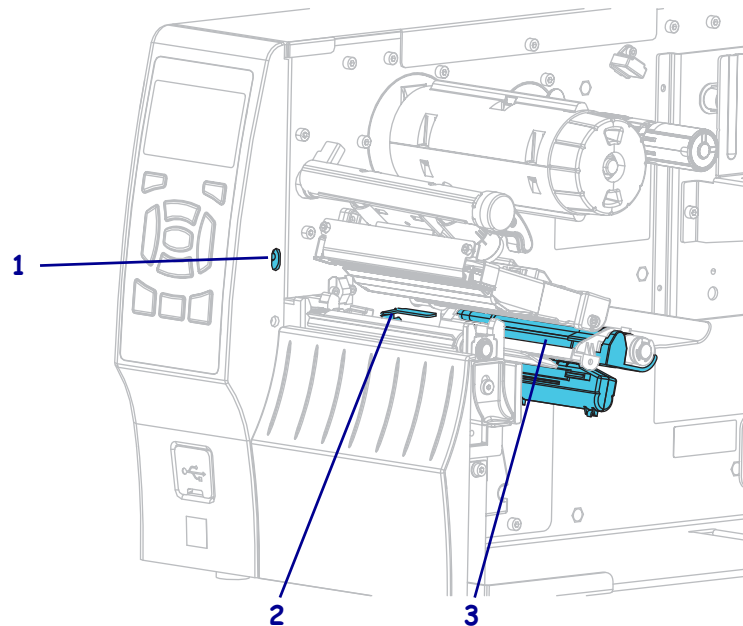


重要・Zebra では、クリーニング液の使用によってこのプリンタに生じた損傷の責任は負いません。

用紙コンパートメントとセンサー

センサーをクリーニングするには、次の手順を実行します。

1. ブラシ、空気ブローまたは掃除機を使用して、用紙経路およびリボン経路に溜まった用紙くずや埃を清掃します。
2. ブラシ、空気ブローまたは掃除機を使用して、センサーに溜まった用紙くずや埃を清掃します。



1	ラベル剥離センサー
2	リボン・センサー・リフレクター
3	用紙センサー

印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング

バーコードやグラフィックに空白が見られるなど、一貫した印字品質が得られないときは、印字ヘッドが汚れている可能性があります。推奨されるクリーニングのスケジュールについては、132 ページの表 1 を参照してください。

注意・印字ヘッドが開いている近くで作業をする場合、指輪、腕時計、ネックレス、ID バッジなど、印字ヘッドに触れそうな金属製のものは、すべて外してください。開いた印字ヘッドの近くで作業をする際、プリンタの電源を切るとは必須ではありませんが、Zebra では、万一に備えて電源をオフにすることを推奨しています。電源を切ると、ラベル・フォーマットなどの一時設定はすべて失われるため、印刷を再開する前に再度読み込む必要があります。



注・剥離アセンブリが付いたプリンタでは、プラテン・ローラーのクリーニング中は剥離アセンブリを閉じておき、切り取り / 剥離バーの変形の危険性を回避します。



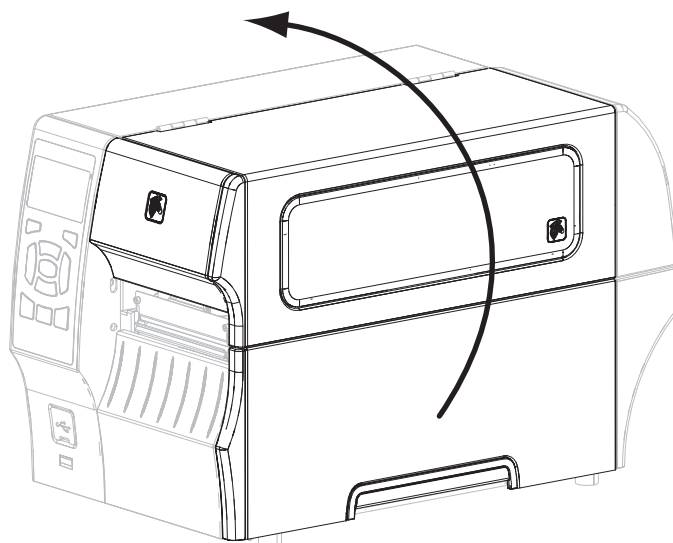
注意・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。



注意・印字ヘッド・アセンブリに触れる前に、プリンタの金属フレームを触るか静電気除去リスト・ストラップとマットを使用するなどして、蓄積した静電気をすべて除去してください。

印字ヘッドとプラテン・ローラーをクリーニングするには、次の手順を実行します。

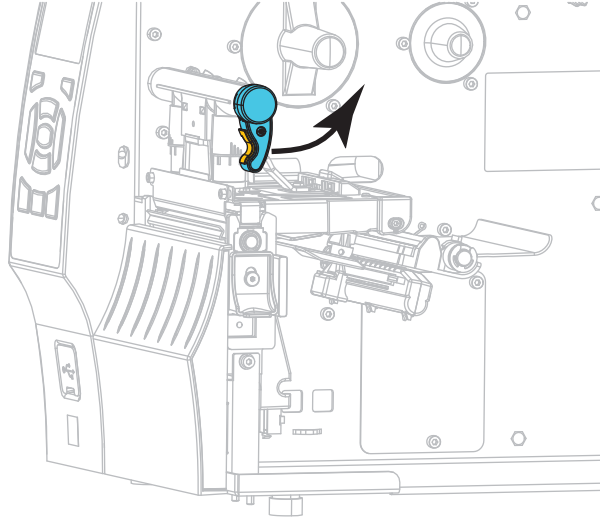
1. 用紙アクセス用ドアを開きます。



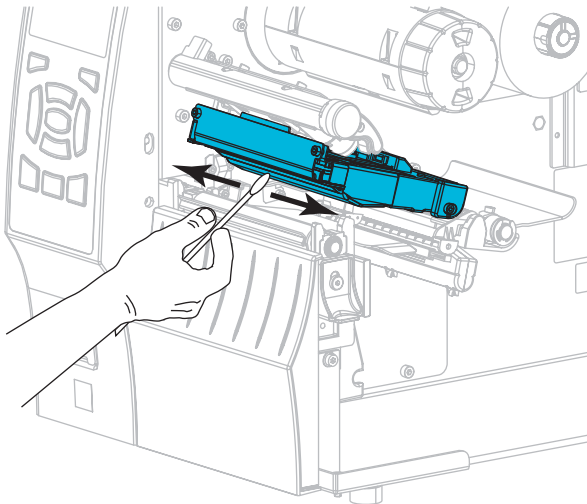


2. **注意**・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。

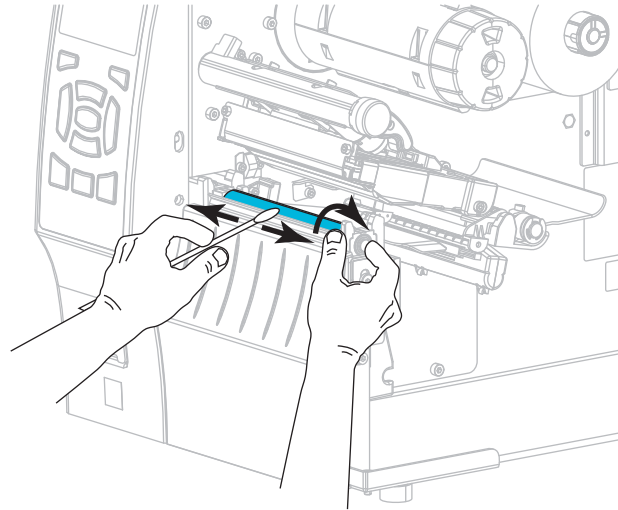
印字ヘッド・オープン・レバーを回して、印字ヘッド・アセンブリを開けます。



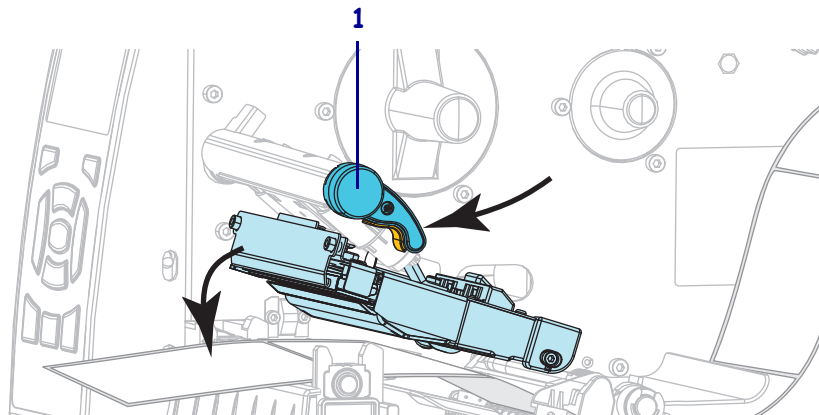
3. リボン (使用している場合) と用紙を取り外します。
4. Zebra 予防メンテナンス・キットの綿棒を使用して、印刷ヘッド・アセンブリ上の茶色い帯を端から端まで拭き取ります。予防メンテナンス・キットの代わりに、イソプロピル・アルコール (90% 以上) と脱イオン水 (10% 以下) の溶液に浸した綿棒を使用することもできます。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



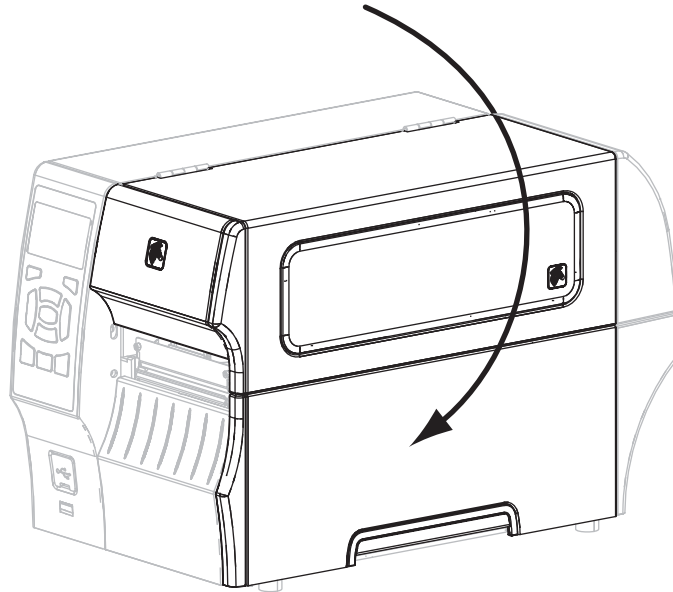
5. プラテン・ローラーを手で回しながら、綿棒で入念にクリーニングします。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



6. リボン (リボンを使用する場合) と用紙をセットし直します。詳細は、60 ページの [リボンの装着](#) または 34 ページの [用紙の装着](#) を参照してください。
7. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。



8. 用紙アクセス用ドアを閉めます。



プリンタが動作可能になります。

9. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには PAUSE (一時停止) ボタンを押します。

プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル・キャリブレードを実行するか、またはラベルをフィードします。



注・この手順を実行しても印字品質が改善されない場合は、*Save-A-Printhead* クリーニング・フィルムを使用して印字ヘッドのクリーニングを試みてください。この特殊コーティングが施されたフィルムを使用すると、印字ヘッドを傷めずに溜まった不純物を取り除くことができます。詳細については、正規の Zebra 販売会社までお電話ください。

剥離アセンブリのクリーニング

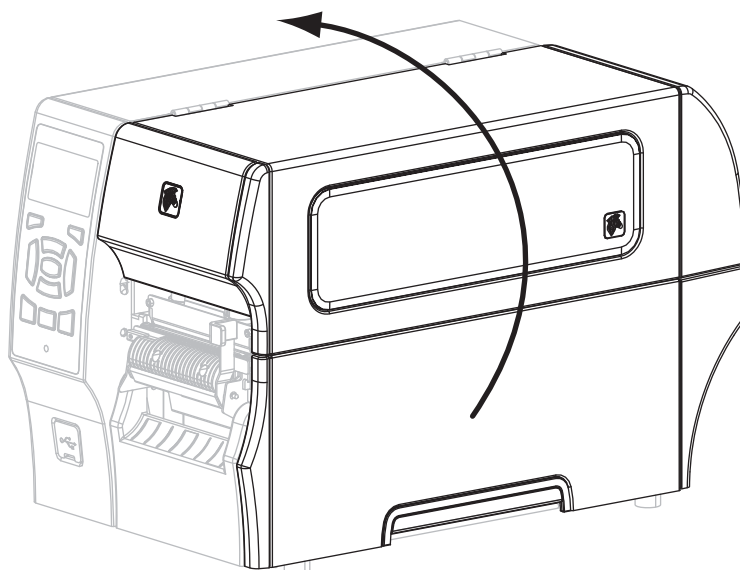
剥離アセンブリ (剥離およびライナー巻き取りのオプションの一部) を構成するローラーのいくつかは、適切なローラー圧力を確保するためにバネで加圧されています。粘着物によって剥離性能に支障が出始めた場合は、ピンチ・ローラーおよび切り取り / 剥離バーをクリーニングしてください。



注意・剥離アセンブリを閉じる際、絶対に左手を添えないでください。剥離ローラーまたはアセンブリの上端に指がはさまれる可能性があります。

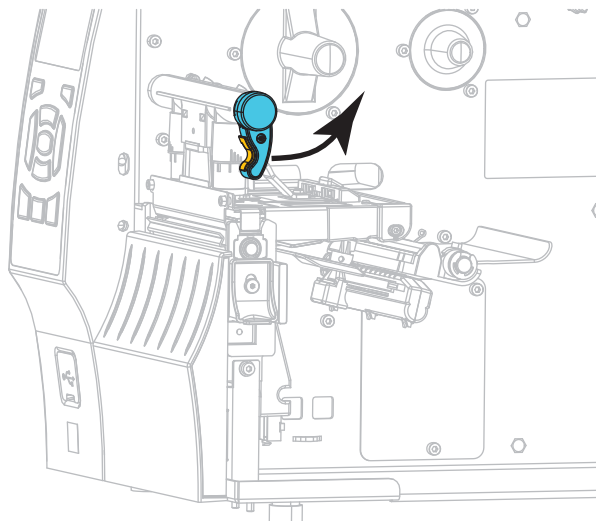
粘着物によって剥離性能に支障がある場合には、次の手順を実行します。

1. 用紙アクセス用ドアを開きます。

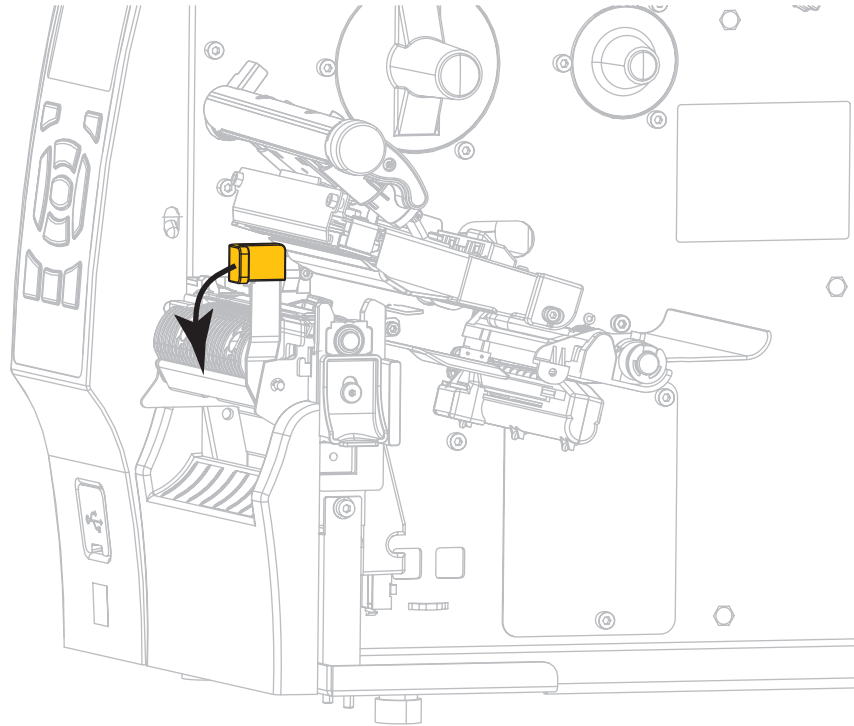


2. **注意**・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。

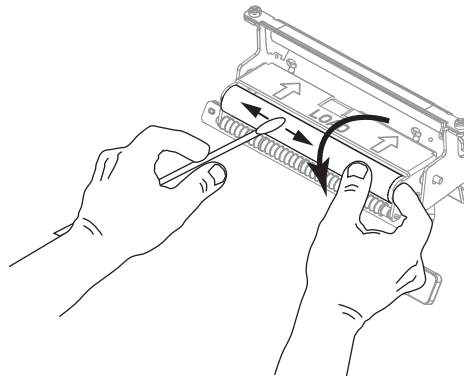
印字ヘッド・オープン・レバーを回して、印字ヘッド・アセンブリを開けます。



3. 剥離機構解除レバーを押し下げ、剥離アセンブリを開きます。



4. すべての用紙ライナーを除去し、ピンチ・ローラーをきれいにします。
5. ピンチ・ローラーを手で回しながら、予防メンテナンス・キット（パーツ番号 47362）の綿棒で入念にクリーニングします。予防メンテナンス・キットの代わりに、イソプロピル・アルコール（90%以上）と脱イオン水（10%以下）の溶液に浸した綿棒を使用することもできます。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



6. 綿棒を使用して、切り取り / 剥離バーから余分な粘着剤を除去します。溶剤が蒸発するまでお待ちください。



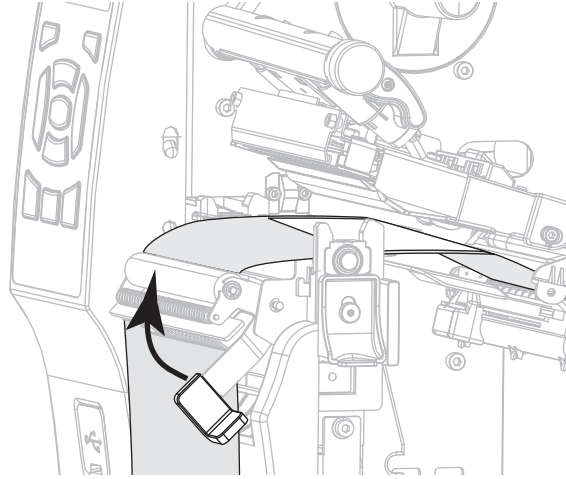
重要・切り取り / 剥離バーをクリーニングする際には、最小限の力で実施してください。力を入れすぎると、切り取り / 剥離バーが変形し、剥離性能が劣化するおそれがあります。

7. 剥離機構を通して用紙ライナーをセットし直します。手順については、[42 ページの剥離モードの最終手順\(ライナー巻き取り付き/なし\)](#)を参照してください。

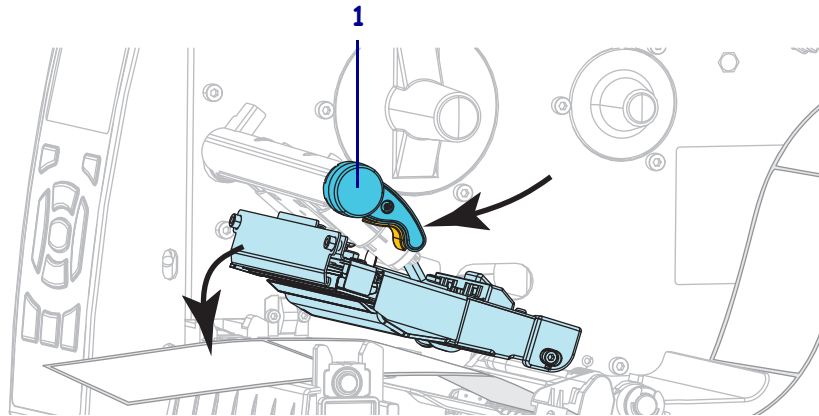


8. **注意**・剥離アセンブリを閉じるには、剥離解除レバーを使用し、右手で操作してください。閉じる際、絶対に左手を添えないでください。剥離ローラーまたはアセンブリの上端に指がはさまれる可能性があります。

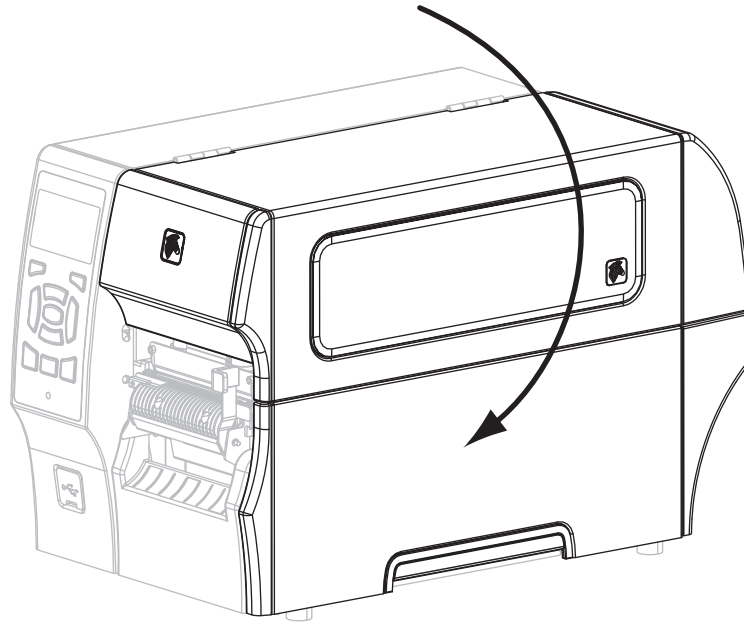
剥離機構解除レバーを使用して、剥離アセンブリを閉じます。



9. 印字ヘッド・オープン・レバー (1) を下方に回して、印字ヘッドを定位置に固定します。



10. 用紙アクセス用ドアを閉めます。



プリンタが動作可能になります。

11. 一時停止モードを終了して印刷可能にするには PAUSE (一時停止) ボタンを押します。

プリンタは、それぞれの設定によって、ラベル・キャリブレーションを実行するか、またはラベルをフィードします。

カッター・モジュールのクリーニング

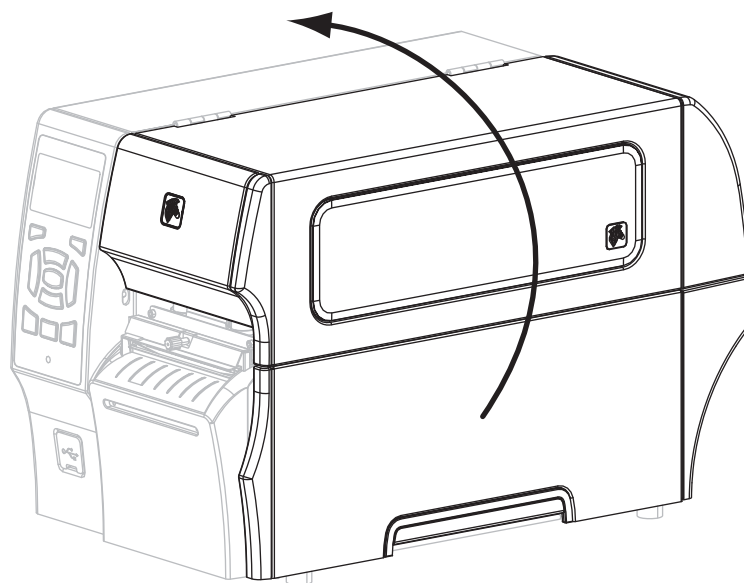
カッターでラベルがきれいに切断されない、またはラベルが詰まってしまう場合には、カッターをクリーニングします。



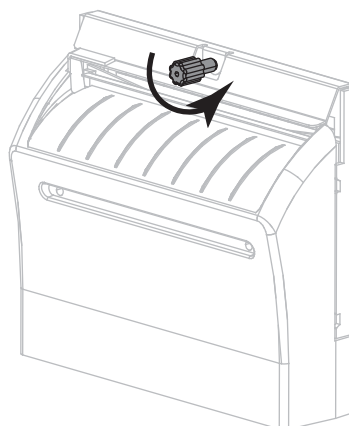
注意・使用者の安全を確保するため、この手順を行う前に、常に電源を切ってプリンタの電源コードを抜いてください。

カッター・モジュールをクリーニングするには、次の手順を実行します。

1. プリンタの電源をオフ (O) にして、電源からプリンタの電源コードを抜きます。
2. 用紙アクセス用ドアを開きます。



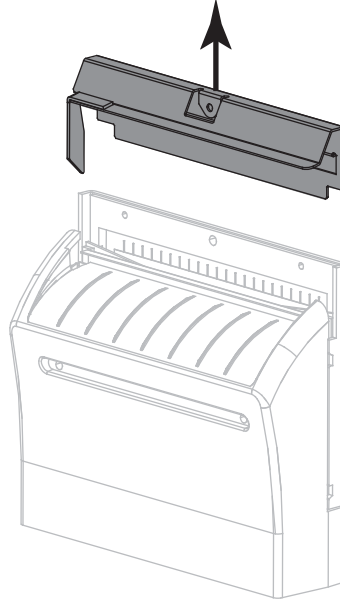
3. カッター・モジュールを通して装着した用紙を取り出します。
4. カッター・シールド上の蝶ネジとロック・ワッシャを緩めて取り外します。



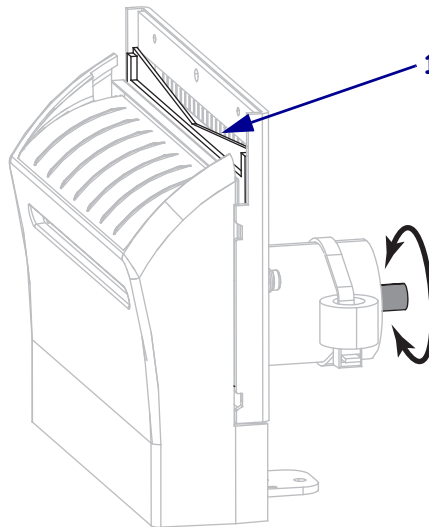


5. **注意**・カッターには鋭い刃が付いています。指で刃をなでたり、刃に触れたりしないように注意してください。

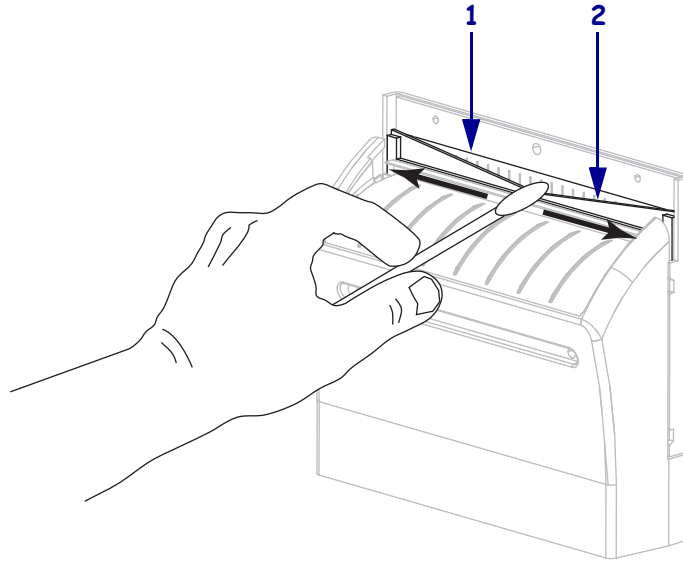
カッター・シールドを取り外します。



6. 必要な場合は、カッター・モーターの蝶ネジを回してV字形のカッターの刃 (1) を完全に露出させます。

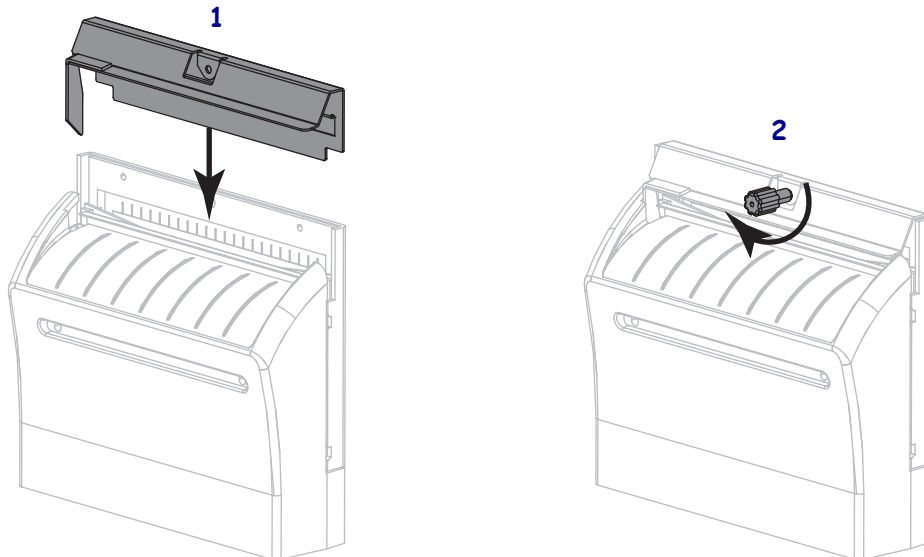


7. 予防メンテナンス・キット (パーツ番号 47362) の綿棒を使用して、切り取り面の上部 (1) とカッターの刃 (2) を拭き取ります。予防メンテナンス・キットの代わりに、イソプロピル・アルコール (90% 以上) と脱イオン水 (10% 以下) の溶液に浸した綿棒を使用することもできます。溶剤が蒸発するまでお待ちください。

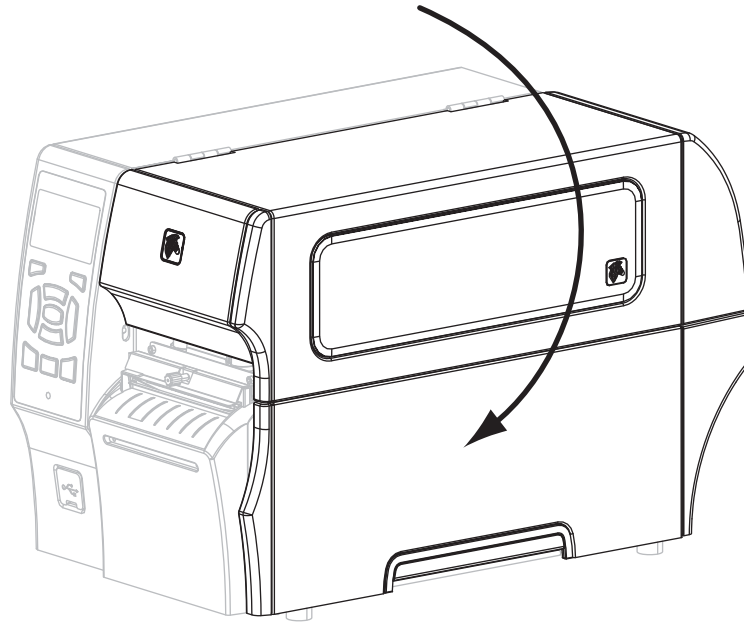


8. **注意**・カッターには鋭い刃が付いています。オペレータの安全のため、カッター・シールドを元の位置に戻します。

カッター・シールド (1) を元に戻し、前の手順で取り外しておいた蝶ネジとロック・ワッシャ (2) で固定します。



9. 用紙アクセス用ドアを閉じます。



10. 電源にプリンタ電源コードを差し込み、プリンタをオン (I) にします。
カッターの刃が動作位置に戻ります。
11. カッターがまだ正常に動作しない場合は、資格のあるサービス技師に連絡してください。

プリンタ・コンポーネントの交換

印刷ヘッドやプラテン・ローラーなど、一部のプリンタ・コンポーネントは時間の経過と共に消耗しますが、簡単に取り替えられます。定期的なクリーニングすることで、このようなコンポーネントの寿命を延ばすことができます。推奨するクリーニング間隔については、132 ページの表 1 を参照してください。

交換部品の注文

製品ライン全体で最適な印刷品質と適切なプリンタ・パフォーマンスを得るため、Zebra では Zebra™ 純正のサプライ品をトータル・ソリューションの一部として使用することを強くお勧めします。特に、ZT400 Series のプリンタは、Zebra™ 純正プリントヘッドでのみ機能させることで、安全性と印刷品質を最大化するように設計されています。

部品の注文情報については、正規の Zebra 販売会社にお問合せください。

プリンタ・コンポーネントのリサイクル



このプリンタ・コンポーネントは、ほとんどリサイクルできます。プリンタのメイン・ロジック・ボードにはバッテリーがあり、適切な方法で処分する必要があります。

プリンタ・コンポーネントは地方自治体の廃棄物処理に従って処分してください。バッテリーは自治体の定める法律に従って処分し、その他のプリンタ・コンポーネントは地域の規制に従って処分してください。詳細については、<http://www.zebra.com/environment> を参照してください。

潤滑油

このプリンタには潤滑油は不要です。

注意・市販の潤滑油をこのプリンタに使用すると、塗装や機械部品を損傷する可能性があります。

トラブルシューティング

このセクションでは、トラブルシューティングを必要とするエラーについて説明します。各種診断テストも含まれています。

目次

インジケータ・ライトの意味	148
印刷の問題	150
リボンの問題	153
RFID の問題	154
エラー・メッセージ	157
通信の問題	161
その他の問題	162
プリンタ 診断	164
パワーオン・セルフ・テスト	164
CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト	165
PAUSE (一時停止) セルフ・テスト	166
FEED (フィード) セルフ・テスト	167
FEED (フィード) + PAUSE (一時停止) セルフ・テスト	170
CANCEL (キャンセル) + PAUSE (一時停止) セルフ・テスト	170
通信診断テスト	171
センサー・プロフィール	172

インジケータ・ライトの意味

コントロール・パネル上のインジケータ・ライトは、プリンタの現在の状態 (表 1) を示します。

表 1・インジケータ・ライトが示すプリンタの状態












































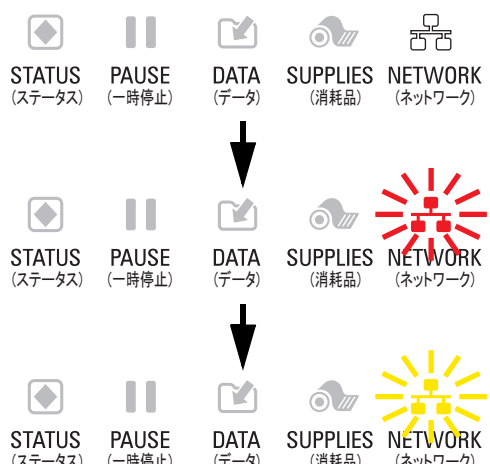



 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが緑色点灯 (他のランプはプリンタのパワーアップ時に 2 秒間黄色点灯) プリンタが使用可能です。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯。 プリンタが一時停止しています。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色点灯 用紙切れです。プリンタに何らかの問題が発生していて、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色点滅 リボンがなくなりました。プリンタに何らかの問題が発生していて、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯 SUPPLIES (消耗品) ランプが黄色点滅 プリンタがダイレクト・サーマル・モードなのでリボンは不要ですが、リボンが装着されています。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯 印字ヘッドが開いています。プリンタに何らかの問題が発生していて、ユーザーが介入しないと続行できません。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯 印字ヘッドの温度が高すぎます。  注意・印字ヘッドは高温になって、ひどい火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p>
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点滅 このインジケータ・ランプの点滅は、次のいずれかを示しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 印字ヘッドの温度が低すぎます。 ・ 電源供給装置の温度が高すぎます。 ・ メイン・ロジック・ボード (MLB) の温度が高すぎます。
 STATUS (ステータス)	 PAUSE (一時停止)	 DATA (データ)	 SUPPLIES (消耗品)	 NETWORK (ネットワーク)	<p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 PAUSE (一時停止) ランプが赤色点灯 DATA (データ) ランプが赤色点灯 印字ヘッドが純正の Zebra™ 印字ヘッドではない他のヘッドと交換されています。Zebra™ 純正印字ヘッドを取り付けて続行してください。</p>

表 1・インジケータ・ライトが示すプリンタの状態 (続き)

 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点滅 プリンタが印字ヘッドの dpi 設定を読み取れません。</p>
<p>ZebraNet 有線イーサネット・オプションのあるプリンタ</p>	
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが消灯 イーサネット・リンクを使用できません。</p>
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点灯 100Base リンクが見つかりました。</p>
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが黄色点灯 10Base リンクが見つかりました。</p>
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが赤色点灯 イーサネットにエラーが発生しています。プリンタがネットワークに接続されていません。</p>
<p>ZebraNet ワイヤレス・オプションのあるプリンタ</p>	
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p> <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが消灯 パワーアップ時に無線デバイスが見つかりました。プリンタがネットワークとの接続を試行します。プリンタとネットワークの接続時にランプが赤く点滅します。次に、プリンタとネットワークの認証時にランプが黄色く点滅します。</p>
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点灯 無線デバイスがネットワークに接続および認証されています。また、WLAN 信号強度は強です。</p>
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが緑色点滅 無線デバイスがネットワークに接続および認証されています。ただし、WLAN 信号強度は弱です。</p>
 <p>STATUS (ステータス) PAUSE (一時停止) DATA (データ) SUPPLIES (消耗品) NETWORK (ネットワーク)</p>	<p>NETWORK (ネットワーク) ランプが赤色点灯 WLAN にエラーが発生しています。プリンタがネットワークに接続されていません。</p>

印刷の問題

表 2 では、印刷または印字品質の考えられる問題、考えられる原因、および奨励される解決策が示されています。

表 2 • 印刷の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
一般的な印字品質の問題	プリンタが不適切な印字速度に設定されています。	最適な印字品質を得るには、コントロール・パネル、ドライバ、またはソフトウェアを使用して、アプリケーションに設定できる最低の印字速度に設定します。167 ページの FEED (フィード) セルフ・テスト を実行すると、ご使用のプリンタに最適な設定を確認できます。 印字速度の変更方法については、67 ページの 印字速度 を参照してください。
	アプリケーションに適していないラベルとリボンの組み合わせを使用しています。	<ol style="list-style-type: none"> 互換性のある組み合わせを見出すため、別のタイプの用紙またはリボンに切り替えてください。 必要に応じて、公認の Zebra 再販業者または流通業者にお問い合わせください。
	プリンタが不適切な濃度レベルに設定されています。	最適な印刷品質を得るため、アプリケーションに設定できる最低の濃度に設定します。167 ページの FEED (フィード) セルフ・テスト を実行すると、最適な濃度を設定することができます。 濃度設定の変更方法については、67 ページの 印字濃度 を参照してください。
	印字ヘッドが汚れています。	印字ヘッドとプラテン・ローラーをクリーニングします。134 ページの 印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング を参照してください。
	印字ヘッドの圧力またはそのバランスが不適切です。	印字ヘッド圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。125 ページの 印字ヘッド圧力の調整 を参照してください。
ラベルでの印刷整合性のロス。フォーム上部の位置が過剰に縦方向にずれる	プラテン・ローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテン・ローラーをクリーニングします。134 ページの 印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング を参照してください。
	用紙ガイドの位置が正しくありません。	用紙ガイドが正しくセットされていることを確認します。34 ページの 用紙の装着 を参照してください。
	用紙タイプの設定が不適切です。	正しい用紙のタイプ (ギャップ / 切れ込み、連続またはマーク) 用にプリンタを設定します。67 ページの 用紙タイプ を参照してください。
	用紙が正しく装着されていません。	用紙を正しくセットします。34 ページの 用紙の装着 を参照してください。

表 2・印刷の問題 (続き)

問題	考えられる原因	奨励される解決策
複数のラベルに長い印刷ヌケの跡がある	印刷エレメントが損傷しています。	サービス技師にお問い合わせください。
	リボンにシワがあります。	153 ページのリボンの問題 で、リボンにシワがある場合の原因と解決策を参照してください。
空白のラベルに細かいグレーの斜線がある	リボンにシワがあります。	153 ページのリボンの問題 で、リボンにシワがある場合の原因と解決策を参照してください。
ラベル全体の印刷が薄すぎるか、濃すぎる	用紙またはリボンが高速処理に適していません。	高速処理用に推奨されているサプライ製品と交換します。
	アプリケーションに適していない用紙とリボンの組み合わせを使用しています。	<ol style="list-style-type: none"> 互換性のある組み合わせを見出すため、別のタイプの用紙またはリボンに切り替えてください。 必要に応じて、公認の Zebra 再販業者または流通業者にお問い合わせください。
	感熱用紙とリボンの組み合わせを使用しています。	感熱用紙では、リボンは必要ありません。感熱用紙を使用しているかどうかを確認するには、 18 ページのリボンを使用するケース に記載されているラベルのスクラッチ・テストを実行してください。
	印字ヘッドの圧力またはそのバランスが不適切です。	印字ヘッド圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。 125 ページの印字ヘッド圧力の調整 を参照してください。
ラベルに染みが付いている	用紙またはリボンが高速処理に適していません。	高速処理用に推奨されているサプライ製品と交換します。
ラベルが位置ずれか飛ばされる	プリンタがキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。 120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください。
	ラベル・フォーマットが不適切です。	ラベル・フォーマットを確認し、必要に応じて訂正します。
3つのラベルのうち1つが位置ずれ、または誤印刷される	プラテン・ローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテン・ローラーをクリーニングします。 134 ページの印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング を参照してください。
	用紙が仕様に適合していません。	仕様に合った用紙を使用します。 178 ページの用紙仕様 を参照してください。
フォーム上部の位置が縦方向にずれる	プリンタのキャリブレーションがずれています。	プリンタをキャリブレートします。 120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください。
	プラテン・ローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテン・ローラーをクリーニングします。 134 ページの印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング を参照してください。

表 2・印刷の問題 (続き)

問題	考えられる原因	奨励される解決策
画像またはラベルが縦方向にずれる	プリンタでは単票ラベルが使用されていますが、設定は連続モードになっています。	プリンタを正しい用紙のタイプ (ギャップ / 切れ込み、連続、またはマーク - 67 ページの用紙タイプ 参照) に設定し、必要に応じて、プリンタをキャリブレートします (120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください)。
	用紙センサーが正しくキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。 120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください。
	プラテン・ローラーが汚れています。	印字ヘッドとプラテン・ローラーをクリーニングします。 134 ページの印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング を参照してください。
	印字ヘッドの圧力設定 (トグル) が不適切です。	印字ヘッドの圧力を調整し、正しく動作することを確認します。 125 ページの印字ヘッド圧力の調整 を参照してください。
	用紙またはリボンが正しくロードされていません。	用紙とリボンが正しくロードされていることを確認します。 60 ページのリボンの装着 および 34 ページの用紙の装着 を参照してください。
	用紙に互換性がありません。	プリンタ仕様に合った用紙を使用してください。ラベル間の切れ目または切れ込みが 2 ~ 4 mm であり、等間隔であることを確認します (178 ページの用紙仕様 を参照)。
ラベルに印刷されたバーコードをスキャンできない	印刷が薄すぎるか濃すぎるため、バーコードが仕様を満たしていません。	167 ページの FEED (フィード) セルフ・テスト を実行します。必要に応じて印刷濃度または印刷速度を調整します。
	バーコードの周囲に十分な空白がありません。	ラベル上のバーコードとその他の印刷領域の間、およびバーコードとラベルの端の間には、最低 3.2 mm (1/8 インチ) の空白を残しておきます。
自動キャリブレートに失敗した	用紙またはリボンが正しくロードされていません。	用紙とリボンが正しくロードされていることを確認します。 60 ページのリボンの装着 および 34 ページの用紙の装着 を参照してください。
	センサーが用紙またはリボンを検出できませんでした。	プリンタをキャリブレートします。 120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください。
	センサーが汚れているか、正しくセットされていません。	センサーがクリーニングされ、適切に配置されていることを確認します。
	用紙タイプの設定が不適切です。	正しい用紙のタイプ (ギャップ / 切れ込み、連続またはマーク) 用にプリンタを設定します。 67 ページの用紙タイプ を参照してください。

リボンの問題

表 3 は、リボンに関して発生する可能性のある問題、考えられる原因、および奨励される解決策を示したものです。

表 3・リボンの問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
リボンが損傷または溶解している	濃度の設定が高すぎます。	<ol style="list-style-type: none"> 濃度の設定を下げます。濃度設定の変更方法については、67 ページの 印字濃度 を参照してください。 印字ヘッドを完全にクリーニングします。134 ページの 印字ヘッドとプラテン・ローラーのクリーニング を参照してください。
	リボンのコーティング面が適切ではありません。このプリンタには使用できません。	適切な面がコーティングされているリボンと交換してください。詳細については、18 ページの リボンのコーティング面 を参照してください。
リボンにシワがある	リボンが正しく設定されませんでした。	リボンを正しくセットします。60 ページの リボンの装着 を参照してください。
	焼き付け温度が不適切です。	最適な印刷品質を得るため、アプリケーションに設定できる最低の濃度に設定します。167 ページの FEED (フィード) セルフ・テスト を実行すると、最適な濃度を設定することができます。濃度設定の変更方法については、67 ページの 印字濃度 を参照してください。
	印字ヘッドの圧力またはそのバランスが不適切です。	印字ヘッド圧力を良好な印字品質に必要な最低値に設定します。125 ページの 印字ヘッド圧力の調整 を参照してください。
	用紙が正しくフィードされず、左右に「ずれて」います。	用紙ガイドを調整して用紙を正しい位置にセットするか、サービス技師にお問い合わせください。
	印字ヘッドまたはプラテン・ローラーが正しく装着されていない可能性があります。	サービス技師にお問い合わせください。
リボンがなくなってもプリンタが検知しない 熱転写モードで、リボンが正しく取り付けられていないにもかかわらず、プリンタがリボンを認識しなかった	リボンをセットせずにプリンタがキャリブレートされた可能性があります。リボンが後でセットされ、プリンタの再キャリブレートまたはプリンタ・デフォルト値の読み込みが行われていません。	リボンをセットした状態でプリンタをキャリブレートするか、プリンタ・デフォルト値を読み込んでください。120 ページの リボンと用紙センサーのキャリブレート または 74 ページの 設定初期化 を参照してください。
リボンが正しく装着されているにもかかわらず、プリンタがリボン切れを表示する	プリンタが、使用しているラベルおよびリボンに合わせてキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。120 ページの リボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください。

RFID の問題

表 4 では、RFID プリンタに関して発生する可能性のある問題、考えられる原因、および奨励される解決策を示します。RFID の詳細については、『*RFID プログラミング・ガイド 3*』を参照してください。マニュアルのコピーは、プリンタに付属の CD に収録されています。また、<http://www.zebra.com/manuals> から利用できます。

表 4 • RFID の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
RFID が使用可能なプリンタで、あらゆるラベルが無効になります。	プリンタが、使用している用紙に合わせてキャリブレーションされていません。	プリンタを手動でキャリブレーションします (120 ページの <i>リボンと用紙センサーのキャリブレーション</i> を参照)。
	ご使用のプリンタでサポートされていないタグ・タイプの RFID ラベルを使用しています。	ZT400 Series プリンタでサポートされているラベルは、Gen 2 RFID ラベルのみです。詳細については、『 <i>RFID プログラミング・ガイド 3</i> 』を参照するか、または公認の Zebra RFID 再販業者に問い合わせてください。
プリンタが RFID リーダーと通信できません。		<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒、待機します。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. それでも問題が解決しない場合は、RFID リーダーに欠陥があるか、RFID リーダーとプリンタの接続が不完全である可能性があります。技術サポートまたは資格のある Zebra RFID のサービス技師に連絡してください。
別の RF ソースからの RF (無線周波数) 干渉があります。		<p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリンタを、固定されている RFID リーダーまたはその他の RF ソースから遠くに離します。 • RFID プログラミングの間中、用紙アクセス用ドアをしっかりと閉めておきます。
ラベル・デザイナー・ソフトウェアの設定が正しくありません。		ラベル・デザイナー・ソフトウェアの設定は、プリンタの設定を無効化します。ソフトウェアとプリンタの設定がマッチしていることを確認してください。
プログラミング位置が正しくありません (特に、使用しているタグがプリンタの仕様を満たしている場合)。		<p>必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RFID プログラミング位置を確認するか、ラベル・デザイナー・ソフトウェアのプログラム位置の設定を確認します。プログラミング位置が正しくない場合は、設定を変更します。 • RFID プログラミング位置をデフォルトに再定義します。 <p>詳細については、『<i>RFID プログラミング・ガイド 3</i>』を参照してください。トランスポンダーの配置の詳細については、http://www.zebra.com/transponders を参照してください。</p>
送信している RFID ZPL または SGD コマンドが正しくありません。		ラベル・フォーマットを確認してください。詳細については、『 <i>RFID プログラミング・ガイド 3</i> 』を参照してください。

表 4・RFID の問題 (続き)

問題	考えられる原因	奨励される解決策
収率が低く、ロールごとに無効になる RFID タグが多すぎます。	RFID ラベルがプリンタの仕様を満たしていません。トランスポンダーが、一貫したプログラミングを可能にする領域内にありません。	ラベルが、使用しているプリンタのトランスポンダー配置仕様に準拠していることを確認してください。トランスポンダー配置の情報については、 http://www.zebra.com/transponders を参照してください。詳細については、『RFID プログラミング・ガイド 3』を参照するか、または公認の Zebra RFID 再販業者に問い合わせてください。
	RFID タグ・タイプの読み取り／書き込みのパワー・レベルが正しくありません。	RFID の読み取り／書き込みのパワー・レベルを変更します。詳細については、『RFID プログラミング・ガイド 3』を参照してください。
	別の RF ソースからの RF (無線周波数) 干渉があります。	必要に応じて、以下の手順の 1 つ以上を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンタを、固定されている RFID リーダーから遠くに離します。 • RFID プログラミングの間中、用紙アクセス用ドアをしっかり閉めておきます。
	プリンタが、プリンタ・ファームウェアとリーダー・ファームウェアの古いバージョンを使用しています。	更新されたファームウェアについては、 http://www.zebra.com/firmware をご覧ください。
プリンタが RFID インレイで停止します。	プリンタが、ラベル間のギャップまでではなく、RFID インレイまでしかラベル長をキャリブレートしませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「MEDIA POWER UP (電源投入時の用紙動作)」パラメータと「HEAD CLOSE (ヘッドを閉める)」パラメータに、FEED (フィード) を選択します (72 ページの電源投入時の動作または 73 ページのヘッドを閉めたときの動作を参照)。 2. プリンタを手動でキャリブレートします (120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレートを参照)。
プリンタまたはリーダー・ファームウェアのダウンロードを試行すると、DATA (データ) ライトが点滅を続けます。	ダウンロードが失敗しました。各ファームウェアをダウンロードする前に、プリンタの電源をオン／オフすると、最良の結果が得られます。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒、待機します。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. ファームウェアのダウンロードを再試行します。 5. それでも、問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。

表 4・RFID の問題 (続き)

問題	考えられる原因	奨励される解決策
RFID パラメータがセットアップ・モードで表示されず、RFID 情報がプリンタの設定ラベルに表示されません。	プリンタの電源をオフ (O) にした後すぐにオン (I) にしたため、RFID リーダーが正しく初期化されませんでした。	プリンタの電源をオフにした後、最低 10 秒待機してから、電源をオンにしてください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒、待機します。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. セットアップ・モードの RFID パラメータをチェックするか、新しい設定ラベルの RFID 情報をチェックします。
プリンタは、正しくプログラミングされていない RFID ラベルでも無効にしません。	不正なバージョンのプリンタまたはリーダー・ファームウェアがプリンタにロードされました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正しいバージョンのファームウェアがプリンタにロードされていることを確認します。詳細については、『RFID プログラミング・ガイド 3』を参照してください。 2. 必要に応じて、正しいプリンタまたはリーダー・ファームウェアをダウンロードします。 3. それでも、問題が解決しない場合は、技術サポートに連絡してください。
	プリンタが RFID サブシステムと通信できません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタをオフ (O) にします。 2. 10 秒、待機します。 3. プリンタをオン (I) にします。 4. それでも問題が解決しない場合は、RFID リーダーに欠陥があるか、RFID リーダーとプリンタの接続が不完全である可能性があります。技術サポートまたは資格のあるサービス技師に連絡してください。

エラー・メッセージ

エラーが発生すると、コントロール・パネルにメッセージが表示されます。エラー、考えられる原因、奨励される解決策については、表 5 を参照してください。

QuickHelp ページ 大半のエラー・メッセージには、QuickHelp ページを表示するオプションが含まれています。メッセージの右下隅に“QR”と表示されます。

エラー・メッセージから QuickHelp ページにアクセスするには、以下を実行します。

1. 右選択ボタンを押して QR を選択します。
そのエラー・メッセージに固有の QuickHelp ページが表示されます。このページに QR コードが含まれています。
2. QR コードをスマートフォンでスキャンします。
スマートフォンは、そのエラー・メッセージ固有のビデオか、ご使用中のプリンタ向け Zebra サポート・ページのいずれかにアクセスします。

表 5・エラー・メッセージ

ディスプレイ/インジケータ・ランプ	考えられる原因	奨励される解決策
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ハッド・オープン ハッドを閉めます </div> <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯</p>	<p>印字ヘッドが完全に閉じていません。</p> <p>印字ヘッド・オープン・センサーが正常に動作していません。</p>	<p>印字ヘッドを完全に閉じます。</p> <p>センサーの交換については、サービス技師にお問い合わせください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 用紙切れ 用紙のセット </div> <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 SUPPLIES (消耗品) ランプが赤色点灯</p>	<p>用紙がセットされていないか、正しくセットされていません。</p> <p>用紙センサーの調整不良です。</p> <p>プリンタは単票用紙を使用するように設定されていますが、連続用紙がセットされています。</p>	<p>用紙を正しくセットします。 34 ページの用紙の装着を参照してください。</p> <p>用紙センサーの位置を確認します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適切な用紙タイプをセットするか、プリンタを現在の用紙タイプにリセットします。 2. プリンタをキャリブレートします。 75 ページの用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレートを参照してください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 警告 リボンがあります </div> <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯 SUPPLIES (消耗品) ランプが黄色点滅</p>	<p>リボンが装着されていますが、プリンタはダイレクト・サーマル・モードに設定されています。</p>	<p>感熱用紙では、リボンは必要ありません。感熱用紙を使用する場合、リボンは取り外してください。このエラー・メッセージによる印刷への影響はありません。</p> <p>熱転写用紙に印刷する場合はリボンが必要です。プリンタを熱転写モードに設定してください。 68 ページの印字方式を参照してください。</p>

表 5・エラー・メッセージ (続き)

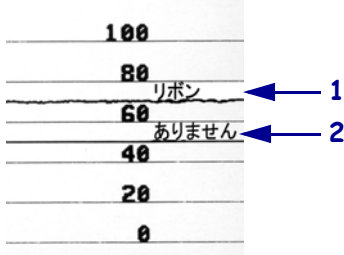
ディスプレイ/インジケータ・ランプ	考えられる原因	奨励される解決策
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">アラート リボン切れ</div> <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯 SUPPLIES (消耗品) ランプが黄色点滅</p>	<p>熱転写モードで:</p> <ul style="list-style-type: none"> リボンがセットされていません。 リボンが正しく設定されていません。 リボン・センサーがリボンを検出していません。 用紙がリボン・センサーをブロックしています。 	<ol style="list-style-type: none"> リボンを正しくセットします。 60 ページのリボンの装着を参照してください。 プリンタをキャリブレートします。 75 ページの用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレートを参照してください。
	<p>熱転写モードで、リボンが正しく取り付けられているにもかかわらずプリンタがリボンを認識しませんでした。</p>	<ol style="list-style-type: none"> センサー・プロフィールを印刷します (71 ページの発行情報を参照してください)。リボン切れしきい値 (2) が高すぎ、ライン (1) の上部でリボンが検出されたことを示しています。  <ol style="list-style-type: none"> プリンタをキャリブレートするか (75 ページの用紙センサーとリボン・センサーのキャリブレートを参照)、プリンタ設定初期化します (74 ページの設定初期化を参照)。
	<p>感熱用紙を使用していますが、プリンタが誤って熱転写モード用に設定されているため、リボンのセットを待っています。</p>	<p>プリンタを感熱モードに設定します。68 ページの印字方式を参照してください。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">印字ヘッドが認証されていない 印字ヘッドの交換</div> <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 PAUSE (一時停止) ランプが赤色点灯 DATA (データ) ランプが赤色点灯</p>	<p>印字ヘッドが純正の Zebra™ 印字ヘッドではない他のヘッドと交換されています。</p>	<p>Zebra™ 純正印字ヘッドを取り付けます。</p>

表 5・エラー・メッセージ (続き)





ディスプレイ/インジケータ・ランプ	考えられる原因	奨励される解決策						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 印字ヘッド過剰高温 印刷停止 </div> <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯</p>	 <p>注意・印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p>	<p>プリンタが冷却するまで時間をおいてください。印字ヘッド・エレメントの温度が許容範囲の動作温度まで低下すると、印刷が自動的に再開されます。</p> <p>このエラーが続く場合は、プリンタの設置場所を変更することや印字速度を遅めにすることを考慮してください。</p>						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ヘッド低温 印刷停止 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> サーミスタ 印字ヘッドの交換 </div> <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点灯 プリンタに、これらのメッセージまたはメッセージの循環のいずれかが示されます。</p>	 <p>注意・印字ヘッドのデータ・ケーブルまたは電源ケーブルが正しく接続されていないと、このエラー・メッセージが示されることがあります。印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="979 919 971 1024" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドのデータ・ケーブルが正しく接続されていません。 </td> <td data-bbox="979 919 1419 1024" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドの接続については、サービス技師にお問い合わせください。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="979 1024 971 1129" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。 </td> <td data-bbox="979 1024 1419 1129" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドの交換については、サービス技師にお問い合わせください。 </td> </tr> </table>	印字ヘッドのデータ・ケーブルが正しく接続されていません。	印字ヘッドの接続については、サービス技師にお問い合わせください。	印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。	印字ヘッドの交換については、サービス技師にお問い合わせください。		
印字ヘッドのデータ・ケーブルが正しく接続されていません。	印字ヘッドの接続については、サービス技師にお問い合わせください。							
印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。	印字ヘッドの交換については、サービス技師にお問い合わせください。							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ヘッド低温 印刷停止 </div> <p>STATUS (ステータス) ランプが黄色点滅</p>	 <p>注意・印字ヘッドのデータ・ケーブルまたは電源ケーブルが正しく接続されていないと、このエラー・メッセージが表示されることがあります。印字ヘッドは高温になっているため、重度の火傷を引き起こす危険があります。印字ヘッドが冷却するまで時間をおいてください。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td data-bbox="979 1339 971 1549" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドの温度が、動作温度の下限に近づいています。 </td> <td data-bbox="979 1339 1419 1549" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドが適切な動作温度に達するまで印刷を続行します。エラーが消えない場合には、動作環境の温度が低すぎて適切な印刷ができない場合が考えられます。プリンタを暖かい場所に移動してください。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="979 1549 971 1654" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドのデータ・ケーブルが正しく接続されていません。 </td> <td data-bbox="979 1549 1419 1654" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドの接続については、サービス技師にお問い合わせください。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="979 1654 971 1747" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。 </td> <td data-bbox="979 1654 1419 1747" style="width: 50%; padding: 5px;"> 印字ヘッドの交換については、サービス技師にお問い合わせください。 </td> </tr> </table>	印字ヘッドの温度が、動作温度の下限に近づいています。	印字ヘッドが適切な動作温度に達するまで印刷を続行します。エラーが消えない場合には、動作環境の温度が低すぎて適切な印刷ができない場合が考えられます。プリンタを暖かい場所に移動してください。	印字ヘッドのデータ・ケーブルが正しく接続されていません。	印字ヘッドの接続については、サービス技師にお問い合わせください。	印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。	印字ヘッドの交換については、サービス技師にお問い合わせください。
印字ヘッドの温度が、動作温度の下限に近づいています。	印字ヘッドが適切な動作温度に達するまで印刷を続行します。エラーが消えない場合には、動作環境の温度が低すぎて適切な印刷ができない場合が考えられます。プリンタを暖かい場所に移動してください。							
印字ヘッドのデータ・ケーブルが正しく接続されていません。	印字ヘッドの接続については、サービス技師にお問い合わせください。							
印字ヘッドのサーミスタにエラーがあります。	印字ヘッドの交換については、サービス技師にお問い合わせください。							

表 5・エラー・メッセージ (続き)

ディスプレイ/インジケータ・ランプ	考えられる原因	奨励される解決策
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">切り取りエラー</div> <p>STATUS (ステータス) ランプが赤色点灯 PAUSE (一時停止) ランプが黄色点灯</p>	 <p>注意・カッターには鋭い刃が付いています。指で刃をなでたり、刃に触れたりしないように注意してください。</p> <p>カッターの刃が用紙経路に入っています。</p>	<p>プリンタの電源をオフにして、プリンタの電源コードを抜きます。カッター・モジュールにゴミがないかどうか点検し、必要に応じて 142 ページのカッター・モジュールのクリーニングの指示に従ってクリーニングします。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">メモリがいっぱいです グラフィック保存中</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">メモリがいっぱいです フォーマット保存中</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">メモリがいっぱいです ビットマップ保存中</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">メモリがいっぱいです フォント保存中</div>	<p>メモリが不足しているため、エラー・メッセージの 2 行目に示されている機能を実行できません。</p>	<p>ラベル・フォーマットまたはプリンタのパラメータを調整して、プリンタのメモリの一部を解放します。メモリを解放するには、印字幅をデフォルト設定のままにせず、実際のラベルの幅に調整します。69 ページの印字幅を参照してください。</p> <p>取り付けられていないデバイスや使用できないデバイスにデータが送られていないかどうか確認します。</p> <p>問題が解決しない場合は、サービス技師にお問い合わせください。</p>

通信の問題

表 6 は、通信の問題、考えられる原因、および奨励される解決策を示したものです。

表 6 • 通信の問題

問題	考えられる原因	奨励される解決策
ラベルのフォーマットがプリンタに送信されたが認識されない。DATA (データ) ライトが点滅しない	通信パラメータが不適切です。	プリンタのドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します (必要な場合)。
		シリアル通信を使用している場合は、シリアル・ポート設定を確認します。116 ページの ポート・メニュー を参照してください。
		シリアル通信を使用している場合は、ヌル・モデム・ケーブルまたはヌル・モデム・アダプタを使用していることを確認してください。
		プリンタのフロー制御プロトコル設定を確認します。ホスト・コンピュータが使用している設定に一致するフロー制御プロトコルを選択してください。88 ページの フロー制御 を参照してください。
ラベルのフォーマットがプリンタに送信されました。ラベルが何枚かが印刷されるが、その後、プリンタでラベル上の画像が飛ばか、誤った位置に配置されるか、印刷されないか、歪んで印刷される	シリアル通信設定が不適切です。	フロー制御設定が一致することを確認します。
		通信ケーブルの長さを確認します。要件については、25 ページの 表 2 を参照してください。
		プリンタのドライバまたはソフトウェアの通信設定を確認します (必要な場合)。
ラベルのフォーマットがプリンタに送信されたが認識されない。DATA (データ) ライトが点滅するが、印刷が行われない	プリンタに設定されているプレフィックス文字とデリミタ文字がラベル・フォーマットの文字と一致していません。	プレフィックス文字とデリミタ文字を確認します。84 ページの コマンド 文字 および 84 ページの デリミタ 文字 を参照してください。
	誤ったデータがプリンタに送信されています。	コンピュータの通信設定を確認します。設定がプリンタの設定に一致していることを確認します。 それでも問題が解決しない場合は、ラベル・フォーマットを確認します。

その他の問題

表 7 は、プリンタに関するその他の問題、考えられる原因、および奨励される解決策を示したものです。

表 7・その他のプリンタの問題


問題	考えられる原因	奨励される解決策
コントロール・パネルに判読できない言語が表示される	コントロール・パネルまたはファームウェア・コマンドによって言語パラメータが変更されました。	 <ol style="list-style-type: none"> コントロール・パネル・ディスプレイで、言語メニューまでスクロールします。 このメニューのアイテムにアクセスするには、「OK」を押してください。 上方向または下方向ボタンを押して言語の選択肢をスクロールします。このパラメータの選択肢は、実際の当該言語で表示されるため、自分の判読できる言語を見つけやすくなっています。 表示する言語を選択します。
ディスプレイの文字または文字の一部が欠けている	ディスプレイの交換が必要な可能性があります。	サービス技師にお問い合わせください。
パラメータの設定変更が反映されていない	一部のパラメータの設定が不適切です。	<ol style="list-style-type: none"> パラメータをチェックし、必要に応じて変更またはリセットしてください。 プリンタの電源をオフ (O) にしてからオン (I) にします。
	ファームウェア・コマンドにより、パラメータの変更機能がオフになっています。	『 <i>Programming Guide for ZPL, ZBI, Set-Get-Do, Mirror, and WML</i> 』を参照するか、サービス技師にお問い合わせください。
	ファームウェア・コマンドにより、パラメータが以前の設定に戻されています。	
	問題が解決しない場合は、メイン・ロジック・ボードに問題がある可能性があります。	サービス技師にお問い合わせください。
単票ラベルが連続ラベルとして扱われる	プリンタが、使用している用紙に合わせてキャリブレートされていません。	プリンタをキャリブレートします。120 ページの リボンと用紙センサーのキャリブレート を参照してください。
	プリンタが連続用紙用に設定されています。	正しい用紙のタイプ (ギャップ / 切れ込み、連続またはマーク) 用にプリンタを設定します。67 ページの 用紙タイプ を参照してください。

表 7・その他のプリンタの問題 (続き)

問題	考えられる原因	奨励される解決策
すべてのインジケータ・ライトが点灯しているが、ディスプレイに何も表示されず (プリンタにディスプレイが付いている場合)、プリンタがロックされて動かない	内部の電子的傷害またはファームウェアの故障です。	サービス技師にお問い合わせください。
パワーオン・セルフ・テストの実行中、プリンタがロックされて動かなくなる	メイン・ロジック・ボードの故障です。	サービス技師にお問い合わせください。
プリンタが USB デバイスを認識していないか、USB ホスト・ポートにプラグインした USB デバイス上のファイルを読み取っていません。	プリンタは、現在、最大 1 TB までの USB ドライブしかサポートしていません。	1 TB 以下の USB ドライブを使用してください。
	USB ドライブが、独自の外部電源を必要とする可能性があります。	USB ドライブに外部電源が必要な場合は、機能する電源にドライブが差し込まれていることを確認してください。

プリンタ 診断

セルフ・テストおよびその他の診断テストでは、プリンタの状態に関する特定の情報が提供されます。これらのセルフ・テストでは、印刷サンプルが出力され、プリンタの動作状態を判断するための特定の情報が提供されます。



重要・セルフ・テストを実施する場合は、用紙全幅を使用します。用紙に十分な幅がないと、テスト・ラベルがプラテン・ローラーに印刷される場合があります。これを防止するには、印刷幅を点検し、使用している用紙に印字幅が適していることを確認します。

各セルフ・テストを実行するには、プリンタの電源をオン (I) にするときに特定のコントロール・パネル・キーまたはキーの組み合わせを押します。キーは最初のインジケータ・ランプがオフになるまで押し続けます。パワーオン・セルフ・テストが終了すると、選択したセルフ・テストが自動的に開始されます。



注・

- セルフ・テストを実行するときは、ホストからプリンタにデータを送信しないでください。
- 使用している用紙が印刷するラベルよりも短い場合、テスト・ラベルは次のラベルに続けて印刷されます。
- 完了する前にセルフ・テストを取り消す場合は、電源をオフ (O) にしてからオン (I) にし、プリンタをリセットしてください。

パワーオン・セルフ・テスト

パワーオン・セルフ・テスト (POST) は、プリンタの電源をオン (I) にするたびに実行されます。このテストでは、コントロール・パネル・ランプ (LED) のオン / オフを切り替え、正しく動作することを確認します。このセルフ・テストの終了時には、ステータス LED のみが点灯しています。パワーオン・セルフ・テストが終了すると、用紙は正しい位置に送られます。

パワーオン・セルフ・テストを開始するには、次の手順を実行します。

1. プリンタをオン (I) にします。

電源 LED が点灯します。それ以外のコントロール・パネルの LED および LCD は、テストの進行状況を監視し、各テストの結果を表示します。POST では、すべてのメッセージは英語で表示されますが、テストが失敗した場合はその他の言語でも順次表示されます。

CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト

CANCEL (キャンセル) セルフ・テストでは、プリンタ設定ラベルとネットワーク設定ラベルが印刷されます。これらのラベルを印刷する別の方法については、71 ページの発行情報を参照してください。

CANCEL (キャンセル) セルフ・テストを開始するには、次の手順を実行します。

1. プリンタをオフ (O) にします。
2. CANCEL (キャンセル) ボタンを押しながら、プリンタをオン (I) にします。フロント・パネルの最初のランプが消えるまで、CANCEL (キャンセル) ボタンを押し続けます。
プリンタは、プリンタ設定ラベル (図 1) を印刷してから、ネットワーク設定ラベル (図 2) を印刷します。

図 1・プリンタ設定ラベルのサンプル

PRINTER CONFIGURATION	
Zebra Technologies ZTC ZT410-203dpi ZPL XXXXXX-XX-XXXX	
+10.0.....	DARKNESS
10.0 IPS.....	PRINT SPEED
+000.....	TEAR OFF
TEAR OFF.....	PRINT MODE
CONTINUOUS.....	MEDIA TYPE
TRANSMISSIVE.....	SENSOR SELECT
THERMAL-TRANS.....	PRINT METHOD
832.....	PRINT WIDTH
1800.....	LABEL LENGTH
41000-71/1302-05637	PRINT HEAD ID
15.0IN.....	MAXIMUM LENGTH
CONNECTED.....	USB COMM.
BIDIRECTIONAL.....	PARALLEL COMM.
RS232.....	SERIAL COMM.
9600.....	BAUD
8 BITS.....	DATA BITS
NONE.....	PARITY
XON/XOFF.....	HOST HANDSHAKE
NONE.....	PROTOCOL
NORMAL MODE.....	COMMUNICATIONS
<*> 7EH.....	CONTROL PREFIX
<*> 5EH.....	FORMAT PREFIX
<*> 2CH.....	DELIMITER CHAR
ZPL II.....	ZPL MODE
CALIBRATION.....	MEDIA POWER UP
CALIBRATION.....	HEAD CLOSE
DEFAULT.....	BACKFEED
+000.....	LABEL TOP
+0000.....	LEFT POSITION
DISABLED.....	REPRINT MODE
04B.....	WEB SENSOR
080.....	MEDIA SENSOR
051.....	RIBBON SENSOR
050.....	TAKE LABEL
027.....	MARK SENSOR
027.....	MARK MED SENSOR
003.....	TRANS GAIN
016.....	TRANS BASE
100.....	TRANS LED
128.....	RIBBON GAIN
128.....	MARK GAIN
050.....	MARK LED
DPCSWFXM.....	MODES ENABLED
832 8/MM FULL.....	MODES DISABLED
2.0.....	RESOLUTION
2.0.....	LINK-OS VERSION
V75.19.72P23143 <-.	FIRMWARE
1.3.....	XPL SCHEMA
6.5.0 0x0012.0x0045	HARDWARE ID
4096k.....	R: RAM
65536k.....	E: ONBOARD FLASH
NONE.....	FORMAT CONVERT
FW VERSION.....	IDLE DISPLAY
08/25/13.....	RTC DATE
18:57.....	RTC TIME
DISABLED.....	ZBI
2.1.....	ZBI VERSION
READY.....	ZBI STATUS
62 LABELS.....	NONRESET CNTR
62 LABELS.....	RESET CNTR1
62 LABELS.....	RESET CNTR2
680 IN.....	NONRESET CNTR
680 IN.....	RESET CNTR1
680 IN.....	RESET CNTR2
1.728 CM.....	NONRESET CNTR
1.728 CM.....	RESET CNTR1
1.728 CM.....	RESET CNTR2
EMPTY.....	SLOT 1
EMPTY.....	SLOT 2
0.....	MASS STORAGE COUNT
0.....	HID COUNT
OFF.....	USB HOST LOCK OUT
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

図 2・ネットワーク設定ラベルのサンプル

Network Configuration	
Zebra Technologies ZTC ZT410-203dpi ZPL XXXXXX-XX-XXXX	
PrintServer.....	LOAD LAN FROM?
INTERNAL WIRED.....	ACTIVE PRINTSRVR
Wired*	
ALL.....	IP PROTOCOL
010.003.004.072.....	IP ADDRESS
255.255.255.000.....	SUBNET
010.003.004.001.....	GATEWAY
010.003.001.098.....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEOUT CHECKING
300.....	TIMEOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAN PORT
9200.....	JSON CONFIG PORT
Wireless	
ALL.....	IP PROTOCOL
000.000.000.000.....	IP ADDRESS
255.255.255.000.....	SUBNET
000.000.000.000.....	GATEWAY
000.000.000.000.....	WINS SERVER IP
YES.....	TIMEOUT CHECKING
300.....	TIMEOUT VALUE
000.....	ARP INTERVAL
9100.....	BASE RAN PORT
9200.....	JSON CONFIG PORT
NOT INSERTED.....	CARD INSERTED
H.....	CARD MFG ID
H.....	CARD PRODUCT ID
00:00:00:00:00:00.....	MAC ADDRESS
YES.....	DRIVER INSTALLED
INFRASTRUCTURE.....	OPERATING MODE
125.....	ESSID
100.....	TX POWER
ALL.....	CURRENT TX RATE
OPEN.....	WEP TYPE
NONE.....	WLAN SECURITY
1.....	WEP INDEX
000.....	POOR SIGNAL
LONG.....	PREAMBLE
NO.....	ASSOCIATED
ON.....	PULSE ENABLED
15.....	PULSE RATE
OFF.....	INTL MODE
not available.....	REGION CODE
no region code.....	COUNTRY CODE
0x3FFFFFFF.....	CHANNEL MASK
Bluetooth	
4.2.0.....	FIRMWARE
04/20/2012.....	DATE
on.....	DISCOVERABLE
2.1.....	RADIO VERSION
on.....	ENABLED
AC:3F:64:12:0F:20.....	MAC ADDRESS
XXXXXX-XX-XXXX.....	FRIENDLY NAME
No.....	CONNECTED
1.....	MIN SECURITY MODE
nc.....	CONN SECURITY MODE
FIRMWARE IN THIS PRINTER IS COPYRIGHTED	

PAUSE (一時停止) セルフ・テスト

このセルフ・テストは、プリンタの機械部品を調整するために必要なテスト・ラベルの印刷や、印字ヘッド・エレメントが機能していないかどうかの判別に使用できます。図 3 は印刷サンプルを示します。

PAUSE (一時停止) セルフ・テストを実行するには、次の手順を実行します。

1. プリンタをオフ (O) にします。
2. PAUSE (一時停止) ボタンを押しながら、プリンタの電源をオン (I) にします。フロント・パネルの最初のランプが消えるまで、PAUSE (一時停止) ボタンを押し続けます。
 - 最初のセルフテストでは、15 のラベルがプリンタの最低速度で印刷され、その後、プリンタは自動的に一時停止します。PAUSE (一時停止) を押すたびに、さらに 15 枚のラベルが印刷されます。図 3 はラベルのサンプルを示します。

図 3 • PAUSE (一時停止) テストのラベル



- プリンタが一時停止している間に CANCEL (キャンセル) ボタンを押すと、セルフ・テストが変更されます。PAUSE (一時停止) ボタンを押すたびに、15 枚のラベルが 1 秒あたり 152 mm (6 インチ) 印刷されます。
 - プリンタが一時停止している間に CANCEL (キャンセル) ボタンを再び押すと、2 回目のセルフ・テストの変更が行われます。PAUSE (一時停止) ボタンを押すたびに、50 のラベルがプリンタの最低速度で印刷されます。
 - プリンタが一時停止している間に CANCEL (キャンセル) ボタンを再び押すと、3 回目のセルフ・テストの変更が行われます。PAUSE (一時停止) ボタンを押すたびに、50 のラベルが 1 秒あたり 152 mm (6 インチ) で印刷されます。
 - プリンタが一時停止している間に CANCEL (キャンセル) ボタンを再び押すと、4 回目のセルフ・テストの変更が行われます。PAUSE (一時停止) ボタンを押すたびに、15 枚のラベルがプリンタの最大速度で印刷されます。
3. このセルフ・テストを途中で終了するには、CANCEL (キャンセル) ボタンを押したまま保持します。

FEED (フィード) セルフ・テスト

用紙のタイプが異なると、別の濃度設定が必要になる場合があります。この項では、仕様の範囲内のバーコードを印刷するための最適な濃度を判断できる、簡単で効果的な方法を説明します。

FEED (フィード) セルフ・テストでは、各ラベルは異なる濃度設定と 2 種類の印字速度で印刷されます。各ラベルには、相対濃度と印刷速度が印刷されます。これらのラベルのバーコードについては、ANSI の判定を利用してその印刷品質を確認できます。

このテストでは、1 組のラベルが 2 ips で、別の 1 組が 6 ips で印刷されます。濃度値はプリンタの現在の濃度値 (相対濃度 -3) より低い 3 種類の設定で開始され、徐々に濃度を増し、最後に現在の濃度値 (相対濃度 +3) よりも高い 3 種類の設定で印刷されます。

FEED (フィード) セルフ・テストを実行するには、次の手順に従います。

1. 設定ラベルを印刷し、プリンタの現在の設定を確認します。
2. プリンタをオフ (O) にします。
3. FEED (フィード) ボタンを押しながら、プリンタをオン (I) にします。コントロール・パネルの最初のランプが消えるまで、FEED (フィード) ボタンを押し続けます。プリンタが、さまざまな速度と濃度設定 (図 4) で一連のラベルを印刷します。濃度の設定には、設定ラベルに示されている値よりも高いものと低いものが含まれます。

図 4 • FEED (フィード) テスト・ラベル



4. 図 5 および表 8 を参照してください。テスト・ラベルを検査して、どのラベルがアプリケーションに最適な印刷品質であるか判断します。バーコード検証器がある場合は、バーコード検証器を使用してバー/空白部分を測定し、印刷のコントラストを計算します。バーコード検証器がない場合は、目視およびシステム・スキャナを使用して、このセルフ・テストで印刷されるラベルに基づいて最適の濃度設定を選択することをお勧めします。

図 5・バーコードの印字濃度の比較

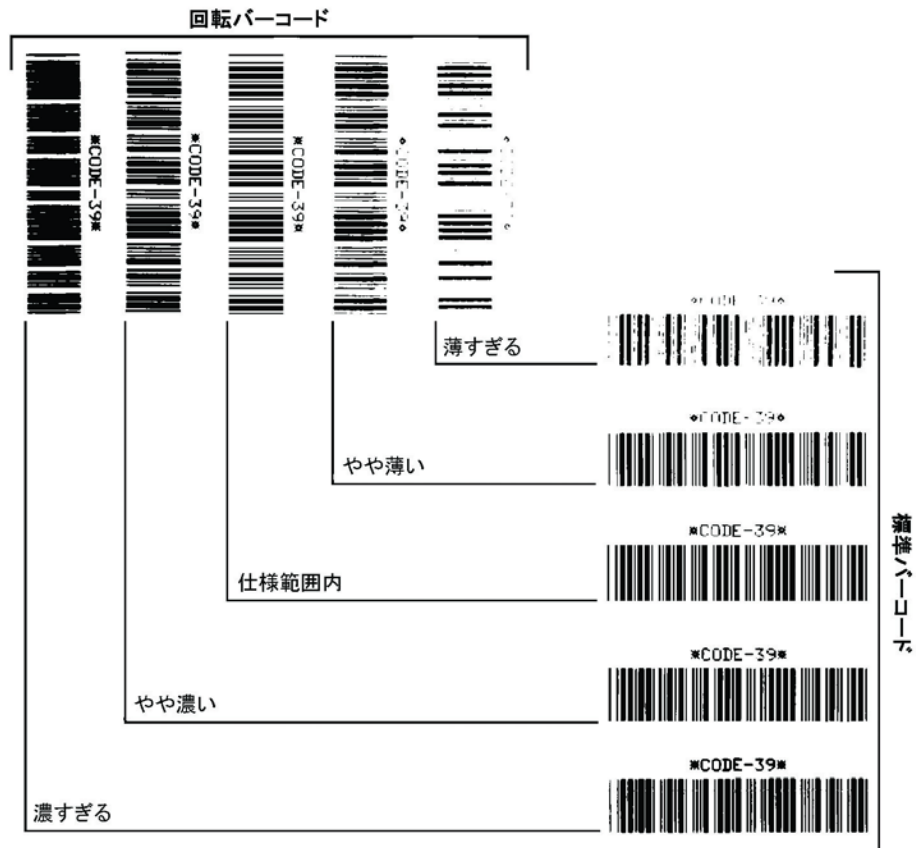


表 8・バーコードの品質判定

印字品質	説明
濃すぎる	<p>明らかにラベルが濃すぎます。判読可能ですが、「仕様範囲内」とは認めにくいレベルです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードのバーのサイズが大きくなっています。 小さい英数字の文字の開いた部分にインクがたまる場合があります。 回転バーコードのバーと空白部分が混じっています。
やや濃い	<p>やや濃いラベルは、一目瞭然には判別できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードは、「仕様範囲内」です。 小さい英数字の文字が太く、つぶれている場合があります。 回転バーコードの空白部分が、「仕様範囲内」のものに比べて小さいため、コードを判読できない場合があります。
「仕様範囲内」	<p>「仕様範囲内」のバーコードは検証器でのみ確認可能ですが、見た目で判断できる特徴がいくつかあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードのバーは、完全でムラがなく、空白部分は鮮明ではっきりと見分けられます。 回転バーコードのバーが完全で色ムラがなく、空白部分は鮮明ではっきりと見分けられます。やや濃いバーコードより不鮮明な場合がありますが、このバーコードは「仕様範囲内」です。 標準モードと回転モードのいずれにおいても、小さい英数字がはっきりしています。
やや薄い	<p>「仕様範囲内」のバーコードには、場合によっては濃いめのラベルよりも薄めのラベルのほうが好まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードおよび回転バーコードはどちらも仕様範囲内ですが、小さい英数字が不鮮明な場合があります。
薄すぎる	<p>明らかにラベルが薄すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準バーコードおよび回転バーコードのバーと空白部分が不完全です。 小さい英数字を判読できません。

5. 相対濃度の値と印刷速度は、最適なテスト・ラベルに印刷されます。
6. 相対濃度の値を加えるか差し引いて、設定ラベルで指定された濃度の値を調整します。結果の数値が、そのラベルとリボンの組み合わせおよび印刷速度に最適な濃度の値となります。
7. 必要に応じて、濃度の値を最適テスト・ラベルの濃度の値に変更します。
8. 必要に応じて、印刷速度を最適なテスト・ラベルの印刷速度と同じにします。

FEED (フィード) + PAUSE (一時停止) セルフ・テスト

このセルフ・テストを実行すると、プリンタの設定が工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。このセルフ・テストの後でセンサーのキャリブレーションを行ってください。(120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレーション参照)。

FEED (フィード) および PAUSE (一時停止) のセルフ・テストを実行するには、以下の手順を実行します。

1. プリンタをオフ (O) にします。
2. FEED (フィード) ボタンと PAUSE (一時停止) ボタンを押しながら、プリンタの電源をオン (I) にします。
3. コントロール・パネルの最初のランプが消えるまで、FEED (フィード) ボタンと PAUSE (一時停止) ボタンを押し続けます。
プリンタの設定が、工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。このテストの最後にラベルが印刷されることはありません。

CANCEL (キャンセル) + PAUSE (一時停止) セルフ・テスト

このセルフ・テストを実行すると、ネットワークの設定が工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。

CANCEL (キャンセル) と PAUSE (一時停止) のセルフ・テストを実行するには、次の手順に従います。

1. プリンタをオフ (O) にします。
2. CANCEL (キャンセル) ボタンと PAUSE (一時停止) ボタンを押しながら、プリンタの電源をオン (I) にします。
3. コントロール・パネルの最初のランプが消えるまで、CANCEL (キャンセル) ボタンと PAUSE (一時停止) ボタンを押し続けます。
プリンタの設定が、工場出荷時のデフォルト値にリセットされます。このテストの最後にラベルが印刷されることはありません。

通信診断テスト

通信診断テストは、プリンタとホスト・コンピュータの相互接続を確認するためのトラブルシューティング・ツールです。プリンタが診断モード中は、ホスト・コンピュータから送信されたデータがすべて ASCII 文字として印刷されます。ASCII テキストの下には、16 進値が表示されます。プリンタは、CR (改行) などの制御コードを含め、受信したすべての文字を印刷します。図 6 は、このテストによる一般的なテスト・ラベルを示したものです。



注・テスト・ラベルは上下が逆になって印刷されます。

図 6・通信診断テスト・ラベル



通信診断モードを終了するには、次の手順を実行します。

1. 印刷幅を、テストに使用するラベルの幅以下に設定します。詳細については、69 ページの **印字幅** を参照してください。
2. DIAGNOSTICS MODE (診断モード) オプションを ENABLED (有効) に設定します。方法については、75 ページの **通信診断モード** を参照してください。
 プリンタは診断モードになり、ホスト・コンピュータから受信したすべてのデータがテスト・ラベルに印刷されます。
3. テスト・ラベルのエラー・コードを確認します。エラーがある場合は、通信パラメータが正しいことを確認します。
 テスト・ラベルのエラーは、以下のとおりです。
 - FE はフレーミング・エラーを示します。
 - OE はオーバーラン・エラーを示します。
 - PE はパリティ・エラーを示します。
 - NE はノイズを示します。
4. このセルフ・テストを終了して通常の操作に戻るには、プリンタの電源をオフ (O) にしてからオン (I) にします。

センサー・プロフィール

センサー・プロフィール・イメージ (実際には複数のラベルやタグに展開される) を使用して以下の状況のトラブルシューティングを行います。

- プリンタでラベル間のギャップ (ウェブ) を判定できない
- プリンタが、ラベルの事前印刷の領域をギャップ (ウェブ) と誤って認識する
- プリンタがリボンを検出できない

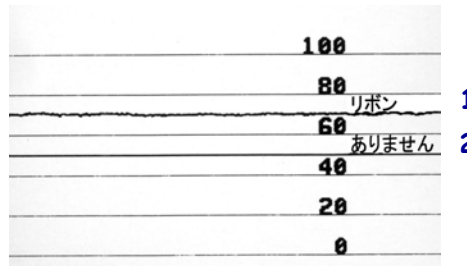
プリンタをレディ状態に設定して、次の方法のいずれかでセンサー・プロフィールを印刷します。

コントロール・パネル上のボタンの使用	<ol style="list-style-type: none"> プリンタをオフ (O) にします。 FEED (フィード) ボタンと CANCEL (キャンセル) ボタンを押しながら、プリンタの電源をオン (I) にします。 コントロール・パネルの最初のランプが消えるまで、FEED (フィード) ボタンと CANCEL (キャンセル) ボタンを押し続けます。
ZPL の使用	<ol style="list-style-type: none"> ~JG コマンドをプリンタに送信します。このコマンドの詳細については、『Zebra プログラミング・ガイド』を参照してください。
コントロール・パネル・ディスプレイの使用	<ol style="list-style-type: none"> SENSORS (センサー) メニューにある以下の項目までナビゲートします。コントロール・パネルの使用とメニューへのアクセスについては、90 ページのディスプレイ画面のナビゲートを参照してください。 <div data-bbox="841 1163 1302 1440" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">発行情報</p> <p style="text-align: center;">▼ センサー・プロフィール ▲</p> <hr/> <p style="display: flex; justify-content: space-between;"> 🏠 発行 </p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 右選択ボタンを押して発行を選択します。

印刷結果とこのセクションで示す例を比べてください。センサーの感度を調整するには、プリンタをキャリブレートします ([120 ページのリボンと用紙センサーのキャリブレート](#)を参照してください)。

リボン・センサー・プロフィール (図 7) センサー・プロフィールの「RIBBON (リボン)」という語の付いたライン (1) は、リボン・センサーの読み取り値を示します。リボン・センサーのしきい値設定は、「OUT (ありません)」 (2) で示されます。リボンの読み取り値がしきい値未満の場合、プリンタはリボンがセットされたことを認識しません。

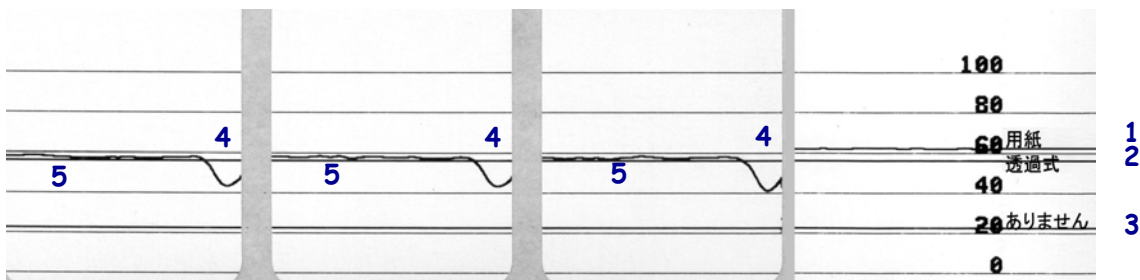
図 7・センサー・プロフィール (リボンのセクション)



用紙センサー・プロフィール (図 8) センサー・プロフィールの「MEDIA (用紙)」という語の付いたライン (1) は、用紙センサーの読み取り値を示します。用紙センサーのしきい値設定は、「WEB (ウェブ)」 (2) で示されます。用紙切れしきい値は、「OUT (ありません)」 (3) で示されます。下向きの突起 (4) はラベル間のギャップ (ウェブ) を示します。また、突起間のライン (5) はラベルのある位置を示します。

センサー・プロフィールの印刷サンプルを用紙の長さと比較すると、印刷サンプルの突起間の距離と用紙のギャップ間の距離が同じ長さになるはずですが、距離が同じでない場合は、プリンタによるギャップの位置の判定が難しくなります。

図 8・センサー・プロフィール (用紙のセクション)





メモ・ _____

6

仕様

このセクションでは、一般的なプリンタ仕様、印刷仕様、リボン仕様、および用紙仕様をリストします。

目次

一般仕様.....	176
印刷仕様.....	177
用紙仕様.....	178
リボン仕様.....	179

一般仕様

モデル		ZT410™	ZT420™
高さ		325 mm (12.8 インチ)	325 mm (12.8 インチ)
幅		272 mm (10.7 インチ)	335 mm (13.2 インチ)
奥行き		500 mm (19.7 インチ)	500 mm (19.7 インチ)
重さ		16 kg (36 ポンド)	18 kg (40 ポンド)
電気		90 ~ 265 VAC、48 ~ 62 Hz	90 ~ 265 VAC、48 ~ 62 Hz
消費電力 最低速度で PAUSE テストを印刷時		118.7 W	220.0 W
消費電力 プリンタ・アイドル時		12.0 W	12.0 W
ヒューズ		5A	5A
温度	動作	熱転写 : 5 ~ 40°C (41 ~ 104°F) ダイレクト・サーマル : 0 ~ 40°C (32 ~ 104°F)	
	保管	-40 ~ 60 °C (-40 ~ 140°F)	
相対湿度	動作	20 ~ 85% (結露なし)	
	保管	5 ~ 85% (結露なし)	
通信インターフェイス		<p>標準インターフェイス</p> <ul style="list-style-type: none"> RS-232/CCITT V.24 シリアル・データ・インターフェイス : 2400 ~ 115000 ボー、パリティあり、ビット / 文字、7 または 8 データ・ビット、XON-XOFF、RTS/CTS または DTR/DSR ハンドシェイク・プロトコルが必要。5 V にて 750 mA (ピン 1 ~ 9) USB 1.1 データ・インターフェイス USB ホスト・ポート 内蔵の 10/100 イーサネット Bluetooth バージョン 2.1 ニア・フィールド・コミュニケーション (NFC) <p>オプション・インターフェイス</p> <ul style="list-style-type: none"> 8 ビット・パラレル・データ・インターフェイス、ニブル・モード 準拠 ワイヤレス・カード・サポート 802.11 b <ul style="list-style-type: none"> 2.4GHz DSSS (DBPSK、DQPSK、および CCK) RF 電力 10 mW (ZebraNet b/g プリント・サーバ) 802.11 g <ul style="list-style-type: none"> 2.4GHz OFDM (BPSK と QPSK を使用する 16QAM および 64QAM) RF 電力 10 mW (ZebraNet b/g プリント・サーバ) 	

印刷仕様

モデル		ZT410	ZT420
印刷解像度		203 dpi (8 ドット /mm)	203 dpi (8 ドット /mm)
		300 dpi (12 ドット /mm)	300 dpi (12 ドット /mm)
		600 dpi (24 ドット /mm)	N/A
ドット・サイズ (公称) (幅 x 高さ)	203 dpi	0.125 x 0.125 mm (0.0049 x 0.0049 インチ)	0.125 x 0.125 mm (0.0049 x 0.0049 インチ)
	300 dpi	0.084 x 0.099 mm (0.0033 x 0.0039 インチ)	0.084 x 0.099 mm (0.0033 x 0.0039 インチ)
	600 dpi	0.042 x 0.042 mm (0.0016 x 0.0016 インチ)	N/A
最大印字幅	203 dpi	104 mm (4.09 インチ)	168 mm (6.6 インチ)
	300 dpi	104 mm (4.09 インチ)	168 mm (6.6 インチ)
	600 dpi	104 mm (4.09 インチ)	N/A
バー・コード・モジュラス (X) 寸法			
非回転状の向き	203 dpi	4.9 ~ 49 mil	5 ~ 50 mil
	300 dpi	3.3 ~ 33 mil	3.3 ~ 33 mil
	600 dpi	1.6 ~ 16 mil	N/A
回転状の向き	203 dpi	4.9 ~ 49 mil	5 ~ 50 mil
	300 dpi	3.9 ~ 39 mil	3.9 ~ 39 mil
	600 dpi	1.6 ~ 16 mil	N/A
プログラム可能な一定印字速度	203 dpi	61 ~ 356 mm (2.4 ~ 14 インチ) / 秒、 増分単位は 25.4 mm (1 インチ)	61 ~ 305 mm (2.4 ~ 12 インチ) / 秒、 増分単位は 25.4 mm (1 インチ)
	300 dpi	61 ~ 254 mm (2.4 ~ 10 インチ) / 秒、 増分単位は 25.4 mm (1 インチ)	61 ~ 203 mm (2.4 ~ 10 インチ) / 秒、 増分単位は 25.4 mm (1 インチ)
	600 dpi	38 ~ 102 mm (1.5 ~ 4 インチ) / 秒、 増分単位は 25.4 mm (1 インチ)	N/A

用紙仕様

モデル		ZT410	ZT420	
ラベル長	最小	RFID に対応していない		
		切り取り	12.7 mm (0.5 インチ)	12.7 mm (0.5 インチ)
		剥離	12.7 mm (0.5 インチ)	12.7 mm (0.5 インチ)
		巻き取り	12.7 mm (0.5 インチ)	12.7 mm (0.5 インチ)
		カッター	25.4 mm (1.0 インチ)	25.4 mm (1.0 インチ)
	RFID	トランスポンダーのタイプごとに異なる		
	最大	200 dpi または 300 dpi	991 mm (39 インチ)	991 mm (39 インチ)
		600 dpi	508 mm (20 インチ)	N/A
最大連続用紙印字長		200 dpi	3988 mm (157 インチ)	2590 mm (102 インチ)
		300 dpi	1854 mm (73 インチ)	1143 mm (45 インチ)
		600 dpi	991 mm (39 インチ)	N/A
ラベル幅	最小	RFID に対応していない	25.4 mm (1.0 インチ)	51 mm (2 インチ)
		RFID	トランスポンダーのタイプごとに異なる	
	最大	切り取り / カッター	114 mm (4.5 インチ)	178 mm (7.0 インチ)
		剥離 / 巻き取り	108 mm (4.25 インチ)	171 mm (6.75 インチ)
厚さ合計 (ある場合はライナーを含む)		最小	0.058 mm 0.0023 インチ	0.058 mm 0.0023 インチ
		最大	0.25 mm (0.010 インチ)	
最大ロール外径		203 mm (8 インチ) 芯の内径は 76 mm (3 インチ)		
ラベル間隔		最小	2 mm (0.079 インチ)	
		推奨値	3 mm (0.118 インチ)	
		最大	4 mm (0.157 インチ)	
チケット / タグ溝サイズ (幅 x 高さ)		6 x 3 mm (0.25 x 0.12 インチ)		
穴直径		3.18 mm (0.125 インチ)		
溝または穴位置 (内側の用紙端 から中央に)		最小	3.8 mm (0.15 インチ)	
		最大	57 mm (2.25 インチ)	90 mm (3.5 インチ)
濃度、光学濃度単位 (ODU) (黒マーク)		> 1.0 ODU		
最大用紙印字濃度		≤ 0.5 ODU		
透過式用紙センサー (固定位置)		内側の端から 11 mm (7/16 インチ) の位置		

リボン仕様

モデル		ZT410	ZT420
リボン幅 *	最小	51 mm** (2 インチ **)	
	最大	110 mm (4.33 インチ)	
最大リボン長		450 m.(1476 フィート)	450 m.(1476 フィート)
リボン・コアの内径		25 mm (1 インチ)	

* 印刷ヘッドが過剰に摩耗しないように、少なくとも用紙の幅以上の幅のリボンを使用することをお勧めします。

** 用途によっては、リボンが使用する用紙よりも幅が大きい限り、51 mm (2 in.) よりも狭いリボンを使用できる場合があります。狭いリボンを使用する際は、用紙と合わせてリボンのパフォーマンスをテストして、希望の結果が得られることを確認してください。



メモ・ _____

用語集

英数字 文字、数字、または句読点などの文字を示します。

バックフィード プリンタが用紙とリボン (使用されている場合) をプリンタ後方に引っ張ること。これにより、印刷するラベルの先頭が、印字ヘッドの後ろに正しく配置されます。バックフィードは、プリンタを切り取りモードおよびアプリケーション・モードで稼働しているときに行われます。

バーコード 太さの異なる線を縞模様状に組み合わせることによって英数字を表現するコード。統一商品コード (UPC : universal product code) またはコード 39 など、様々なコード体系があります。

黒マーク 印刷用紙の裏面にある登録マーク。プリンタにラベルの先頭位置を示します ([単票用紙](#) 参照)。

キャリブレート (プリンタ) プリンタが特定の用紙とリボンの組み合わせにより正確に印刷するために必要な基本情報を判別するプロセス。この情報を判別するため、プリンタは、用紙とリボン (使用されている場合) をプリンタにフィードして、ダイレクト・サーマルまたは熱転写のどちらの印刷方式を使用するかを検出したり、(非連続用紙の場合は) 個々のラベルまたはタグの長さを検出します。

設定 プリンタ設定は、プリンタ・アプリケーション固有の稼働パラメータのグループです。パラメータには、ユーザーが選択できるものや、インストールされているオプションや稼働モードに依存するものがあります。パラメータは、スイッチ選択可能、コントロール・パネルでのプログラム可能、または ZPL II コマンドとしてダウンロード可能です。現在のプリンタ・パラメータをすべて一覧する設定ラベルを、参照用に印刷できます。

連続用紙 ラベルやタグを分ける切れ込み、切れ目、ウェブ (用紙ライナーのみ) のないラベルまたはタグストック用紙。この用紙は、1 つ長い用紙です。

コア直径 用紙またはリボンのロールの中心にある厚紙の巻き芯の内径。

診断 機能していないプリンタ機能についての情報。プリンタの問題のトラブルシューティングに使用されます。

ダイカット用紙 ラベル・ストックのタイプ。個々のラベルが用紙ライナーに付いている。個々のラベルは、ぴったり一列か、少し間を開けて配置されています。通常、ラベルの周りの部分は除かれています。([単票用紙](#)参照)。

ダイレクト・サーマル 印字ヘッドが用紙に直接接触する印刷方式。印字ヘッド部が熱くなると、用紙の感熱コーティングが変色します。用紙が通過するときに印字ヘッド部を選択的に熱することで、イメージが用紙に印刷されます。この印刷方式では、リボンを使用しません。 [熱転写](#)と対比してください。

感熱用紙 印字ヘッドから直接受ける熱に反応する物質でコーティングされている用紙。

ダイナミック RAM ラベル・フォーマットを電子的形式で保存するときに使用されるメモリ・デバイス。印刷時に使用されます。プリンタで使用できる DRAM メモリの容量により、印刷できるラベル・フォーマットの最大サイズおよび最大数が決まります。これは、電源を切ると保存されている情報が失われる揮発性メモリです。

折り畳み用紙 四角形に折り畳まれている用紙。 [ロール用紙](#)と対比してください。

ファームウェア これは、プリンタの稼働プログラムを指定するときに使用される用語です。このプログラムは、ホスト・コンピュータからプリンタにダウンロードされ、FLASH メモリに保存されます。プリンタの電源が入られるたびに、この稼働プログラムが起動します。このプログラムは、用紙をいつ前後にフィードするか、およびドットをいつラベル・ストックに印刷するかを制御します。

FLASH メモリ FLASH メモリは、非揮発性で、電源が切られても格納されている情報を保持します。このメモリ領域は、プリンタの稼働プログラムを保存するために使用されます。また、このメモリは、オプションのプリンタフォント、グラフィック・フォーマット、および完全なラベル・フォーマットを保存するためにも使用できます。

フォント 文字を表示したり印刷したりする際の書体。たとえば、CGTimesa™、CG Triumvirate Bold Condensed™ などです。

ips (1 秒あたりのインチ数) ラベルまたはタグが印刷される速度。多くの Zebra プリンタは、1 ips から 12 ips で印刷できます。

ラベル 裏面粘着式の紙やプラスチックなどの素材でできていて、情報が印刷されているもの。

ラベル台紙 (ライナー) 製造時にラベルを貼り付けている台紙で、エンド・ユーザーが使用時に破棄またはリサイクルする。

発光ダイオード (LED) 特定のプリンタ・ステータス状況を示すインジケータ。各 LED は、監視している機能により、消滅、点灯、点滅します。

液晶ディスプレイ (LCD) LCD は、通常稼働時には稼働状態を表示し、プリンタを特定のアプリケーションに設定する時にはオプション・メニューを表示するバック・ライト・ディスプレイです。

用紙 プリンタがデータを印刷するもの。用紙のタイプには、タグストック、ダイカット・ラベル、連続ラベル (用紙ライナーのあるものとないもの)、単票用紙、折り畳み用紙、ロール用紙があります。

用紙センサー 印字ヘッドの後ろにあり、用紙の存在を検出します。また、非連続紙の場合、各ラベルの開始位置を示すために使用されるウェブ、穴、または切れ込みの位置を検出します。

用紙サプライ・ハンガー 用紙ロールをサポートする固定アーム。

単票用紙 1つのラベル / 印刷フォーマットが終了し、次が開始する位置を示すインジケータがある用紙。たとえば、ダイカット・ラベル、切れ込みタグストック、および黒い登録マークの付いたストックなどです。

非揮発性メモリ プリンタの電源を切った後もデータを保持する電子メモリ。

切り込み用紙 ラベルの開始位置を示すインジケータとしてプリンタにより検知される切り込み領域のあるタイプのタグ・ストック。通常、次のタグから切り離されたり破られたりするもので、厚紙のような重い素材が使用されます。([単票用紙](#) 参照)。

剥離 プリンタが印刷されたラベルを台紙から剥がし、別のラベルの印刷前にユーザーが取り除くことができるようにする操作モード。印刷はラベルが取り除かれるまで一時停止します。

印字速度 印刷の速度。熱転写プリンタの場合、この速度は、ips (1秒あたりのインチ数) で表されます。

印字ヘッドの磨耗 印字ヘッドまたはプリント要素、あるいはその両方の表面の経年による劣化。熱および磨耗により、印字ヘッドは劣化します。したがって、印字ヘッドの寿命を最大にするには、良質の印刷に必要な最低限の印字濃度設定 (焼け温度またはヘッド温度とも呼ばれます) と印字ヘッド圧力を使用します。熱転写印刷方式の場合、用紙と同じ幅、または用紙より広い幅のリボンを使用して、でこぼこの用紙表面から印字ヘッドを保護します。

整合 ラベルまたはタグの上部 (垂直方向) または両端 (水平方向) に対して印字を整列すること。

リボン ワックスまたはレジン「インク」でコーティングされた基本フィルムで構成されている帯状の物質。この物質のコーティング面には、印字ヘッドが用紙に押し付けられます。リボンは、印字ヘッド内の小さな部品により熱が加えられると、インクを用紙に映します。Zebra リボンは、印字ヘッドの磨耗を防ぐため裏面がコーティングしてあります。

リボンのシワ 不適切な位置調整、または不適切な印字圧力によって生じるリボンのシワ。このシワにより、印刷または使用リボン、あるいはその両方に隙間が生じて、正しく巻き取られない原因となります。このような場合、位置調整手順に従い修正してください。

ロール用紙 芯 (通常、厚紙) に巻かれた状態で提供される用紙。 [折り畳み用紙](#) と対比してください。

消耗品 用紙およびリボンに使用する一般的な用語。

シンボル・コード体系 バーコードに言及するときに通常使用される用語。

タグ 裏面粘着式ではないが、タグを何かに掛けるときに使用できる穴や切れ込みがあるタイプの用紙。タグは、通常、厚紙やその他の耐久性のある物質で作られています。

切り取り ユーザーが手作業でラベルやタグ・ストックを残りの用紙から切り取る時の操作モード。

熱転写 印字ヘッドが、インクまたは樹脂でコーティングされたリボンを用紙に押し付ける印刷方式。印字ヘッド部に熱を加えることで、インクまたは樹脂が用紙に移染します。用紙およびリボンが通過するときに印字ヘッド部を選択して熱することで、イメージが用紙に印刷されます。 [ダイレクト・サーマル](#)と対比してください。

隙間 印刷の対象ではあるが、リボンのシワやプリント部品の損傷などのエラー状況により印刷されない領域。隙間があると、印刷バーコード・シンボルが正しく読み込まれなかったり、まったく読み込まれません。

索引

B

BlueTooth

アドレスの表示, 118

C

CANCEL (キャンセル) ボタン

CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト, 165
位置, 14

E

ESSID

ユーザー・メニュー項目, 105
表示方法, 79

F

FCC 規定の電磁波暴露限度, 4

FCC 準拠, 4

FEED (フィード) ボタン

FEED (フィード) および PAUSE (一時停止)
のセルフ・テスト, 170

位置, 14

FEED (フィード) セルフ・テスト, 167

I

IP アドレス

ユーザー・メニュー項目, 102, 104

IP プロトコル

ユーザー・メニュー項目, 103, 105

IP レゾリューション

IP プロトコルのユーザー・メニュー項目,
103, 105

IP アドレス

表示または設定方法, 77

IP プロトコル

IP プロトコルの選択方法, 78

IP レゾリューション

IP プロトコルの選択方法, 78

L

LCD コントラスト

調整方法, 72

ユーザー・メニュー項目, 97

LCD エラー・メッセージ, 157

M

MAC アドレス

ユーザー・メニュー項目, 103, 105

表示方法, 78

P

PAUSE (一時停止) ボタン

FEED (フィード) および PAUSE (一時停止)
のセルフ・テスト, 170

PAUSE (一時停止) セルフ・テスト, 166
位置, 14

Q

QuickHelp ページ, 157

R

RFID ステータス

ユーザー・メニューからの表示, 108

RFID

- 「スマート」ラベル, 16
- RFID データの読み取り
 - ユーザー・メニューの使用, 108
- RFID テスト
 - ユーザー・メニューからの開始, 109
- RFID
 - トラブルシューティング, 154
- RFID ステータス
 - 表示方法, 80
- RFID データの読み取り
 - 実行方法, 80
- RFID テスト
 - 実行方法, 80

U

- USB ホスト・ポート
 - USB フラッシュ・ドライブからのファイルの印刷, 100
 - USB フラッシュ・ドライブからのファイルのコピー, 100
 - USB フラッシュ・ドライブへのファイルの保存, 100
- USB ポート
 - USB 接続の特性, 25
 - 仕様, 176
- USB ホスト・ポート
 - 位置, 13
 - プリンタが USB ドライブを認識しない, 163

Z

- ZBI の有効化
 - ZBI 有効化ユーザー・メニュー項目, 99
- ZBI プログラムの実行
 - ユーザー・メニュー項目, 99
- ZBI プログラムの停止
 - ユーザー・メニュー項目, 99
- ZBI の有効化
 - ZBI が有効かどうか分かる方法, 76
- ZBI プログラムの実行
 - 実行方法, 76
- ZBI プログラムの停止
 - 停止方法, 76

Zebra Basic Interpreter (ZBI)

- ZBI 有効化ユーザー・メニュー項目, 99
- ZBI プログラムの実行
 - ユーザー・メニュー項目, 99
- ZBI プログラムの停止
 - ユーザー・メニュー項目, 99
- ZBI が有効かどうか分かる方法, 76
- ZBI プログラムの実行
 - 実行方法, 76
- ZBI プログラムの停止
 - 停止方法, 76
- ZPL 無効
 - ユーザー・メニュー項目, 112
- ZPL モード
 - ユーザー・メニュー項目, 113
- ZPL 無効
 - 有効にする方法と影響を受けるコマンド, 83
- ZPL モード
 - 選択方法, 85
- 印字速度
 - ユーザー・メニュー項目, 94
- 印字濃度
 - ユーザー・メニュー項目, 94
- 印字幅
 - ユーザー・メニュー項目, 95
- 印字方式
 - ユーザー・メニュー項目, 94
- 印字ヘッドを閉めた時の動作
 - ユーザー・メニュー項目, 98
- 印字モード
 - ユーザー・メニュー項目, 95
- 言語
 - ユーザー・メニュー項目
 - 言語メニュー, 112
 - 設定メニュー, 96
- 黒マーク用紙
 - ユーザー・メニューから用紙タイプを設定, 94
- 再発行モード
 - ユーザー・メニュー項目, 95
- 書き込みパワー
 - ユーザー・メニューからの表示または設定, 110
- 信号
 - ユーザー・メニュー項目, 106
- 診断モード
 - ユーザー・メニュー項目, 99
- 切り取り位置
 - ユーザー・メニュー項目, 95
- 切り取りモード
 - ユーザー・メニューから印字モードを選択する, 95

設定初期化
 ネットワーク
 ユーザー・メニュー項目, 106
 ユーザー・メニュー項目, 98
 設定ラベル
 ネットワーク
 印刷方法, 71
 ユーザー・メニュー項目, 106
 プリンタ
 印刷方法, 71
 ツール・メニューから印刷, 97
 調整
 ディスプレイのコントラスト
 LCD コントラストのユーザー・メニュー項目, 97
 通信診断モード
 ユーザー・メニュー項目, 99
 電源投入時の動作
 ユーザー・メニュー項目, 97
 透過式センサー
 ユーザー・メニューからの選択, 114
 動作しません
 ヘッドを閉めたときの動作として設定する方法, 73
 読み取りパワー
 ユーザー・メニューからの表示または設定, 109
 剥離モード
 ユーザー・メニューから印字モードを選択する, 95
 発行情報
 さまざまなプリンタ情報の印刷方法, 71
 センサー・メニュー(センサー・プロフィール), 114
 ツール・メニュー(プリンタ設定ラベル), 97
 ネットワーク・メニュー(ネットワーク設定ラベル), 106
 反射式センサー
 ユーザー・メニューからの選択, 114
 表示言語
 ユーザー・メニュー項目
 言語メニュー, 112
 設定メニュー, 96
 無効な RFID ラベル・カウンタ
 ユーザー・メニューからの表示またはリセット, 110
 有効な RFID ラベル・カウンタ
 ユーザー・メニューからの表示またはリセット, 110
 用紙センサー
 センサー・タイプのユーザー・メニュー項目, 114

用紙センサー・キャリブレード
 用紙/リボン・キャリブレードのユーザー・メニュー項目
 センサー・メニュー, 114
 ツール・メニュー, 98
 用紙タイプ
 ユーザー・メニュー項目, 94
 連続用紙
 ユーザー・メニューから用紙タイプを設定, 94

あ

アイドル表示
 表示内容の変更方法, 72
 ユーザー・メニュー項目, 97
 アクティブなプリント・サーバのユーザー・メニュー項目, 102
 アンテナ・エレメント
 設定方法, 81

い

イーサネット
 有線接続の特性, 25
 ワイヤレス接続の特性, 26
 印刷中の整合性のロス, 150
 インジケータ・ライト
 エラー・メッセージとの組み合わせ, 157
 トラブルシューティング, 148
 インジケータ・ランプ
 位置, 14
 印字速度
 選択, 67
 選択方法, 67
 印字濃度設定, 67
 印字幅
 調整方法, 69
 印字品質
 FEED (フィード) セルフ・テスト中の濃度比較, 167
 印字ヘッド圧力調整, 125
 トラブルシューティング, 150
 バーコードをスキャンできない, 152
 印字ヘッド
 印字ヘッド圧力の調整, 125
 「印字ヘッド過剰高温」メッセージ, 159
 「印字ヘッドが認証されていない」メッセージ, 158
 「サーミスタ印字ヘッドの交換」メッセージ, 159
 「ヘッド低温」メッセージ, 159
 「印字ヘッド過剰高温」メッセージ, 159

「印字ヘッドが認証されていない」メッセージ,
158

印字方式
指定方法, 68
印字モード
選択方法, 69

え

エラー・メッセージ, 157
エラー・メッセージ付き QR コード, 157
エレクトロニクス・カバー, 13

お

折り畳み用紙
説明, 17
装着, 35
温度
操作および保管, 176
動作, 23

か

書き込みパワー
設定方法, 82
カッター・モード
選択方法, 69
ユーザー・メニューから印字モードを選択する, 95
カッター・モジュールのクリーニング, 142
「キリトリ・エラー」メッセージ, 160
説明と用紙経路, 31
カナダの DOC 準拠, 4
換気要件, 23
感熱モード
指定方法, 68
用紙スクラッチ・テスト, 18

き

ギャップ / 切れ込み
用紙センサー・タイプの選択方法, 86
用紙タイプを選択, 67
ユーザー・メニューから用紙タイプを設定,
94
ユーザー・メニューからのセンサー選択, 114
ギャップ / キレコミ
図, 17
キャリブレーション
用紙 / リボン・キャリブレーションのユーザー・
メニュー項目
センサー・メニュー, 114

キャリブレーション
電源投入時の動作として設定する方法, 72
用紙 / リボン・キャリブレーションのユーザー・
メニュー項目
ツール・メニュー, 98
ヘッドを閉めたときの動作として設定する方
法, 73
開始方法, 75
自動キャリブレーションに失敗した, 152
短キャリブレーション
電源投入時の動作として設定する方
法, 72
ヘッドを閉めたときの動作として設定す
る方法, 73
手順, 120
切り取り位置
調整方法, 68
「切り取りエラー」メッセージ, 160
切り取りモード
説明と用紙経路, 30
切取りモード
選択方法, 69

く

クリーニング
印字ヘッドとプラテン・ローラー, 134
カッター・モジュール, 142
クリーニング方法, 134
推奨されるクリーニング・スケジュール, 132
センサー, 133
剥離アセンブリ, 138
プリンタの外装, 133
用紙コンパートメント, 133
黒マーク用紙
説明, 17
用紙タイプを選択, 67

け

ゲートウェイ
ユーザー・メニュー項目, 103, 104
表示または設定方法, 78
言語
判読できない言語の変更方法, 162
表示言語の変更方法, 83

こ

交換部品, 146
交換部品の注文, 146
コマンド文字
ユーザー・メニュー項目, 112
設定方法, 84

コントロール・パネル
 ナビゲート, 90
 コントロール文字
 ユーザー・メニュー項目, 112
 コントロール・パネル
 位置, 13
 エラー・メッセージ, 157
 ボタンの機能, 14
 コントロール・パネルのボタン, 14
 コントロール文字
 設定方法, 84
 コンピュータまたはネットワークへのプリンタ
 の接続, 24
 梱包からの取り出し、プリンタ, 22

さ

「サーミスタ印字ヘッドの交換」メッセージ,
 159
 最終保存の設定, 74
 最終保存の設定の再読み込み, 74
 最大ラベル長, 70
 再発行モード
 設定と使用方法, 70
 サブネット・マスク
 ユーザー・メニュー項目, 102, 104
 表示または設定方法, 77

し

潤滑油, 146
 仕様
 電源コード, 28
 処分、バッテリー, 146
 処分、プリンタ部品, 146
 シリアル・ポート
 仕様, 176
 シリアル接続の特性, 25
 シワのあるリボンの原因, 153
 信号
 表示方法, 79
 診断, 164
 診断モード
 開始方法, 75, 171

す

スクラッチ・テスト
 用紙タイプ, 18
 リボンのコーティング面, 19
 スペース要件, 23
 「スマート」ラベル, 16

せ

責任, 2
 設定初期化
 ネットワーク
 開始方法, 74
 プリンタまたはプリント・サーバのデフォルト
 値を読み込む方法, 74
 設定メニュー, 94
 設定ラベル
 ネットワーク
 CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト
 を使用した印刷, 165
 プリンタ
 CANCEL (キャンセル) セルフ・テスト
 を使用した印刷, 165
 セットアップ
 梱包からの取り出し、プリンタ, 22
 セルフテスト, 164
 セルフ・テスト
 CANCEL (キャンセル), 165
 FEED (フィード), 167
 FEED (フィード) および PAUSE (一時停止),
 170
 PAUSE (一時停止), 166
 通信診断, 171
 パワーオン・セルフ・テスト (POST), 164
 センサー
 センサー・プロフィールの解釈, 172
 センサー・タイプ
 ユーザー・メニュー項目, 114
 センサー・プロフィール, 71
 ユーザー・メニューからの印刷, 114
 センサー・タイプ
 選択方法, 86

そ

相対湿度
 操作および保管, 176
 動作, 23

た

タグ・キャリブレート
 開始方法, 82
 ユーザー・メニューからの開始, 108
 タグ・ストック
 説明, 16
 縦方向のずれ
 フォーム上部の位置, 151
 短キャリブレート
 電源投入時の動作として設定する方法, 72
 ヘッドを閉めたときの動作として設定する方

法, 73
 単票用紙
 説明, 17
 用紙タイプを選択, 67
 ラベルに問題, 162

ち

チャンネル
 表示方法, 79
 ユーザー・メニュー項目, 105
 調整
 印字濃度, 67
 印字幅, 69
 印字ヘッド圧力, 125
 切り取り位置, 68
 最大ラベル長, 70
 ディ스플레이のコントラスト
 調整方法, 72
 ラベルの X 印字基点, 69

つ

ツール・メニュー, 97
 通信インターフェイス, 24
 通信診断モード
 開始方法, 75
 概要, 171
 通信の問題, 161

て

データ・ケーブル, 26
 データ・ソース
 接続, 24
 設置場所の選択考慮事項, 23
 データ入力装置 (HID), 101
 データ・ビット
 設定方法, 87
 ユーザー・メニュー項目, 116
 定期クリーニング・スケジュール, 132
 ディ스플레이
 コントラスト
 LCD コントラストのユーザー・メニュー
 項目, 97
 位置, 14
 文字が欠けている, 162
 適合性の宣言, 3
 適合宣言, 3
 デフォルト・ゲートウェイ
 ユーザー・メニュー項目, 103, 104
 表示または設定方法, 78
 デフォルト・リセット, 74

デリミタ文字
 ユーザー・メニュー項目, 113
 設定方法, 84
 電源
 設置場所の選択, 23
 点検、輸送中の損傷, 22
 電源投入時の動作
 変更方法, 72
 電磁波暴露限度, 4
 電力
 接続、電源, 27
 電源コードの仕様, 28

と

透過式センサー
 選択方法, 86
 透過式用紙
 説明, 17
 動作しません
 電源投入時の動作として設定する方法, 72
 動作条件, 23
 トラブルシューティング
 RFID の問題, 154
 インジケータ・ライト, 148
 印字品質の問題, 150
 エラー・メッセージ, 157
 診断テスト, 164
 通信の問題, 161
 リボンの問題, 153

な

ナビゲート, 90

に

ニア・フィールド・コミュニケーション (NFC),
 15

ね

熱転写モード
 指定方法, 68
 用紙スクラッチ・テスト, 18
 ネットワーク設定
 設定初期化
 ユーザー・メニュー項目, 106
 ネットワークのリセット
 ユーザー・メニュー項目, 106
 ネットワーク設定のリセット
 ユーザー・メニュー項目, 106

ネットワーク設定ラベル
印刷方法, 71
ユーザー・メニュー項目, 106
ネットワーク設定
設定初期化
開始方法, 74
ネットワークのリセット
リセット方法, 79
ネットワーク設定のリセット
リセット方法, 79

の

濃度
印字品質が薄すぎるか、濃すぎる, 151
調整方法, 67

は

バーコード
バーコード・ラベル, 71
FEED (フィード) セルフ・テスト時の濃度比較, 167
バーコードをスキャンできない, 152
剥離モード
説明と用紙経路, 31, 32
選択方法, 69
剥離アセンブリのクリーニング, 138
発送
プリンタの再発送, 22
パラレル・ポート
仕様, 176
パラレル接続の特性, 26
パリティ
設定方法, 87
ユーザー・メニュー項目, 116
パワーオン・セルフ・テスト (POST)
POST 時にプリンタがロックされて動かなくなる, 163
実行方法, 164
反射式センサー
選択方法, 86

ひ

表示
コントラスト
調整方法, 72
表示言語
判読できない言語の変更方法, 162
変更方法, 83

ふ

プリンタ設定
印字速度, 67
印字幅, 69
印字方式, 68
印字モード, 69
切り取り位置, 68
濃度, 67
用紙タイプ, 67
プリンタ設定ラベル, 71
プリンタがロックされて動かない, 163
プリンタ設定
最大ラベル長, 70
再発行モード, 70
設定が反映されていない, 162
ラベルの X 印字基点, 69
プリンタの外観図, 13
プリンタの診断, 164
プリンタの設置場所, 23
プリンタの設置場所の選択, 23
プリンタの設置面, 23
プリンタの電源への接続, 27
プリンタをデフォルト値に戻す, 74
プリント・サーバ
ESSID
ユーザー・メニュー項目, 105
IP アドレス
ユーザー・メニュー項目, 102, 104
IP プロトコル
ユーザー・メニュー項目, 103, 105
MAC アドレス
ユーザー・メニュー項目, 103, 105
信号
ユーザー・メニュー項目, 106
アクティブなプリント・サーバのユーザー・メニュー項目, 102
アクティブなプリント・サーバのユーザー・

- メニュー項目存, 102
- サブネット・マスク
 - ユーザー・メニュー項目, 102, 104
- チャンネル
 - ユーザー・メニュー項目, 105
- デフォルト・ゲートウェイ
 - ユーザー・メニュー項目, 103, 104
- ネットワーク設定のリセット
 - ユーザー・メニュー項目, 106
- ネットワーク設定ラベル
 - 印刷方法, 71
 - ユーザー・メニュー項目, 106
- ESSID
 - 表示方法, 79
- IP アドレス
 - 表示または設定方法, 77
- IP プロトコル
 - IP プロトコルの選択方法, 78
- MAC アドレス
 - 表示方法, 78
- サブネット・マスク
 - 表示または設定方法, 77
- デフォルト・ゲートウェイ
 - 表示または設定方法, 78
- ネットワーク設定のリセット
 - リセット方法, 79
- 有線接続の特性, 25
- ワイヤレス接続の特性, 26
- プリント・ステーション, 101
- フロー制御
 - 設定方法, 88
- プログラミング位置
 - ユーザー・メニューからの表示または設定, 109
 - 設定方法, 81

へ

- 「ヘッド・オープン」メッセージ, 157
- 「ヘッド低温」メッセージ, 159
- 「**ヘッド低温**」メッセージ
 - 単独表示, 159
 - 他のメッセージと循環, 159
- ヘッドを閉めたときの動作
 - 変更方法, 73

ほ

- ポー・レート
 - 設定方法, 87
 - ユーザー・メニュー項目, 116, 118, 119
- 報告、輸送中の損傷, 22
- 保管、プリンタ, 22

- ホスト・ハンドシェイク
 - ユーザー・メニュー項目, 116

ま

- マニュアル・キャリブレーション
 - 用紙 / リボン・キャリブレーションのユーザー・メニュー項目
 - センサー・メニュー, 114
 - ツール・メニュー, 98
 - 開始方法, 75
 - 手順, 120
- マニュアル・キャリブレーションの開始, 75

み

- ミシン目入り用紙, 17

む

- 無効な RFID ラベル・カウンタ
 - リセット方法, 82

め

- 「メモリがいっぱいです」メッセージ, 160

ゆ

- 有効な RFID ラベル・カウンタ
 - リセット方法, 82
- 有線プリント・サーバ
 - 仕様, 176
 - 特性, 25
- 輸送
 - 損傷の報告, 22

よ

- 用紙
 - RFID 「スマート」ラベル, 16
 - 折り畳み, 17
 - 黒マーク, 17
 - タイプ、用紙, 16
 - タグ・ストック, 16
 - 単票ロール用紙, 17
 - ミシン目入り, 17
 - 連続ロール用紙, 17
 - 透過式, 17
 - 用紙アクセス用ドア, 13
 - 「用紙切れ」メッセージ, 157
 - 用紙スクラッチ・テスト, 18
 - 用紙センサー
 - 選択方法, 86

用紙センサーのキャリブレーション

開始方法, 75

手順, 120

用紙タイプ

RFID「スマート」ラベル, 16

折り畳み用紙, 17

黒マーク用紙, 17

選択方法, 67

タグ・ストック, 16

単票ロール用紙, 17

透過式用紙, 17

ミシン目入り用紙, 17

連続ロール用紙, 17

読み取り / 書き込み位置, 81

読み取りパワー

設定方法, 82

ら

ライナー巻き取りモード

選択方法, 69

ユーザー・メニューから印字モードを選択する, 95

説明と用紙経路, 31, 32

ラベル・センサー

ユーザー・メニュー項目, 114

ラベル長

ヘッドを閉めたときの動作として設定する方法, 73

ユーザー・メニュー項目, 96

ラベル剥離

ユーザー・メニュー項目, 115

ラベルが印刷されない, 161

ラベル上の印刷抜け, 151

ラベル上の歪んだ画像, 161

ラベル・センサー

センサー感度の設定方法, 86

ラベル長

最大値の調整方法, 70

電源投入時の動作として設定する方法, 72

ラベルに染みが付いている, 151

ラベルの X 印字基点

ユーザー・メニュー項目, 95

調整方法, 69

ラベルの位置ずれ, 151

ラベルのイメージ, 71

ラベルのシフト, 69

ラベルのフィード

電源投入時の動作として設定する方法, 72

ヘッドを閉めたときの動作として設定する方法, 73

コントロール・パネルを使用, 14

ラベルのフォーマット, 71

ラベルのフォント, 71

ラベル剥離

センサー感度の設定方法, 86

ラベル幅, 69

ラベル・フォーマットのキャンセル, 14

り

リサイクル、プリンタ部品, 146

リボン

印字方式を熱転写モードに設定, 68

取り外しリボントリハズシ, 129

コーティング面の特定, 18

使用するケース, 18

シワのあるリボン, 153

スクラッチ・テスト, 19

損傷または溶解している, 153

粘着性テスト, 19

リボンが正しく検知されない, 153

リボン・センサー・キャリブレーション

用紙 / リボン・キャリブレーションのユーザー・メニュー項目

センサー・メニュー, 114

ツール・メニュー, 98

「リボンがあります」メッセージ, 157

リボンが破れている, 153

リボンが溶解している, 153

「リボン切れ」メッセージ, 158

リボン・コーティングの粘着性テスト, 19

リボン・センサーのキャリブレーション

開始方法, 75

手順, 120

れ

連続用紙

説明, 17

用紙タイプを選択, 67

ろ

ロール用紙

説明, 16

装着, 35

わ

ワイヤレス・プリント・サーバ

仕様, 176

信号

表示方法, 79

チャンネル

表示方法, 79

特性, 26



メモ・ _____



Zebra Technologies Corporation

Zebra Technologies Corporation
475 Half Day Road, Suite 500
Lincolnshire, IL 60069 USA
電話 :+1 847 634 6700
(フリーダイヤル)+1 866 230 9494
ファックス :+1 847 913 8766

Zebra Technologies Europe Limited

Dukes Meadow
Millboard Road
Bourne End
Buckinghamshire, SL8 5XF, UK
電話 :+44 (0)1628 556000
ファックス :+44 (0) 1628 556001

Zebra Technologies Asia Pacific, LLC

120 Robinson Road
#06-01 Parakou Building
Singapore 068913
電話 :+65 6858 0722
ファックス :+65 6885 0838

<http://www.zebra.com>